

別添資料1 超過数一覧の前後比較

【平成30年度 第1四半期 修正前】

表-2 空間ガンマ線線量率及び海水中全ガンマ線計数率の評価結果

(NaI(Tl)検出器による指標線量率、空間ガンマ線線量率及び海水(放水)中の全ガンマ線計数率 ※1)

(1) モニタリングステーション

調査機関	局名	指標線量率						スペクトルに異常がみられたデータ数(個) ※2				発電所起因データ数(個) ※3				空間ガンマ線線量率 調査レベル ※4												
		設定値(nGy/h)	超過数(個)					4月	5月	6月	合計	割合(%)	4月	5月	6月	合計	4月	5月	6月	合計	割合(%)							
			4月	5月	6月	合計	割合(%)																					
宮城県	女川	2.7	0	0	0	0	0.00	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	36.7	79	249	45	373	2.85
	小屋取	3.8	0	0	0	0	0.00	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	56.8	107	232	60	399	3.05
	寄磯	3.5	0	0	0	0	0.00	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	43.3	150	300	105	555	4.28
東北電力	塚浜	3.3	0	0	0	0	0.00	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	61.2	61	177	29	267	2.04
	寺間	3.2	0	0	0	0	0.00	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	48.4	87	188	47	322	2.46
	江島	2.6	0	0	0	0	0.00	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	41.4	87	202	26	315	2.40
	前網	4.0	0	0	0	0	0.00	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	67.4	54	147	22	223	1.70

局名	伝送異常スペクトル数(個)
女川	56
小屋取	37
寄磯	168

※1 今期の全データ数は、欠測がないものとして13104個/局である。

※2 指標線量率が設定値を超過し、空間ガンマ線スペクトルに人工核種のピーク等の異常がみられたデータの個数である。

※3 発電所起因の有無については、発電所運転状況、気象及び指標線量率等を用いて評価している。

※4 女川局、小屋取局及び寄磯局の調査レベルは、平成29年度第4四半期の測定機器更新後の平均値に平成28年度の標準偏差の3倍を加えて算出した数値、塚浜局、寺間局、江島局及び前網局の調査レベルは、平成29年度の平均値に標準偏差の3倍を加えて算出した数値である。

【平成30年度 第1四半期 修正後】

表-2 空間ガンマ線線量率及び海水中全ガンマ線計数率の評価結果

(NaI(Tl)検出器による指標線量率、空間ガンマ線線量率及び海水(放水)中の全ガンマ線計数率 ※1)

(1) モニタリングステーション

調査機関	局名	指標線量率						スペクトルに異常がみられたデータ数(個) ※2				発電所起因データ数(個) ※3				空間ガンマ線線量率 調査レベル ※4												
		設定値(nGy/h)	超過数(個)					4月	5月	6月	合計	割合(%)	4月	5月	6月	合計	4月	5月	6月	合計	割合(%)							
			4月	5月	6月	合計	割合(%)																					
宮城県	女川	2.7	0	0	0	0	0.00	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	36.7	79	249	45	373	2.85
	小屋取	3.8	0	0	0	0	0.00	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	56.8	107	232	60	399	3.05
	寄磯	3.5	0	0	0	0	0.00	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	43.3	150	300	105	555	4.28
東北電力	塚浜	3.3	0	0	0	0	0.00	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	61.2	61	177	29	267	2.04
	寺間	3.2	0	0	0	0	0.00	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	48.4	87	188	47	322	2.46
	江島	2.6	0	0	0	0	0.00	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	41.4	87	202	26	315	2.40
	前網	4.0	0	0	0	0	0.00	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	67.4	54	147	22	223	1.70

※1 今期の全データ数は、欠測がないものとして13104個/局である。

※2 指標線量率が設定値を超過し、空間ガンマ線スペクトルに人工核種のピーク等の異常がみられたデータの個数である。

※3 発電所起因の有無については、発電所運転状況、気象及び指標線量率等を用いて評価している。

※4 女川局、小屋取局及び寄磯局の調査レベルは、平成29年度第4四半期の測定機器更新後の平均値に平成28年度の標準偏差の3倍を加えて算出した数値、塚浜局、寺間局、江島局及び前網局の調査レベルは、平成29年度の平均値に標準偏差の3倍を加えて算出した数値である。

【平成30年度 第2四半期 修正前】

表-2 空間ガンマ線線量率及び海水中全ガンマ線計数率の評価結果

(NaI(Tl)検出器による指標線量率、空間ガンマ線線量率及び海水(放水)中の全ガンマ線計数率 ※1)

(1) モニタリングステーション

調査機関	局名	指標線量率						スペクトルに異常がみられたデータ数(個) ※2				発電所起因データ数(個) ※3				空間ガンマ線線量率 調査レベル ※4													
		設定値 (nGy/h)	超過数(個)					7月	8月	9月	合計	割合(%)	7月	8月	9月	合計	設定値 (nGy/h)	超過数(個) <参考>											
			7月	8月	9月	合計	割合(%)											7月	8月	9月	合計	割合(%)							
宮城県	女川	2.7	0	0	0	0	0.00	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	36.9	5	331	242	578	4.37
	小屋取	3.8	0	56	0	56	0.42	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	56.9	31	302	205	538	4.07
	寄磯	3.5	0	0	0	0	0.00	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	44.6	32	322	270	624	4.71
東北電力	塚浜	3.3	0	57	0	57	0.43	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	61.2	2	253	171	426	3.23
	寺間	3.2	0	8	0	8	0.06	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	48.4	3	299	197	499	3.79
	江島	2.6	0	16	0	16	0.12	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	41.4	6	211	183	400	3.04
	前網	4.0	0	54	0	54	0.41	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	67.4	0	211	117	328	2.49

※1 今期の全データ数は、欠測がないものとして13248個/局である。

※2 指標線量率が設定値を超過し、空間ガンマ線スペクトルに人工核種のピーク等の異常がみられたデータの個数である。

※3 発電所起因の有無については、発電所運転状況、気象及び指標線量率等を用いて評価している。

※4 女川局、小屋取局及び寄磯局の調査レベルは、前四半期の平均値に平成28年度の標準偏差の3倍を加えて算出した数値、塚浜局、寺間局、江島局及び前網局の調査レベルは、平成29年度の平均値に標準偏差の3倍を加えて算出した数値である。

局名	伝送異常スペクトル数(個)
女川	39
小屋取	33
寄磯	30

【平成30年度 第2四半期 修正後】

表-2 空間ガンマ線線量率及び海水中全ガンマ線計数率の評価結果

(NaI(Tl)検出器による指標線量率、空間ガンマ線線量率及び海水(放水)中の全ガンマ線計数率 ※1)

(1) モニタリングステーション

調査機関	局名	指標線量率						スペクトルに異常がみられたデータ数(個) ※2				発電所起因データ数(個) ※3				空間ガンマ線線量率 調査レベル ※4													
		設定値 (nGy/h)	超過数(個)					7月	8月	9月	合計	割合(%)	7月	8月	9月	合計	設定値 (nGy/h)	超過数(個) <参考>											
			7月	8月	9月	合計	割合(%)											7月	8月	9月	合計	割合(%)							
宮城県	女川	2.7	0	0	0	0	0.00	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	36.9	5	331	242	578	4.37
	小屋取	3.8	0	56	0	56	0.42	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	56.9	31	302	205	538	4.07
	寄磯	3.5	0	0	0	0	0.00	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	44.6	32	322	270	624	4.71
東北電力	塚浜	3.3	0	57	0	57	0.43	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	61.2	2	253	171	426	3.23
	寺間	3.2	0	8	0	8	0.06	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	48.4	3	299	197	499	3.79
	江島	2.6	0	16	0	16	0.12	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	41.4	6	211	183	400	3.04
	前網	4.0	0	54	0	54	0.41	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	67.4	0	211	117	328	2.49

※1 今期の全データ数は、欠測がないものとして13248個/局である。

※2 指標線量率が設定値を超過し、空間ガンマ線スペクトルに人工核種のピーク等の異常がみられたデータの個数である。

※3 発電所起因の有無については、発電所運転状況、気象及び指標線量率等を用いて評価している。

※4 女川局、小屋取局及び寄磯局の調査レベルは、前四半期の平均値に平成28年度の標準偏差の3倍を加えて算出した数値、塚浜局、寺間局、江島局及び前網局の調査レベルは、平成29年度の平均値に標準偏差の3倍を加えて算出した数値である。

【平成30年度 第3四半期 修正前】

表-2 空間ガンマ線線量率及び海水中全ガンマ線計数率の評価結果

(NaI(Tl)検出器による指標線量率、空間ガンマ線線量率及び海水(放水)中の全ガンマ線計数率 ※1)

(1) モニタリングステーション

調査機関	局名	指標線量率						スペクトルに異常がみられたデータ数(個) ※2				発電所起因データ数(個) ※3				空間ガンマ線線量率 調査レベル ※4												
		設定値 (nGy/h)	超過数(個)					10月	11月	12月	合計	割合(%)	10月	11月	12月	合計	設定値 (nGy/h)	超過数(個) <参考>										
			10月	11月	12月	合計	割合(%)											10月	11月	12月	合計	割合(%)						
宮城県	女川	2.7	0	0	0	0	0.00	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	36.9	72	59	85	216	1.63
	小屋取	3.8	0	0	0	0	0.00	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	56.9	76	79	107	262	1.98
	寄磯	3.5	0	0	0	0	0.00	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	44.6	55	25	92	172	1.30
東北電力	塚浜	3.3	0	0	0	0	0.00	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	61.2	42	33	65	140	1.06
	寺間	3.2	0	0	1	1	0.01	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	48.4	57	6	78	141	1.06
	江島	2.6	0	0	33	33	0.25	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	41.4	55	1	97	153	1.16
	前網	4.0	0	0	0	0	0.00	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	67.4	21	0	70	91	0.69

※1 今期の全データ数は、欠測がないものとして13248個/局である。

※2 指標線量率が設定値を超過し、空間ガンマ線スペクトルに人工核種のピーク等の異常がみられたデータの個数である。

※3 発電所起因の有無については、発電所運転状況、気象及び指標線量率等を用いて評価している。

※4 女川局、小屋取局及び寄磯局の調査レベルは、平成30年度第1四半期の平均値に平成28年度の標準偏差の3倍を加えて算出した数値、塚浜局、寺間局、江島局及び前網局の調査レベルは、平成29年度の平均値に標準偏差の3倍を加えて算出した数値である。

局名	伝送異常スペクトル数(個)
女川	48
小屋取	32
寄磯	45

【平成30年度 第3四半期 修正後】

表-2 空間ガンマ線線量率及び海水中全ガンマ線計数率の評価結果

(NaI(Tl)検出器による指標線量率、空間ガンマ線線量率及び海水(放水)中の全ガンマ線計数率 ※1)

(1) モニタリングステーション

調査機関	局名	指標線量率						スペクトルに異常がみられたデータ数(個) ※2				発電所起因データ数(個) ※3				空間ガンマ線線量率 調査レベル ※4												
		設定値 (nGy/h)	超過数(個)					10月	11月	12月	合計	割合(%)	10月	11月	12月	合計	設定値 (nGy/h)	超過数(個) <参考>										
			10月	11月	12月	合計	割合(%)											10月	11月	12月	合計	割合(%)						
宮城県	女川	2.7	0	0	0	0	0.00	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	36.9	72	59	85	216	1.63
	小屋取	3.8	0	0	0	0	0.00	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	56.9	76	79	107	262	1.98
	寄磯	3.5	0	0	0	0	0.00	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	44.6	55	25	92	172	1.30
東北電力	塚浜	3.3	0	0	0	0	0.00	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	61.2	42	33	65	140	1.06
	寺間	3.2	0	0	1	1	0.01	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	48.4	57	6	78	141	1.06
	江島	2.6	0	0	33	33	0.25	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	41.4	55	1	97	153	1.16
	前網	4.0	0	0	0	0	0.00	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	67.4	21	0	70	91	0.69

※1 今期の全データ数は、欠測がないものとして13248個/局である。

※2 指標線量率が設定値を超過し、空間ガンマ線スペクトルに人工核種のピーク等の異常がみられたデータの個数である。

※3 発電所起因の有無については、発電所運転状況、気象及び指標線量率等を用いて評価している。

※4 女川局、小屋取局及び寄磯局の調査レベルは、平成30年度第1四半期の平均値に平成28年度の標準偏差の3倍を加えて算出した数値、塚浜局、寺間局、江島局及び前網局の調査レベルは、平成29年度の平均値に標準偏差の3倍を加えて算出した数値である。

【平成30年度 第4四半期 修正前】

表-2 空間ガンマ線線量率及び海水中全ガンマ線計数率の評価結果

(NaI(Tl)検出器による指標線量率、空間ガンマ線線量率及び海水(放水)中の全ガンマ線計数率 ※1)

(1) モニタリングステーション

調査機関	局名	指標線量率						スペクトルに異常がみられたデータ数(個) ※2				発電所起因データ数(個) ※3				空間ガンマ線線量率 調査レベル ※4									
		設定値(nGy/h)	超過数(個)					1月	2月	3月	合計	割合(%)	1月	2月	3月	合計	設定値(nGy/h)	超過数(個) <参考>							
			1月	2月	3月	合計	割合(%)											1月	2月	3月	合計	割合(%)			
宮城県	女川	2.7	0	0	0	0	0.00	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.93
	小屋取	3.8	0	0	0	0	0.00	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2.12
	寄磯	3.5	0	0	0	0	0.00	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1.57
東北電力	塚浜	3.3	0	0	0	0	0.00	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.70
	寺間	3.2	0	0	0	0	0.00	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1.18
	江島	2.6	0	0	0	0	0.00	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1.56
	前網	4.0	12	0	0	12	0.10	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.96

※1 今期の全データ数は、欠測がないものとして12960個/局である。

※2 指標線量率が設定値を超過し、空間ガンマ線スペクトルに人工核種のピーク等の異常がみられたデータの個数である。

※3 発電所起因の有無については、発電所運転状況、気象及び指標線量率等を用いて評価している。

※4 女川局、小屋取局及び寄磯局の調査レベルは、平成30年度第1四半期の平均値に平成28年度の標準偏差の3倍を加えて算出した数値、塚浜局、寺間局、江島局及び前網局の調査レベルは、平成29年度の平均値に標準偏差の3倍を加えて算出した数値である。

局名	伝送異常スペクトル数(個)
女川	9
小屋取	25
寄磯	25

【平成30年度 第4四半期 修正後】

表-2 空間ガンマ線線量率及び海水中全ガンマ線計数率の評価結果

(NaI(Tl)検出器による指標線量率、空間ガンマ線線量率及び海水(放水)中の全ガンマ線計数率 ※1)

(1) モニタリングステーション

調査機関	局名	指標線量率						スペクトルに異常がみられたデータ数(個) ※2				発電所起因データ数(個) ※3				空間ガンマ線線量率 調査レベル ※4										
		設定値(nGy/h)	超過数(個)					1月	2月	3月	合計	割合(%)	1月	2月	3月	合計	設定値(nGy/h)	超過数(個) <参考>								
			1月	2月	3月	合計	割合(%)											1月	2月	3月	合計	割合(%)				
宮城県	女川	2.7	0	0	0	0	0.00	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.93
	小屋取	3.8	2	0	0	2	0.02	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2.12
	寄磯	3.5	0	0	0	0	0.00	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1.57
東北電力	塚浜	3.3	0	0	0	0	0.00	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.70
	寺間	3.2	0	0	0	0	0.00	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1.18
	江島	2.6	0	0	0	0	0.00	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1.56
	前網	4.0	12	0	0	12	0.10	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.96

※1 今期の全データ数は、欠測がないものとして12960個/局である。

※2 指標線量率が設定値を超過し、空間ガンマ線スペクトルに人工核種のピーク等の異常がみられたデータの個数である。

※3 発電所起因の有無については、発電所運転状況、気象及び指標線量率等を用いて評価している。

※4 女川局、小屋取局及び寄磯局の調査レベルは、平成30年度第1四半期の平均値に平成28年度の標準偏差の3倍を加えて算出した数値、塚浜局、寺間局、江島局及び前網局の調査レベルは、平成29年度の平均値に標準偏差の3倍を加えて算出した数値である。

【令和元年度 第1四半期 修正前】

表-2 空間ガンマ線量率及び海水中全ガンマ線計数率の評価結果

(NaI(Tl)検出器による指標線量率、空間ガンマ線量率及び海水(放水)中の全ガンマ線計数率 ※1)

(1) モニタリングステーション

調査機関	局名	指標線量率						スペクトルに異常がみられたデータ数(個) ※2				発電所起因データ数(個) ※3				空間ガンマ線量率 調査レベル※4						
		設定値 (nGy/h)	超過数(個)					割合(%)	4月	5月	6月	合計	4月	5月	6月	合計	設定値 (nGy/h)	超過数(個) <参考>				
			4月	5月	6月	合計	割合(%)											4月	5月	6月	合計	割合(%)
宮城県	女川	2.7	0	0	0	0	0.00	0	0	0	0	0	0	0	0	38.6	49	58	101	208	1.60	
	飯子浜	4.0	0	0	0	0	0.00	0	0	0	0	0	0	0	0	46.9	110	85	231	426	3.27	
	小屋取	3.8	0	0	0	0	0.00	0	0	0	0	0	0	0	0	59.0	69	58	137	264	2.03	
	寄磯	3.5	0	0	0	0	0.00	0	0	0	0	0	0	0	0	46.6	36	70	164	270	2.07	
	鮫浦	4.0	0	0	0	0	0.00	0	0	0	0	0	0	0	0	56.6	101	97	253	451	3.46	
	谷川	4.0	0	0	0	0	0.00	0	0	0	0	0	0	0	0	56.9	101	84	184	369	2.83	
	荻浜	4.0	0	0	0	0	0.00	0	0	0	0	0	0	0	0	61.9	109	83	186	378	2.89	
東北電力	塚浜	3.3	0	0	0	0	0.00	0	0	0	0	0	0	0	0	60.7	51	54	142	247	1.90	
	寺間	3.2	0	0	0	0	0.00	0	0	0	0	0	0	0	0	48.9	50	57	151	258	2.16	
	江島	2.6	0	0	0	0	0.00	0	0	0	0	0	0	0	0	41.8	50	54	103	207	1.74	
	前網	4.0	0	0	0	0	0.00	0	0	0	0	0	0	0	0	65.1	42	53	102	197	1.50	

※1 今期の全データ数は、欠測がないものとして13104個/局である。

※2 指標線量率が設定値を超過し、空間ガンマ線スペクトルに人工核種のピーク等の異常がみられたデータの個数である。

※3 発電所起因の有無については、発電所運転状況、気象及び指標線量率等を用いて評価している。

※4 調査レベルは前年度の平均値に標準偏差の3倍を加えて算出した数値である。ただし、再建した飯子浜、鮫浦、谷川及び荻浜局では、測定開始日(平成31年2月~3月)以降の測定結果を基に算出した。また、非常用発電機設置の影響により線量率のベースラインが低下した前網局では、それ以降(平成31年2月13日~3月31日)の平均値に平成29年度の標準偏差の3倍を加えて算出した。

局名	伝送異常スペクトル数(個)
女川	130
飯子浜	126
小屋取	120
寄磯	112
鮫浦	102
谷川	85
荻浜	55

【令和元年度 第1四半期 修正後】

表-2 空間ガンマ線量率及び海水中全ガンマ線計数率の評価結果

(NaI(Tl)検出器による指標線量率、空間ガンマ線量率及び海水(放水)中の全ガンマ線計数率 ※1)

(1) モニタリングステーション

調査機関	局名	指標線量率						スペクトルに異常がみられたデータ数(個) ※2				発電所起因データ数(個) ※3				空間ガンマ線量率 調査レベル※4						
		設定値 (nGy/h)	超過数(個)					割合(%)	4月	5月	6月	合計	4月	5月	6月	合計	設定値 (nGy/h)	超過数(個) <参考>				
			4月	5月	6月	合計	割合(%)											4月	5月	6月	合計	割合(%)
宮城県	女川	2.7	0	0	0	0	0.00	0	0	0	0	0	0	0	0	38.6	49	58	101	208	1.60	
	飯子浜	4.0	0	0	0	0	0.00	0	0	0	0	0	0	0	0	46.9	110	85	231	426	3.27	
	小屋取	3.8	0	0	0	0	0.00	0	0	0	0	0	0	0	0	59.0	69	58	137	264	2.03	
	寄磯	3.5	0	0	0	0	0.00	0	0	0	0	0	0	0	0	46.6	36	70	164	270	2.07	
	鮫浦	4.0	0	0	0	0	0.00	0	0	0	0	0	0	0	0	56.6	101	97	253	451	3.46	
	谷川	4.0	0	0	0	0	0.00	0	0	0	0	0	0	0	0	56.9	101	84	184	369	2.83	
	荻浜	4.0	0	0	0	0	0.00	0	0	0	0	0	0	0	0	61.9	109	83	186	378	2.89	
東北電力	塚浜	3.3	0	0	0	0	0.00	0	0	0	0	0	0	0	0	60.7	51	54	142	247	1.90	
	寺間	3.2	0	0	0	0	0.00	0	0	0	0	0	0	0	0	48.9	50	57	151	258	2.16	
	江島	2.6	0	0	0	0	0.00	0	0	0	0	0	0	0	0	41.8	50	54	103	207	1.74	
	前網	4.0	0	0	0	0	0.00	0	0	0	0	0	0	0	0	65.1	42	53	102	197	1.50	

※1 今期の全データ数は、欠測がないものとして13104個/局である。

※2 指標線量率が設定値を超過し、空間ガンマ線スペクトルに人工核種のピーク等の異常がみられたデータの個数である。

※3 発電所起因の有無については、発電所運転状況、気象及び指標線量率等を用いて評価している。

※4 調査レベルは前年度の平均値に標準偏差の3倍を加えて算出した数値である。ただし、再建した飯子浜、鮫浦、谷川及び荻浜局では、測定開始日(平成31年2月~3月)以降の測定結果を基に算出した。また、非常用発電機設置の影響により線量率のベースラインが低下した前網局では、それ以降(平成31年2月13日~3月31日)の平均値に平成29年度の標準偏差の3倍を加えて算出した。

【令和元年度 第2四半期 修正前】

表-2 空間ガンマ線量率及び海水中全ガンマ線計数率の評価結果

(NaI(Tl)検出器による指標線量率、空間ガンマ線量率及び海水(放水)中の全ガンマ線計数率 ※1)

(1) モニタリングステーション

調査機関	局名	指標線量率						スペクトルに異常がみられたデータ数(個) ※2				発電所起因データ数(個) ※3				空間ガンマ線量率 調査レベル ※4												
		設定値(nGy/h)	超過数(個)					7月	8月	9月	合計	割合(%)	7月	8月	9月	合計	7月	8月	9月	合計	割合(%)							
			7月	8月	9月	合計	割合(%)																					
宮城県	女川	2.7	0	0	0	0	0.00	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	38.6	27	37	38	102	0.77
	飯子浜	4.0	0	0	0	0	0.00	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	47.6	47	87	44	178	1.35
	小屋取	3.8	0	0	0	0	0.00	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	59.0	31	53	37	121	0.92
	寄磯	3.5	0	0	0	0	0.00	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	46.6	43	41	47	131	0.99
	鮫浦	4.0	0	0	0	0	0.00	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	57.7	43	91	48	182	1.38
	谷川	4.0	0	0	0	0	0.00	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	56.9	42	73	50	165	1.25
	荻浜	4.0	0	0	0	0	0.00	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	61.9	51	94	47	192	1.46
東北電力	塚浜	3.3	0	0	0	0	0.00	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	60.7	37	54	40	131	0.99
	寺間	3.2	0	0	0	0	0.00	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	48.9	37	64	40	141	1.07
	江島	2.6	0	0	0	0	0.00	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	41.8	41	50	46	137	1.04
	前網	4.0	0	0	0	0	0.00	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	63.7	37	57	45	139	1.05

※1 今期の全データ数は、欠測がないものとして13248個/局である。

※2 指標線量率が設定値を超過し、空間ガンマ線スペクトルに人工核種のピーク等の異常がみられたデータの個数である。

※3 発電所起因の有無については、発電所運転状況、気象及び指標線量率等を用いて評価している。

※4 調査レベルは前年度の平均値に標準偏差の3倍を加えて算出した数値である。ただし、平成30年度に再建した飯子浜、鮫浦、谷川及び荻浜局では、令和元年度第1四半期の測定結果を基に算出した。また、平成30年度の非常用発電機設置の影響により線量率のベースラインが低下した前網局では、令和元年度第1四半期の平均値に平成29年度の標準偏差の3倍を加えて算出した。

局名	伝送異常スペクトル数(個)
女川	74
飯子浜	88
小屋取	58
寄磯	87
鮫浦	65
谷川	52
荻浜	80

【令和元年度 第2四半期 修正後】

表-2 空間ガンマ線量率及び海水中全ガンマ線計数率の評価結果

(NaI(Tl)検出器による指標線量率、空間ガンマ線量率及び海水(放水)中の全ガンマ線計数率 ※1)

(1) モニタリングステーション

調査機関	局名	指標線量率						スペクトルに異常がみられたデータ数(個) ※2				発電所起因データ数(個) ※3				空間ガンマ線量率 調査レベル ※4												
		設定値(nGy/h)	超過数(個)					7月	8月	9月	合計	割合(%)	7月	8月	9月	合計	7月	8月	9月	合計	割合(%)							
			7月	8月	9月	合計	割合(%)																					
宮城県	女川	2.7	0	0	0	0	0.00	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	38.6	27	37	38	102	0.77
	飯子浜	4.0	0	0	0	0	0.00	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	47.6	47	87	44	178	1.35
	小屋取	3.8	0	0	0	0	0.00	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	59.0	31	53	37	121	0.92
	寄磯	3.5	0	0	0	0	0.00	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	46.6	43	41	47	131	0.99
	鮫浦	4.0	0	0	0	0	0.00	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	57.7	43	91	48	182	1.38
	谷川	4.0	0	0	0	0	0.00	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	56.9	42	73	50	165	1.25
	荻浜	4.0	0	0	0	0	0.00	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	61.9	51	94	47	192	1.46
東北電力	塚浜	3.3	0	0	0	0	0.00	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	60.7	37	54	40	131	0.99
	寺間	3.2	0	0	0	0	0.00	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	48.9	37	64	40	141	1.07
	江島	2.6	0	0	0	0	0.00	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	41.8	41	50	46	137	1.04
	前網	4.0	0	0	0	0	0.00	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	63.7	37	57	45	139	1.05

※1 今期の全データ数は、欠測がないものとして13248個/局である。

※2 指標線量率が設定値を超過し、空間ガンマ線スペクトルに人工核種のピーク等の異常がみられたデータの個数である。

※3 発電所起因の有無については、発電所運転状況、気象及び指標線量率等を用いて評価している。

※4 調査レベルは前年度の平均値に標準偏差の3倍を加えて算出した数値である。ただし、平成30年度に再建した飯子浜、鮫浦、谷川及び荻浜局では、令和元年度第1四半期の測定結果を基に算出した。また、平成30年度の非常用発電機設置の影響により線量率のベースラインが低下した前網局では、令和元年度第1四半期の平均値に平成29年度の標準偏差の3倍を加えて算出した。

【令和元年度 第3四半期 修正前】

表-2 空間ガンマ線量率及び海水中全ガンマ線計数率の評価結果

(NaI(Tl)検出器による指標線量率、空間ガンマ線量率及び海水(放水)中の全ガンマ線計数率 ※1)

(1) モニタリングステーション

調査機関	局名	指標線量率						スペクトルに異常がみられたデータ数(個) ※2				発電所起因データ数(個) ※3				空間ガンマ線量率 調査レベル ※4						
		設定値 (nGy/h)	超過数(個)					10月	11月	12月	合計	割合(%)	10月	11月	12月	合計	設定値 (nGy/h)	<参考>				
			10月	11月	12月	合計	割合(%)											10月	11月	12月	合計	割合(%)
宮城県	女川	2.7	0	0	0	0	0.00	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	44	270	2.14	
	飯子浜	4.0	0	0	0	0	0.00	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	75	342	2.71	
	小屋取	3.8	0	0	0	0	0.00	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	65	257	2.04	
	寄磯	3.5	0	0	0	0	0.00	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	60	214	1.70	
	鮫浦	4.0	0	0	0	0	0.00	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	64	325	2.58	
	谷川	4.0	1	0	0	1	0.01	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	98	334	2.65
	荻浜	4.0	0	0	0	0	0.00	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	86	400	3.17	
東北電力	塚浜	3.3	0	0	0	0	0.00	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	78	242	1.83	
	寺間	3.2	0	0	0	0	0.00	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	92	261	1.99	
	江島	2.6	0	0	0	0	0.00	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	101	256	1.93	
	前網	4.0	0	0	0	0	0.00	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	108	308	2.33	

※1 今期の全データ数は、欠測がないものとして13248個/局である。

※2 指標線量率が設定値を超過し、空間ガンマ線スペクトルに人工核種のピーク等の異常がみられたデータの個数である。

※3 発電所起因の有無については、発電所運転状況、気象及び指標線量率等を用いて評価している。

※4 調査レベルは前年度の平均値に標準偏差の3倍を加えて算出した数値である。ただし、平成30年度に再建した飯子浜、鮫浦、谷川及び荻浜局では、令和元年度第1四半期の測定結果を基に算出した。また、平成30年度の非常用発電機設置の影響により線量率のベースラインが低下した前網局では、令和元年度第1四半期の平均値に平成29年度の標準偏差の3倍を加えて算出した。

局名	伝送異常スペクトル数(個)
女川	114
飯子浜	95
小屋取	95
寄磯	110
鮫浦	85
谷川	88
荻浜	87

【令和元年度 第3四半期 修正後】

表-2 空間ガンマ線量率及び海水中全ガンマ線計数率の評価結果

(NaI(Tl)検出器による指標線量率、空間ガンマ線量率及び海水(放水)中の全ガンマ線計数率 ※1)

(1) モニタリングステーション

調査機関	局名	指標線量率						スペクトルに異常がみられたデータ数(個) ※2				発電所起因データ数(個) ※3				空間ガンマ線量率 調査レベル ※4						
		設定値 (nGy/h)	超過数(個)					10月	11月	12月	合計	割合(%)	10月	11月	12月	合計	設定値 (nGy/h)	<参考>				
			10月	11月	12月	合計	割合(%)											10月	11月	12月	合計	割合(%)
宮城県	女川	2.7	0	0	0	0	0.00	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	44	270	2.14	
	飯子浜	4.0	0	0	0	0	0.00	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	75	342	2.71	
	小屋取	3.8	0	0	0	0	0.00	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	65	257	2.04	
	寄磯	3.5	0	0	0	0	0.00	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	60	214	1.70	
	鮫浦	4.0	0	0	0	0	0.00	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	64	325	2.58	
	谷川	4.0	1	0	0	1	0.01	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	98	334	2.65
	荻浜	4.0	0	0	0	0	0.00	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	86	400	3.17	
東北電力	塚浜	3.3	0	0	0	0	0.00	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	78	242	1.83	
	寺間	3.2	0	0	0	0	0.00	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	92	261	1.99	
	江島	2.6	0	0	0	0	0.00	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	101	256	1.93	
	前網	4.0	0	0	0	0	0.00	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	108	308	2.33	

※1 今期の全データ数は、欠測がないものとして13248個/局である。

※2 指標線量率が設定値を超過し、空間ガンマ線スペクトルに人工核種のピーク等の異常がみられたデータの個数である。

※3 発電所起因の有無については、発電所運転状況、気象及び指標線量率等を用いて評価している。

※4 調査レベルは前年度の平均値に標準偏差の3倍を加えて算出した数値である。ただし、平成30年度に再建した飯子浜、鮫浦、谷川及び荻浜局では、令和元年度第1四半期の測定結果を基に算出した。また、平成30年度の非常用発電機設置の影響により線量率のベースラインが低下した前網局では、令和元年度第1四半期の平均値に平成29年度の標準偏差の3倍を加えて算出した。

【令和元年度 第4四半期 修正前】

表-2 空間ガンマ線量率及び海水中全ガンマ線計数率の評価結果

(NaI(Tl)検出器による指標線量率、空間ガンマ線量率及び海水(放水)中の全ガンマ線計数率 ※1)

(1) モニタリングステーション

調査機関	局名	指標線量率						スペクトルに異常がみられたデータ数(個) ※2				発電所起因データ数(個) ※3				空間ガンマ線量率 調査レベル ※4									
		設定値 (nGy/h)	超過数(個)					1月	2月	3月	合計	1月	2月	3月	合計	設定値 (nGy/h)	<参考>								
			1月	2月	3月	合計	割合(%)										1月	2月	3月	合計	割合(%)				
宮城県	女川	2.7	0	0	0	0	0.00	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	38.6	94	51	21	166	1.27
	飯子浜	4.0	0	0	0	0	0.00	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	47.6	164	131	35	330	2.52
	小屋取	3.8	0	0	0	0	0.00	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	59.0	43	79	22	144	1.10
	寄磯	3.5	0	0	0	0	0.00	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	46.6	27	98	2	127	0.97
	鮫浦	4.0	0	0	0	0	0.00	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	57.7	111	122	33	266	2.03
	谷川	4.0	0	0	0	0	0.00	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	56.9	147	136	40	323	2.47
	荻浜	4.0	0	0	0	0	0.00	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	61.9	171	123	40	334	2.55
東北電力	塚浜	3.3	0	2	0	2	0.02	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	60.7	32	67	16	115	0.91
	寺間	3.2	0	0	0	0	0.00	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	48.9	95	99	30	224	1.71
	江島	2.6	0	0	0	0	0.00	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	41.8	84	141	36	261	1.99
	前網	4.0	0	0	0	0	0.00	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	63.7	100	95	40	235	1.79

※1 今期の全データ数は、欠測がないものとして13104個/局である。

※2 指標線量率が設定値を超過し、空間ガンマ線スペクトルに人工核種のピーク等の異常がみられたデータの個数である。

※3 発電所起因の有無については、発電所運転状況、気象及び指標線量率等を用いて評価している。

※4 調査レベルは前年度の平均値に標準偏差の3倍を加えて算出した数値である。ただし、平成30年度に再建した飯子浜、鮫浦、谷川及び荻浜局では、令和元年度第1四半期の測定結果を基に算出した。また、平成30年度の非常用発電機設置の影響により線量率のベースラインが低下した前網局では、令和元年度第1四半期の平均値に平成29年度の標準偏差の3倍を加えて算出した。

局名	伝送異常スペクトル数(個)
女川	52
飯子浜	49
小屋取	51
寄磯	28
鮫浦	23
谷川	24
荻浜	25

【令和元年度 第4四半期 修正後】

表-2 空間ガンマ線量率及び海水中全ガンマ線計数率の評価結果

(NaI(Tl)検出器による指標線量率、空間ガンマ線量率及び海水(放水)中の全ガンマ線計数率 ※1)

(1) モニタリングステーション

調査機関	局名	指標線量率						スペクトルに異常がみられたデータ数(個) ※2				発電所起因データ数(個) ※3				空間ガンマ線量率 調査レベル ※4									
		設定値 (nGy/h)	超過数(個)					1月	2月	3月	合計	1月	2月	3月	合計	設定値 (nGy/h)	<参考>								
			1月	2月	3月	合計	割合(%)										1月	2月	3月	合計	割合(%)				
宮城県	女川	2.7	0	0	0	0	0.00	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	38.6	94	51	21	166	1.27
	飯子浜	4.0	0	0	0	0	0.00	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	47.6	164	131	35	330	2.52
	小屋取	3.8	0	0	0	0	0.00	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	59.0	43	79	22	144	1.10
	寄磯	3.5	0	0	0	0	0.00	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	46.6	27	98	2	127	0.97
	鮫浦	4.0	0	0	0	0	0.00	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	57.7	111	122	33	266	2.03
	谷川	4.0	0	0	0	0	0.00	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	56.9	147	136	40	323	2.47
	荻浜	4.0	0	0	0	0	0.00	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	61.9	171	123	40	334	2.55
東北電力	塚浜	3.3	0	2	0	2	0.02	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	60.7	32	67	16	115	0.91
	寺間	3.2	0	0	0	0	0.00	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	48.9	95	99	30	224	1.71
	江島	2.6	0	0	0	0	0.00	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	41.8	84	141	36	261	1.99
	前網	4.0	0	0	0	0	0.00	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	63.7	100	95	40	235	1.79

※1 今期の全データ数は、欠測がないものとして13104個/局である。

※2 指標線量率が設定値を超過し、空間ガンマ線スペクトルに人工核種のピーク等の異常がみられたデータの個数である。

※3 発電所起因の有無については、発電所運転状況、気象及び指標線量率等を用いて評価している。

※4 調査レベルは前年度の平均値に標準偏差の3倍を加えて算出した数値である。ただし、平成30年度に再建した飯子浜、鮫浦、谷川及び荻浜局では、令和元年度第1四半期の測定結果を基に算出した。また、平成30年度の非常用発電機設置の影響により線量率のベースラインが低下した前網局では、令和元年度第1四半期の平均値に平成29年度の標準偏差の3倍を加えて算出した。

【令和2年度 第1四半期 修正前】

表-2 空間ガンマ線量率及び海水中全ガンマ線計数率の評価結果

(NaI(Tl)検出器による指標線量率、空間ガンマ線量率及び海水(放水)中の全ガンマ線計数率 ※1)

(1) モニタリングステーション

調査機関	局名	指標線量率						スペクトルに異常がみられたデータ数(個) ※2				発電所起因データ数(個) ※3				空間ガンマ線量率 調査レベル ※4										
		設定値 (nGy/h)	超過数(個)					4月	5月	6月	合計	割合(%)	4月	5月	6月	合計	4月	5月	6月	合計	割合(%)					
			4月	5月	6月	合計	割合(%)																			
宮城県	女川	2.7	0	0	0	0	0.00	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	36.4	49	56	78	183	1.41
	飯子浜	4.0	0	0	0	0	0.00	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	47.9	79	59	72	210	1.61
	小屋取	3.8	0	0	0	0	0.00	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	57.3	39	56	64	159	1.22
	寄磯	3.5	0	0	0	0	0.00	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	45.0	45	63	65	173	1.33
	鮫浦	4.0	0	0	0	0	0.00	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	58.1	55	68	95	218	1.67
	谷川	4.0	0	0	0	0	0.00	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	57.0	87	70	66	223	1.71
	萩浜	4.0	0	0	0	0	0.00	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	62.3	54	65	81	200	1.53
東北電力	塚浜	3.3	0	0	0	0	0.00	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	58.2	52	59	80	191	1.46
	寺間	3.2	0	0	0	0	0.00	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	47.4	60	0	81	141	1.13
	江島	2.6	0	0	0	0	0.00	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	40.5	52	62	61	175	1.38
	前網	4.0	0	0	0	0	0.00	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	63.0	29	58	62	149	1.17

※1 今期の全データ数は、欠測がないものとして13104個/局である。

※2 指標線量率が設定値を超過し、空間ガンマ線スペクトルに人工核種のピーク等の異常がみられたデータの個数である。

※3 発電所起因の有無については、発電所運転状況、気象及び指標線量率等を用いて評価している。

※4 調査レベルは前年度の平均値に標準偏差の3倍を加えて算出した数値である。

局名	伝送異常スペクトル数(個)
女川	44
飯子浜	51
小屋取	50
寄磯	48
鮫浦	37
谷川	35
萩浜	20

【令和2年度 第1四半期 修正後】

表-2 空間ガンマ線量率及び海水中全ガンマ線計数率の評価結果

(NaI(Tl)検出器による指標線量率、空間ガンマ線量率及び海水(放水)中の全ガンマ線計数率 ※1)

(1) モニタリングステーション

調査機関	局名	指標線量率						スペクトルに異常がみられたデータ数(個) ※2				発電所起因データ数(個) ※3				空間ガンマ線量率 調査レベル ※4										
		設定値 (nGy/h)	超過数(個)					4月	5月	6月	合計	割合(%)	4月	5月	6月	合計	4月	5月	6月	合計	割合(%)					
			4月	5月	6月	合計	割合(%)																			
宮城県	女川	2.7	0	0	0	0	0.00	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	36.4	49	56	78	183	1.41
	飯子浜	4.0	0	0	0	0	0.00	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	47.9	79	59	72	210	1.61
	小屋取	3.8	0	0	0	0	0.00	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	57.3	39	56	64	159	1.22
	寄磯	3.5	0	0	0	0	0.00	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	45.0	45	63	65	173	1.33
	鮫浦	4.0	0	0	0	0	0.00	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	58.1	55	68	95	218	1.67
	谷川	4.0	0	0	0	0	0.00	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	57.0	87	70	66	223	1.71
	萩浜	4.0	0	0	0	0	0.00	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	62.3	54	65	81	200	1.53
東北電力	塚浜	3.3	0	0	0	0	0.00	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	58.2	52	59	80	191	1.46
	寺間	3.2	0	0	0	0	0.00	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	47.4	60	0	81	141	1.13
	江島	2.6	0	0	0	0	0.00	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	40.5	52	62	61	175	1.38
	前網	4.0	0	0	0	0	0.00	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	63.0	29	58	62	149	1.17

※1 今期の全データ数は、欠測がないものとして13104個/局である。

※2 指標線量率が設定値を超過し、空間ガンマ線スペクトルに人工核種のピーク等の異常がみられたデータの個数である。

※3 発電所起因の有無については、発電所運転状況、気象及び指標線量率等を用いて評価している。

※4 調査レベルは前年度の平均値に標準偏差の3倍を加えて算出した数値である。

【令和2年度 第2四半期 修正前】

表-2 空間ガンマ線量率及び海水中全ガンマ線計数率の評価結果

(NaI(Tl)検出器による指標線量率、空間ガンマ線量率及び海水(放水)中の全ガンマ線計数率 ※1)

(1) モニタリングステーション

調査機関	局名	指標線量率						スペクトルに異常がみられたデータ数(個) ※2				発電所起因データ数(個) ※3				空間ガンマ線量率 調査レベル ※4									
		設定値(nGy/h)	超過数(個)					7月	8月	9月	合計	割合(%)	7月	8月	9月	合計	7月	8月	9月	<参考>					
			7月	8月	9月	合計	割合(%)													7月	8月	9月	合計	割合(%)	
宮城県	女川	2.7	0	0	0	0	0.00	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	36.4	191	44	121	356	2.69
	飯子浜 ※5	4.0	0	-	0	0	0.00	0	-	0	0	0	0	-	0	0	0	0	0	47.9	124	-	140	264	3.82
	小屋取	3.8	0	5	0	5	0.04	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	57.3	81	40	0	121	0.92
	寄磯	3.5	0	0	0	0	0.00	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	45.0	162	44	13	219	1.65
	鮫浦	4.0	0	4	0	4	0.03	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	58.1	182	63	119	364	2.75
	谷川	4.0	0	0	0	0	0.00	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	57.0	148	52	13	213	1.61
	荻浜	4.0	0	8	0	8	0.06	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	62.3	139	53	105	297	2.25
東北電力	塚浜	3.3	0	10	0	10	0.08	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	58.2	176	47	25	248	1.88
	寺間	3.2	0	6	0	6	0.05	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	47.4	180	35	14	229	1.74
	江島	2.6	0	8	0	8	0.06	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	40.5	168	37	6	211	1.60
	前網	4.0	0	10	0	10	0.08	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	63.0	112	35	8	155	1.18

※1 今期の全データ数は、欠測がないものとして13248個/局である。

※2 指標線量率が設定値を超過し、空間ガンマ線スペクトルに人工核種のピーク等の異常がみられたデータの個数である。

※3 発電所起因の有無については、発電所運転状況、気象及び指標線量率等を用いて評価している。

※4 調査レベルは前年度の平均値に標準偏差の3倍を加えて算出した数値である。

※5 飯子浜局については、検出器の動作不良により7月26日午後10時～9月8日午後4時20分の全データを欠測または参考値扱いとし、統計処理から除外した。

局名	伝送異常スペクトル数(個)
女川	10
飯子浜	20
小屋取	13
寄磯	13
鮫浦	10
谷川	7
荻浜	8

【令和2年度 第2四半期 修正後】

表-2 空間ガンマ線量率及び海水中全ガンマ線計数率の評価結果

(NaI(Tl)検出器による指標線量率、空間ガンマ線量率及び海水(放水)中の全ガンマ線計数率 ※1)

(1) モニタリングステーション

調査機関	局名	指標線量率						スペクトルに異常がみられたデータ数(個) ※2				発電所起因データ数(個) ※3				空間ガンマ線量率 調査レベル ※4									
		設定値(nGy/h)	超過数(個)					7月	8月	9月	合計	割合(%)	7月	8月	9月	合計	7月	8月	9月	<参考>					
			7月	8月	9月	合計	割合(%)													7月	8月	9月	合計	割合(%)	
宮城県	女川	2.7	0	0	0	0	0.00	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	36.4	191	44	121	356	2.69
	飯子浜 ※5	4.0	0	-	0	0	0.00	0	-	0	0	0	0	-	0	0	0	0	0	47.9	124	-	140	264	3.82
	小屋取	3.8	0	5	0	5	0.04	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	57.3	81	40	0	121	0.92
	寄磯	3.5	0	0	0	0	0.00	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	45.0	162	44	13	219	1.65
	鮫浦	4.0	0	4	0	4	0.03	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	58.1	182	63	119	364	2.75
	谷川	4.0	0	0	0	0	0.00	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	57.0	148	52	13	213	1.61
	荻浜	4.0	0	8	0	8	0.06	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	62.3	139	53	105	297	2.25
東北電力	塚浜	3.3	0	10	0	10	0.08	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	58.2	176	47	25	248	1.88
	寺間	3.2	0	6	0	6	0.05	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	47.4	180	35	14	229	1.74
	江島	2.6	0	8	0	8	0.06	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	40.5	168	37	6	211	1.60
	前網	4.0	0	10	0	10	0.08	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	63.0	112	35	8	155	1.18

※1 今期の全データ数は、欠測がないものとして13248個/局である。

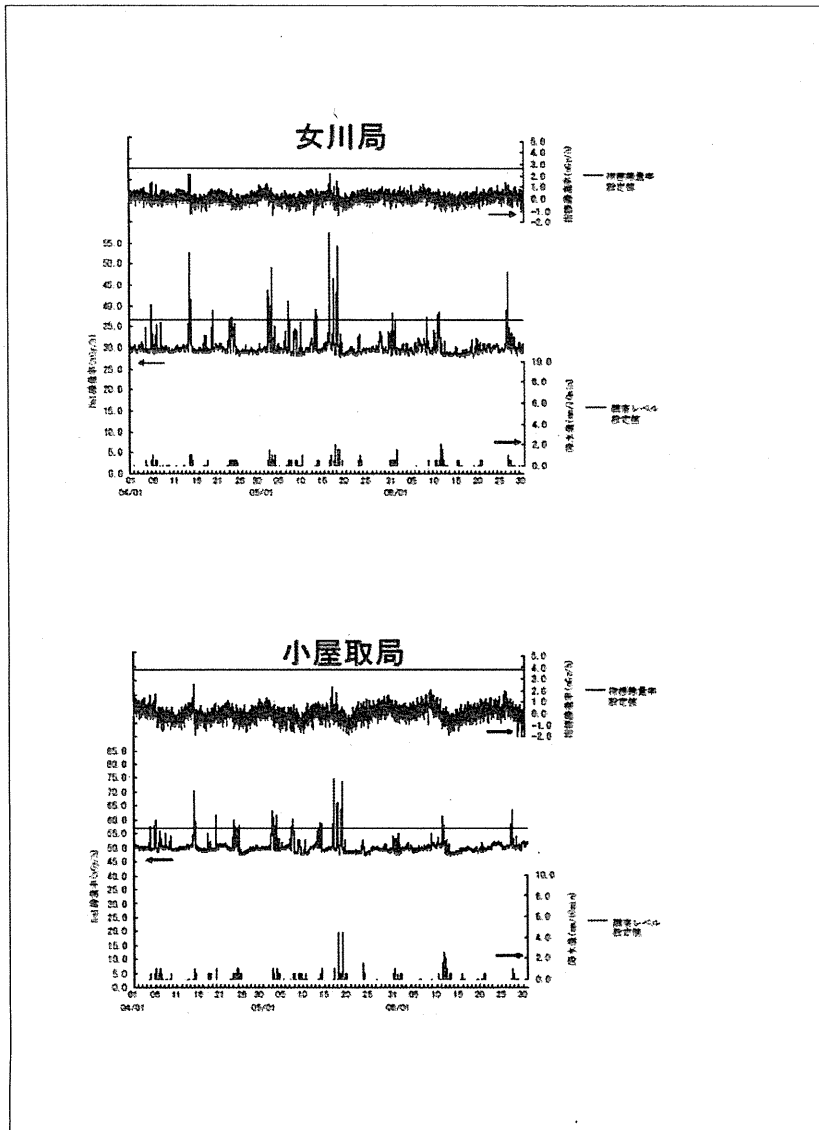
※2 指標線量率が設定値を超過し、空間ガンマ線スペクトルに人工核種のピーク等の異常がみられたデータの個数である。

※3 発電所起因の有無については、発電所運転状況、気象及び指標線量率等を用いて評価している。

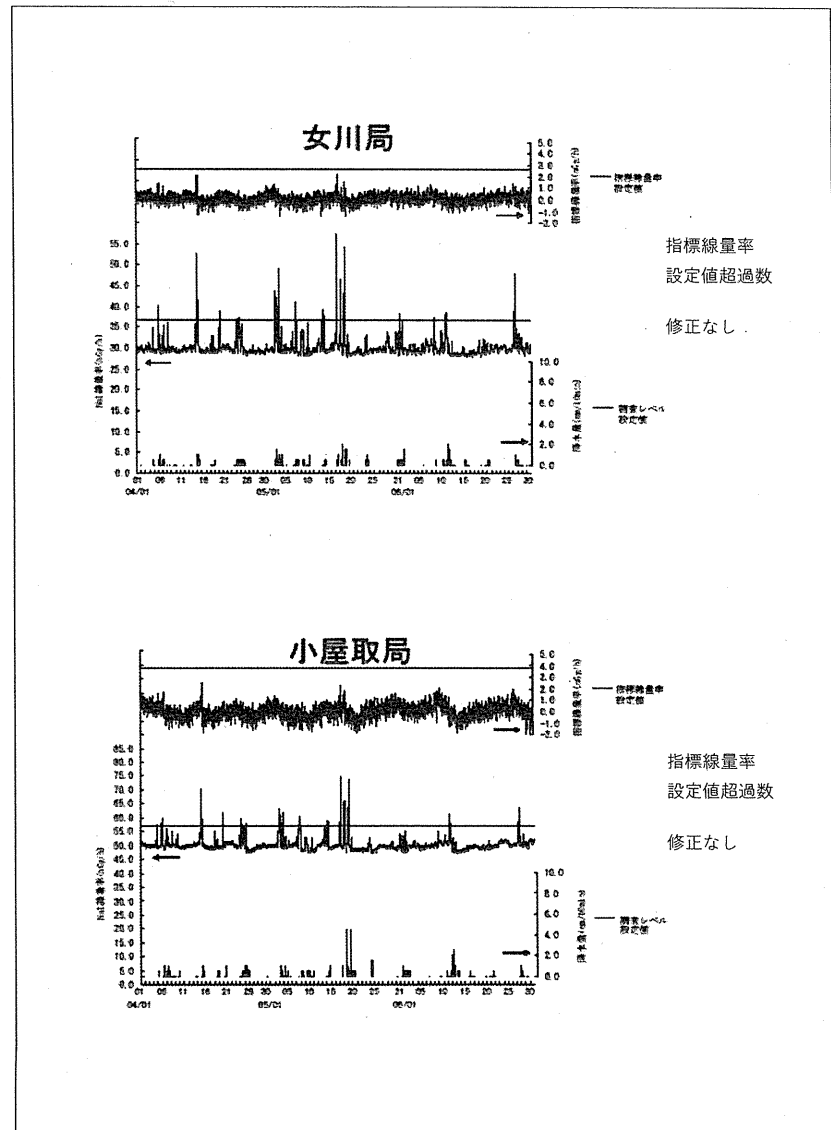
※4 調査レベルは前年度の平均値に標準偏差の3倍を加えて算出した数値である。

※5 飯子浜局については、検出器の動作不良により7月26日午後10時～9月8日午後4時20分の全データを欠測または参考値扱いとし、統計処理から除外した。

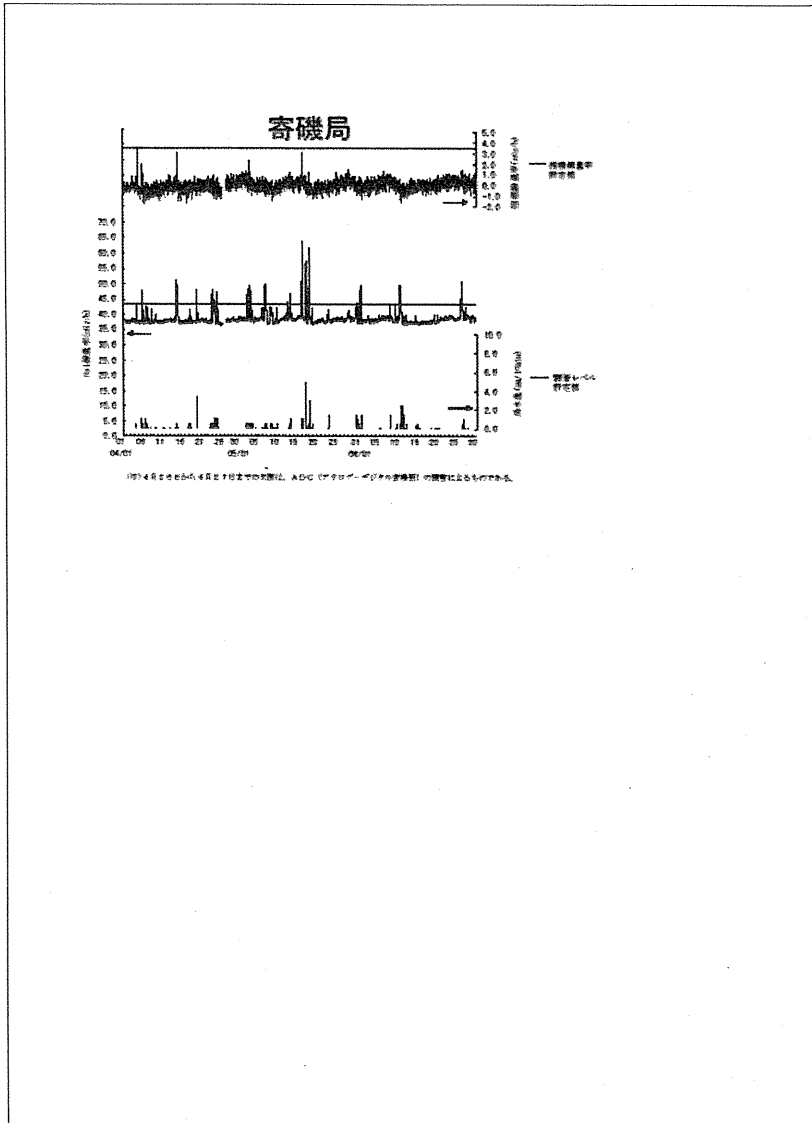
【修正前】



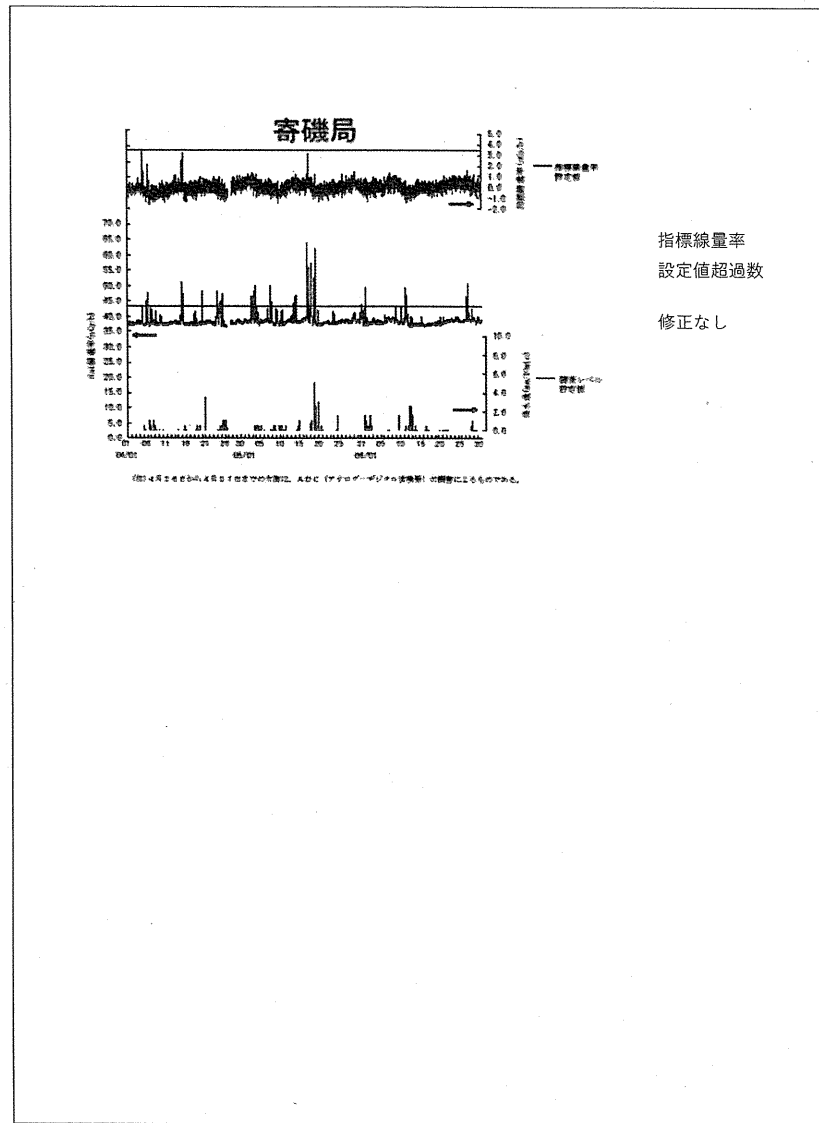
【修正後】



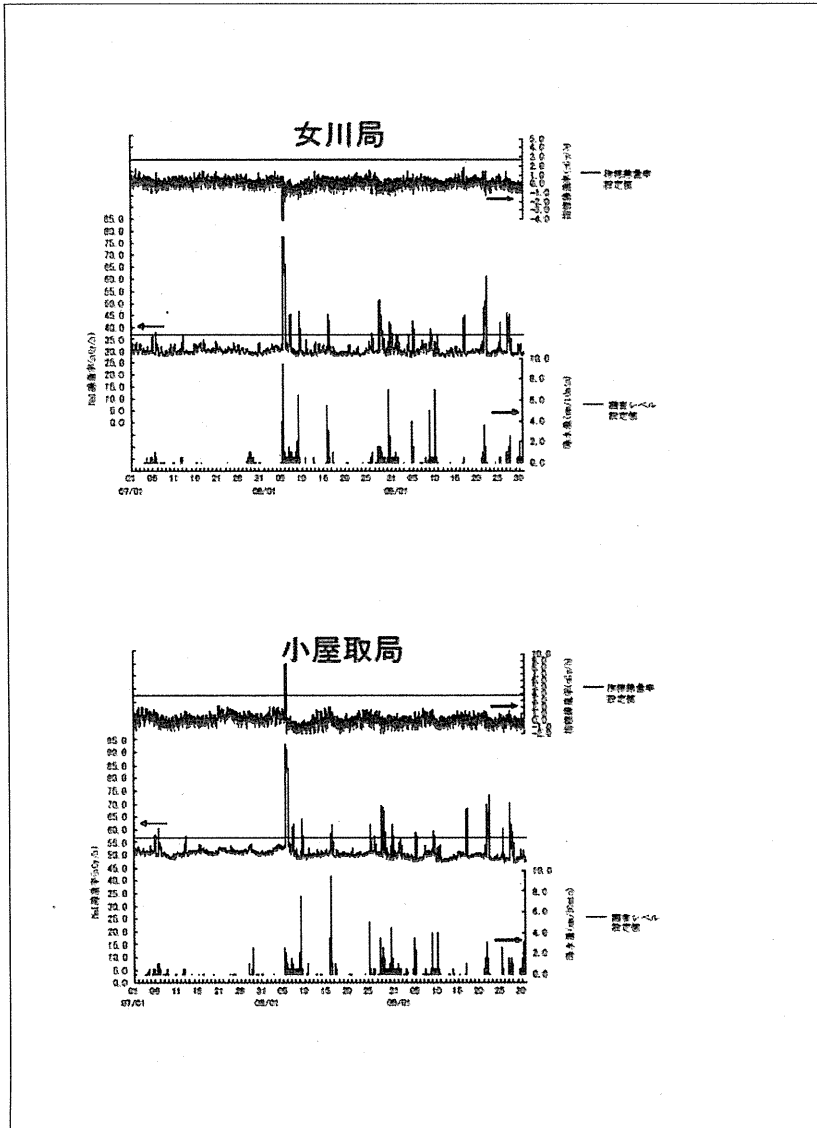
【修正前】



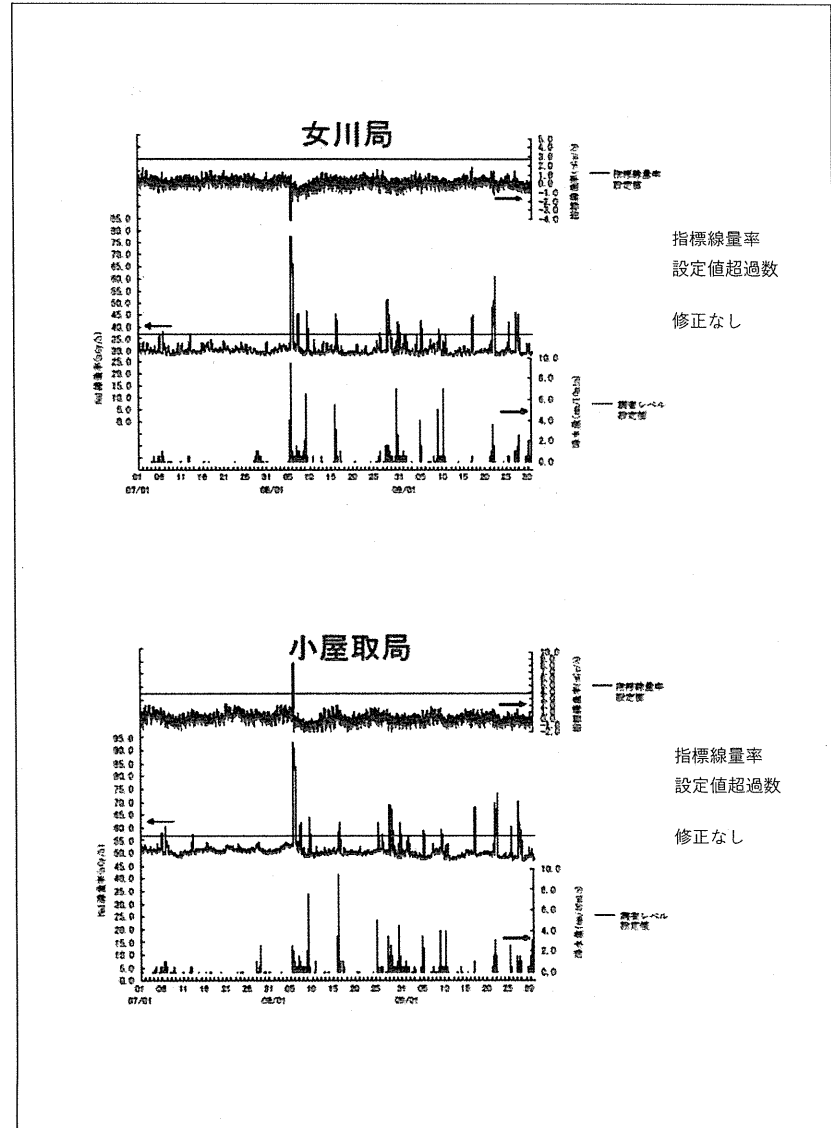
【修正後】



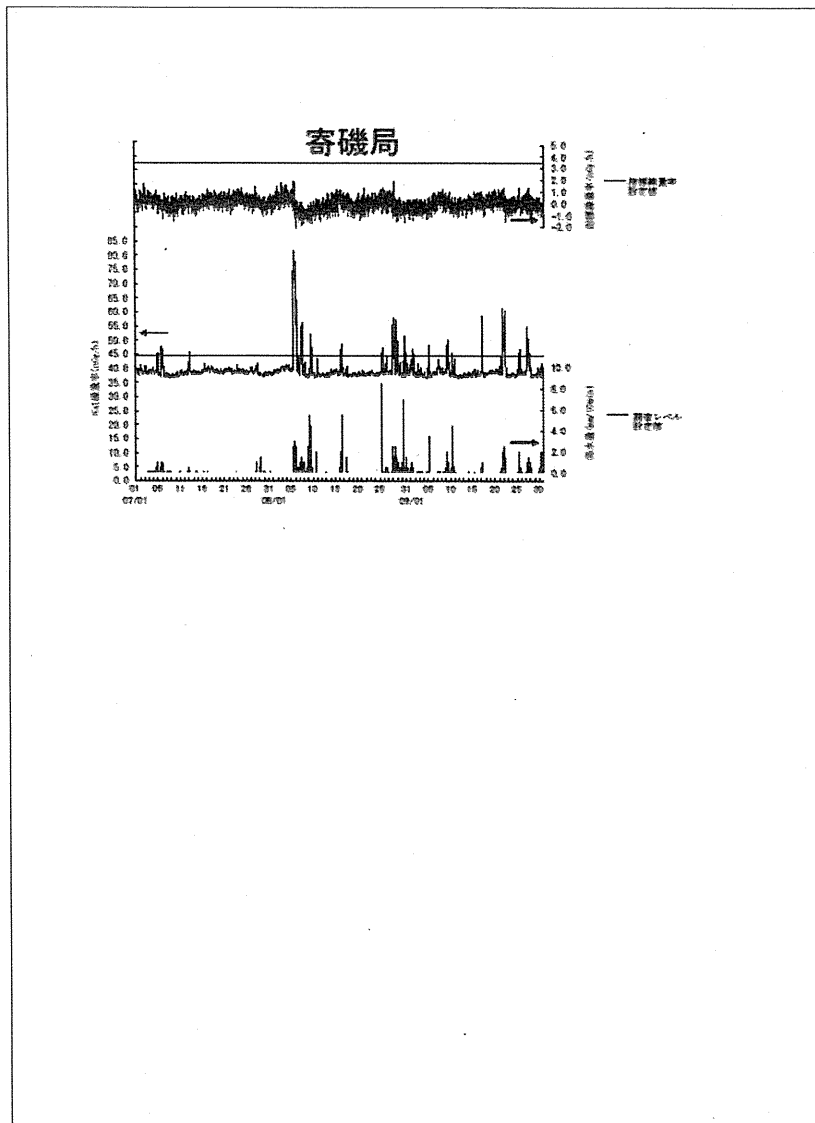
【修正前】



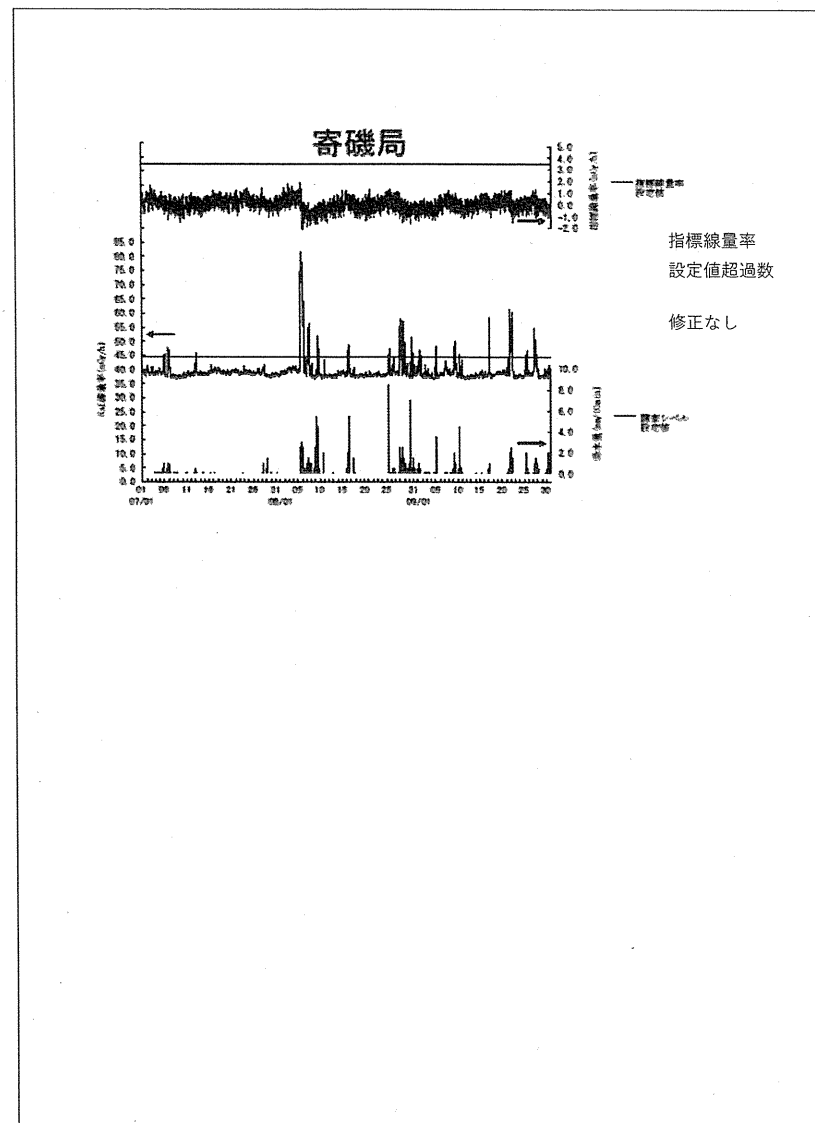
【修正後】



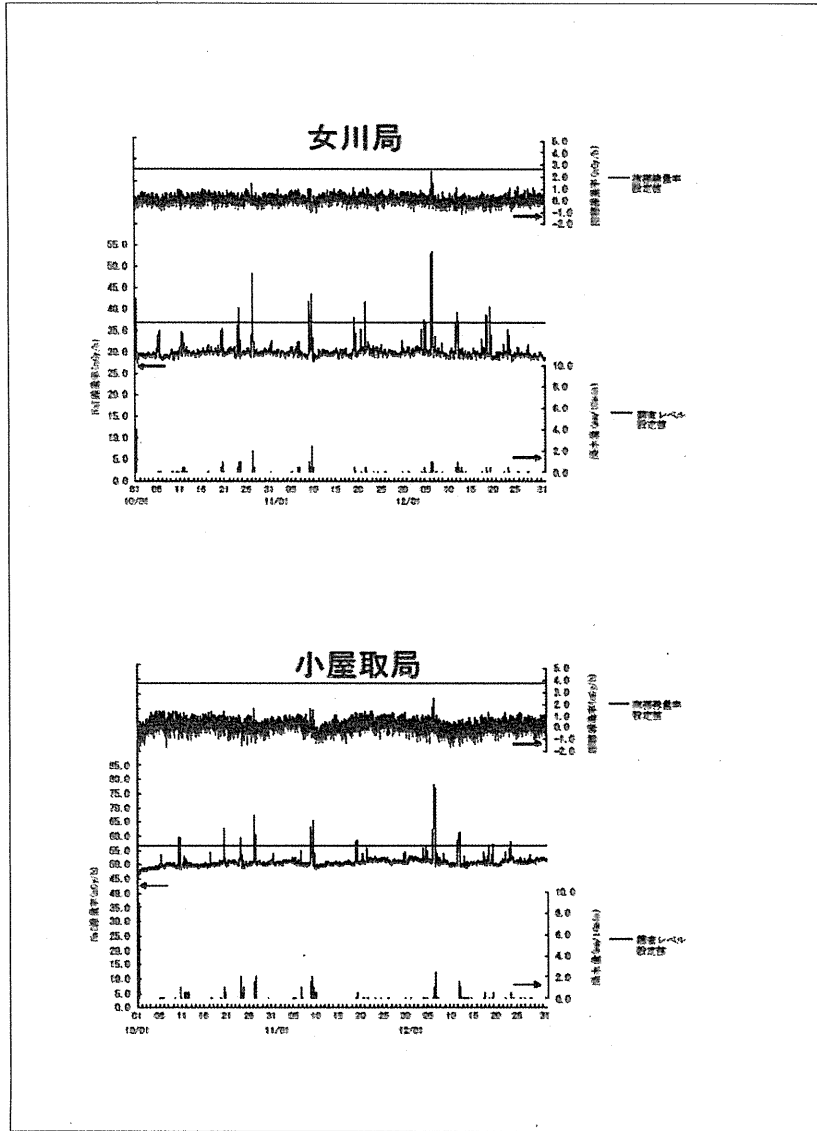
【修正前】



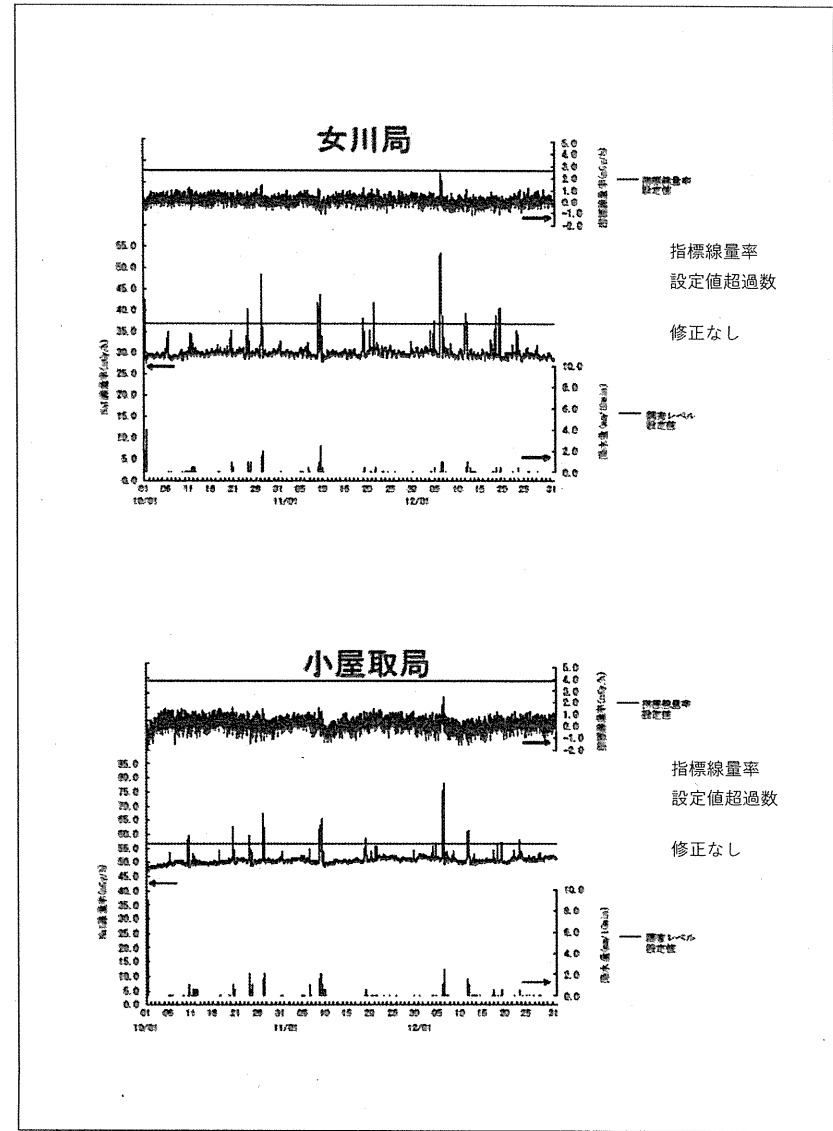
【修正後】



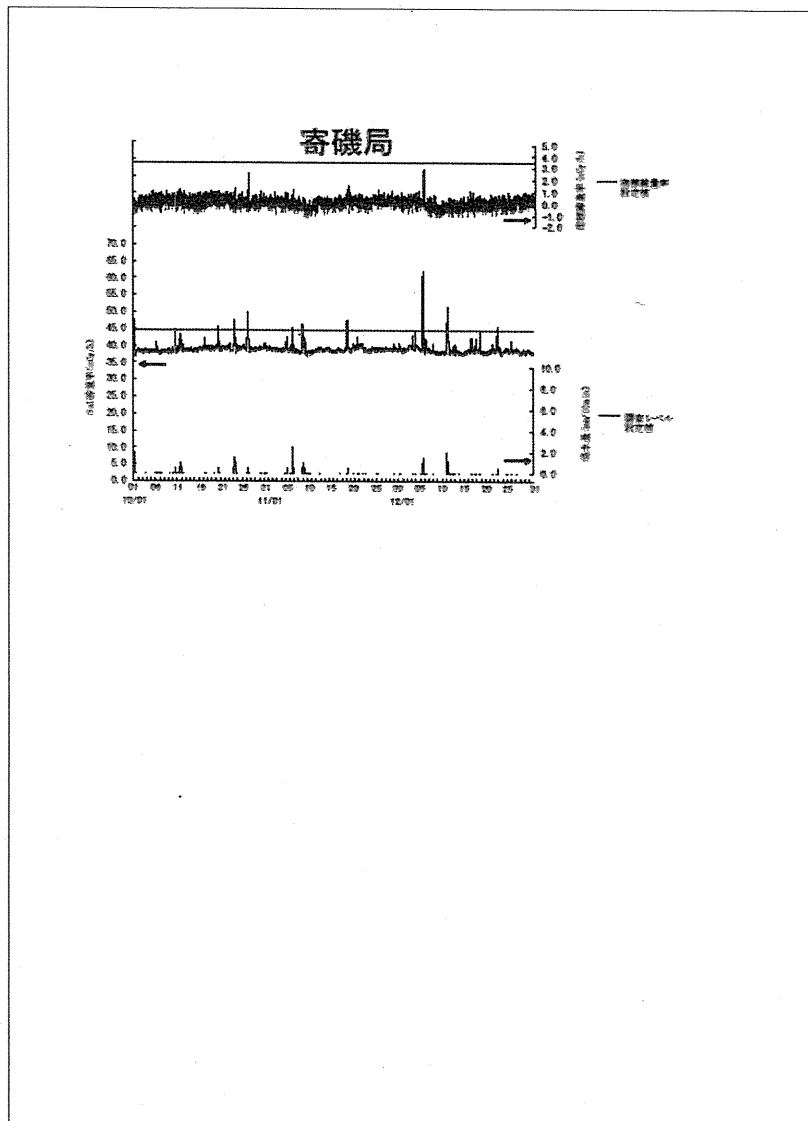
【修正前】



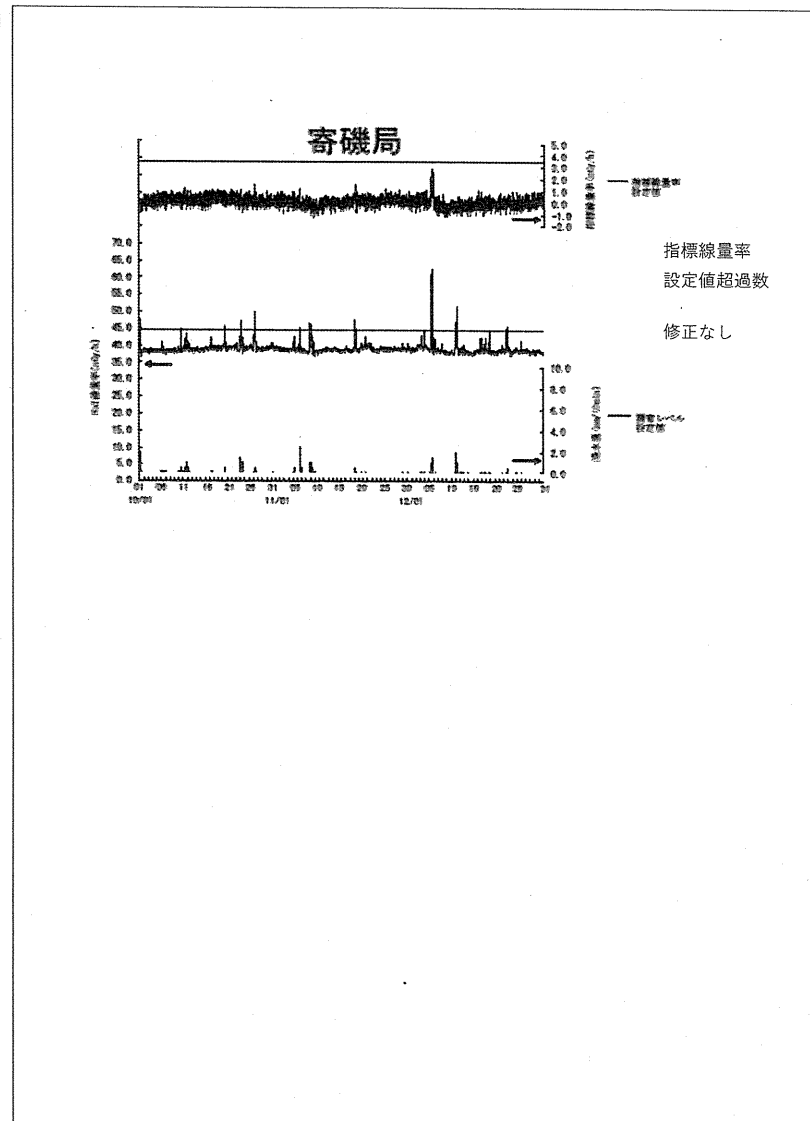
【修正後】



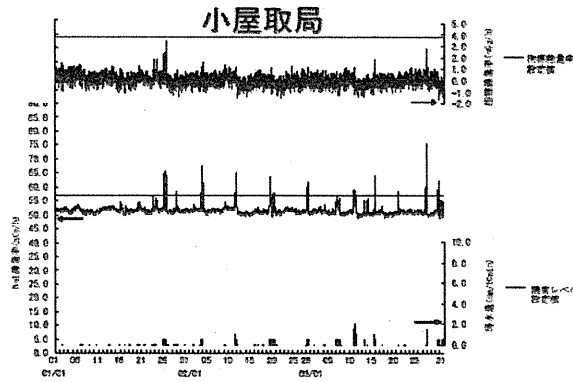
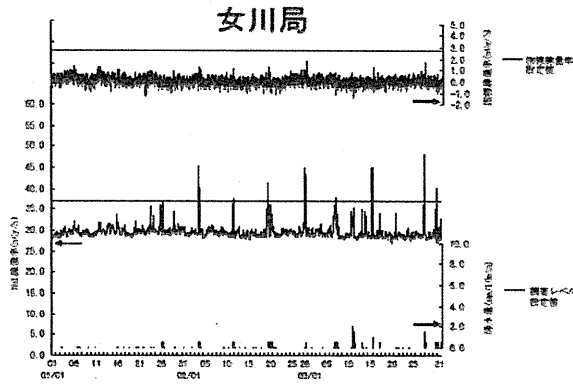
【修正前】



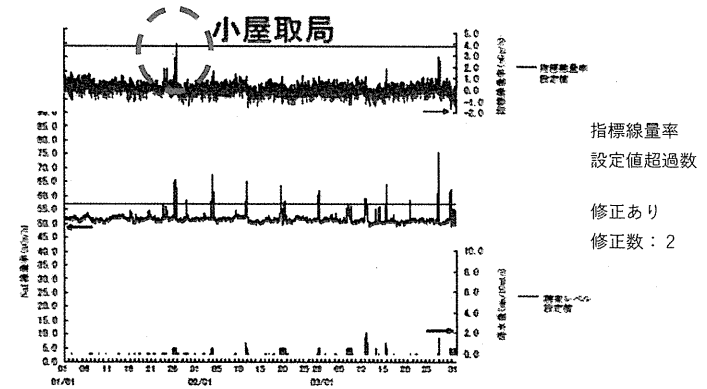
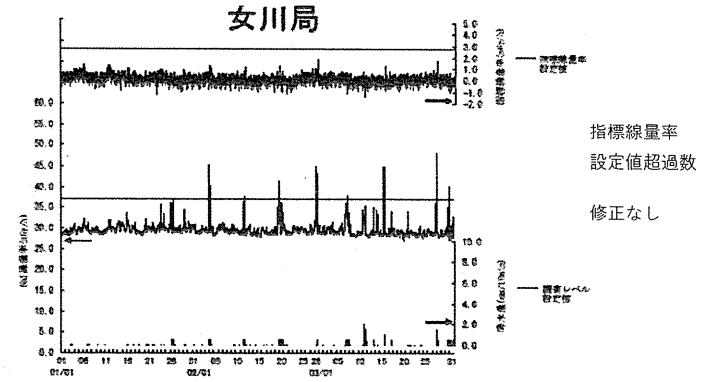
【修正後】



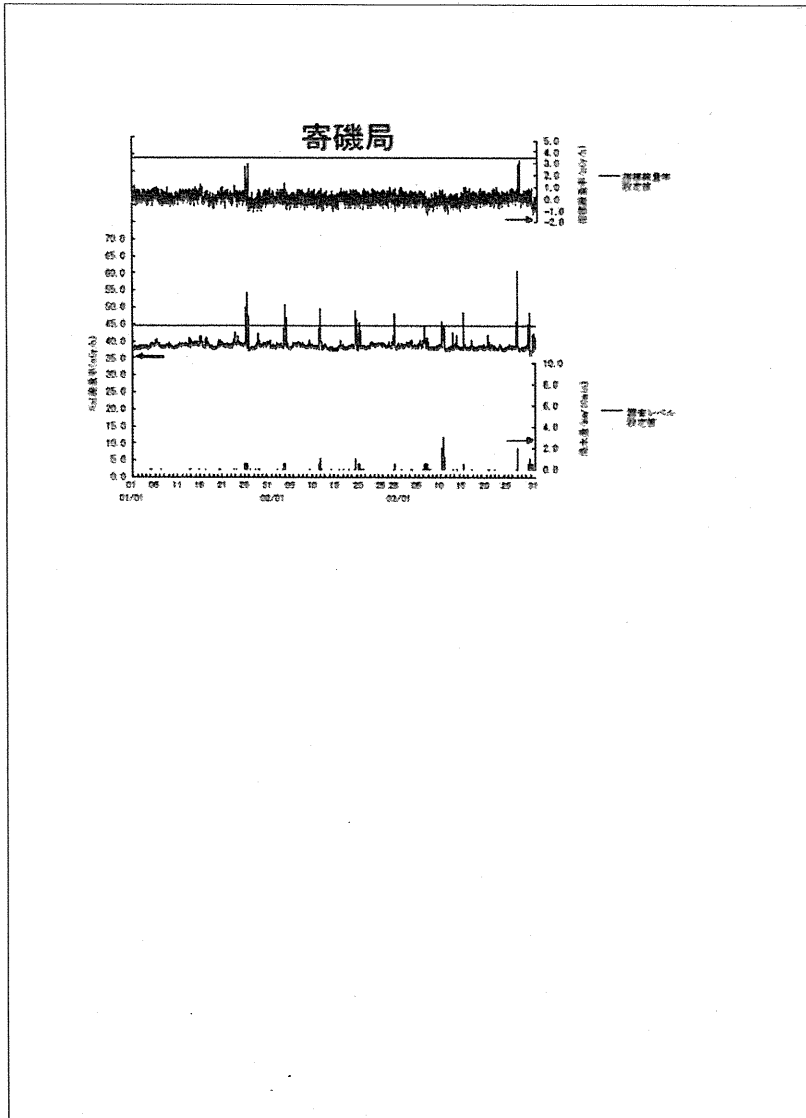
【修正前】



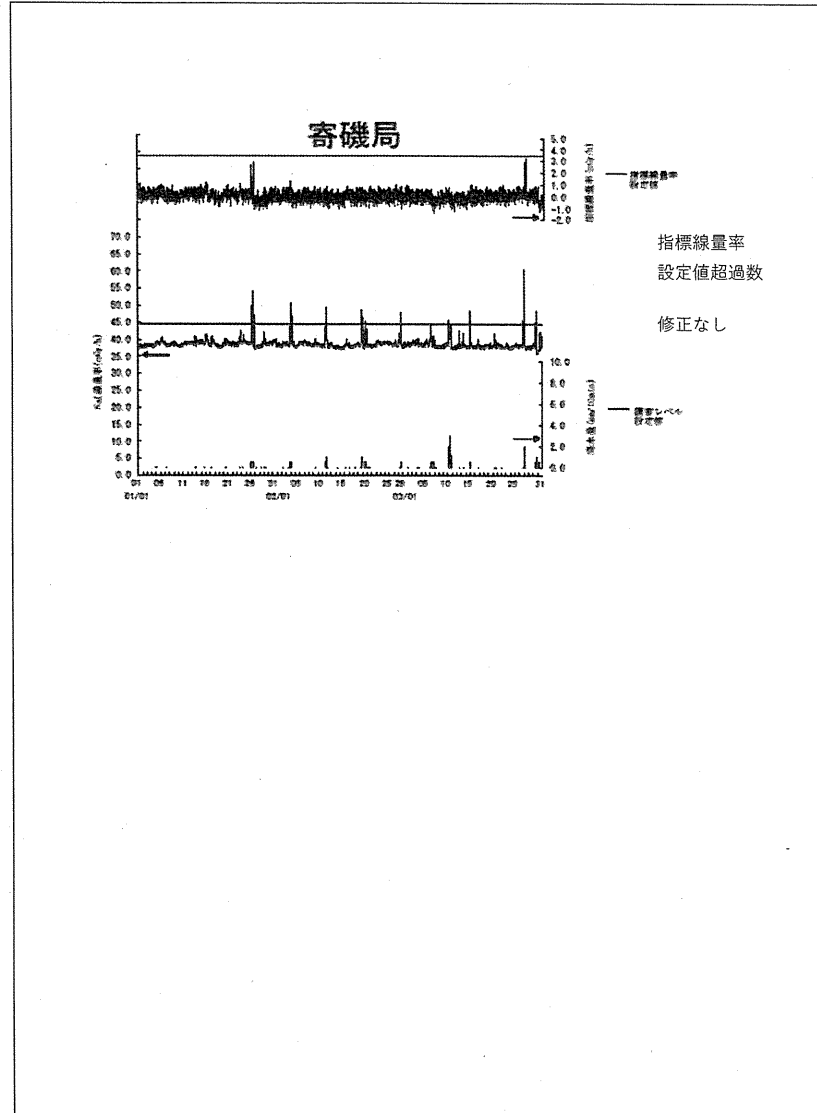
【修正後】



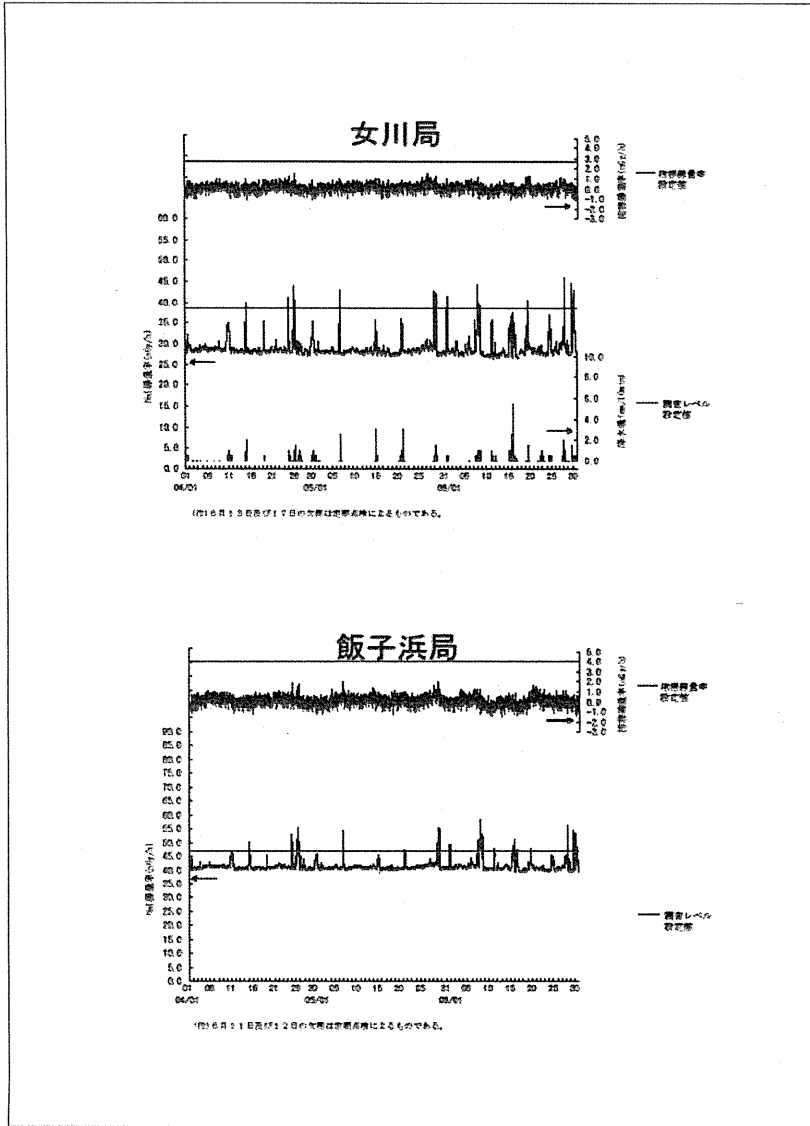
【修正前】



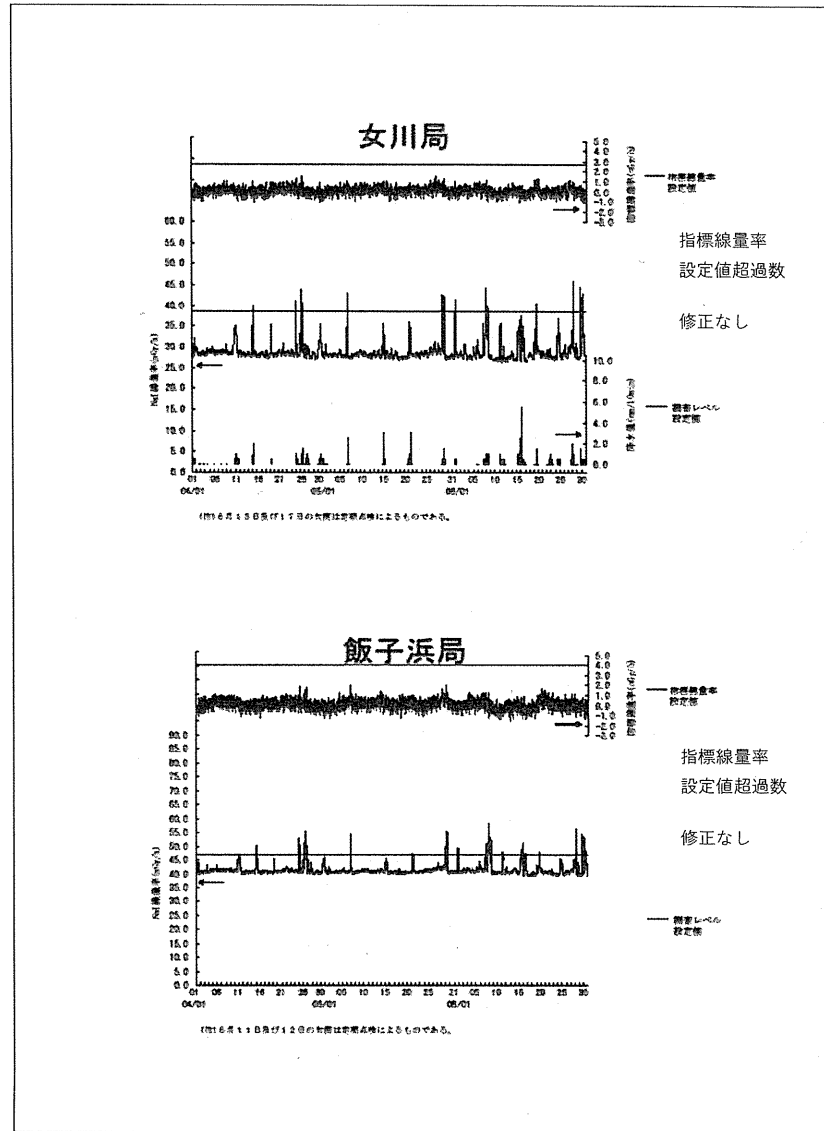
【修正後】



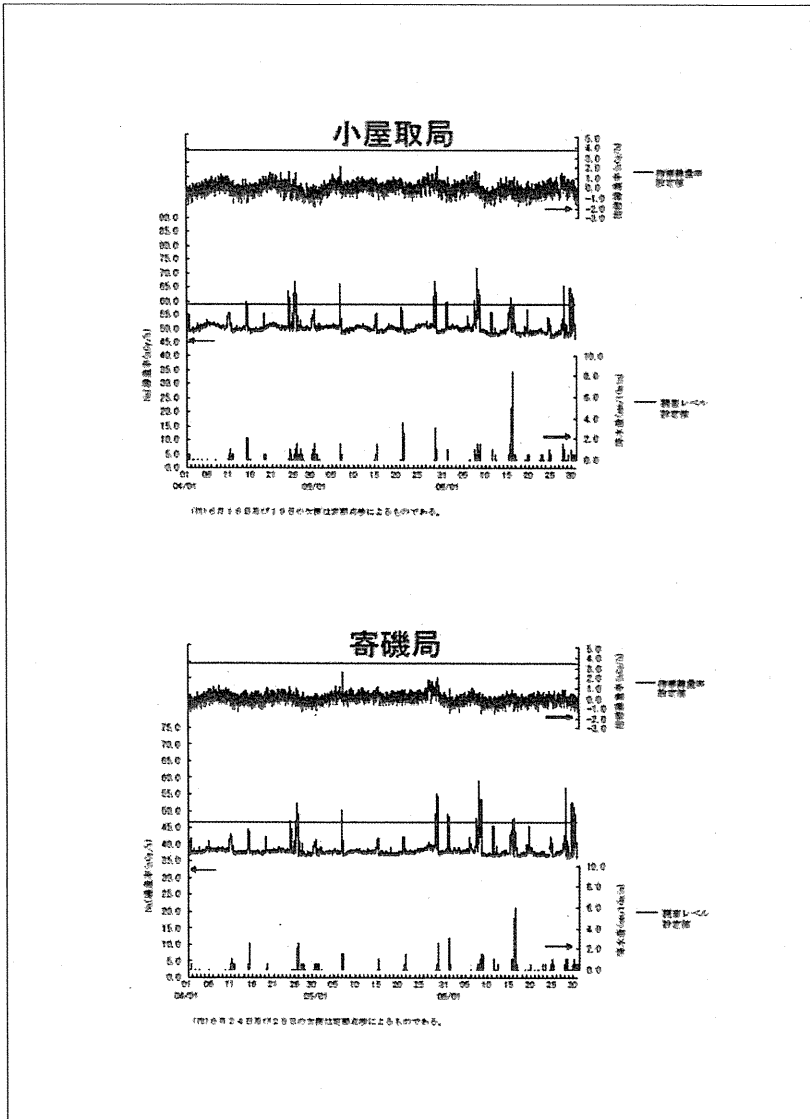
【修正前】



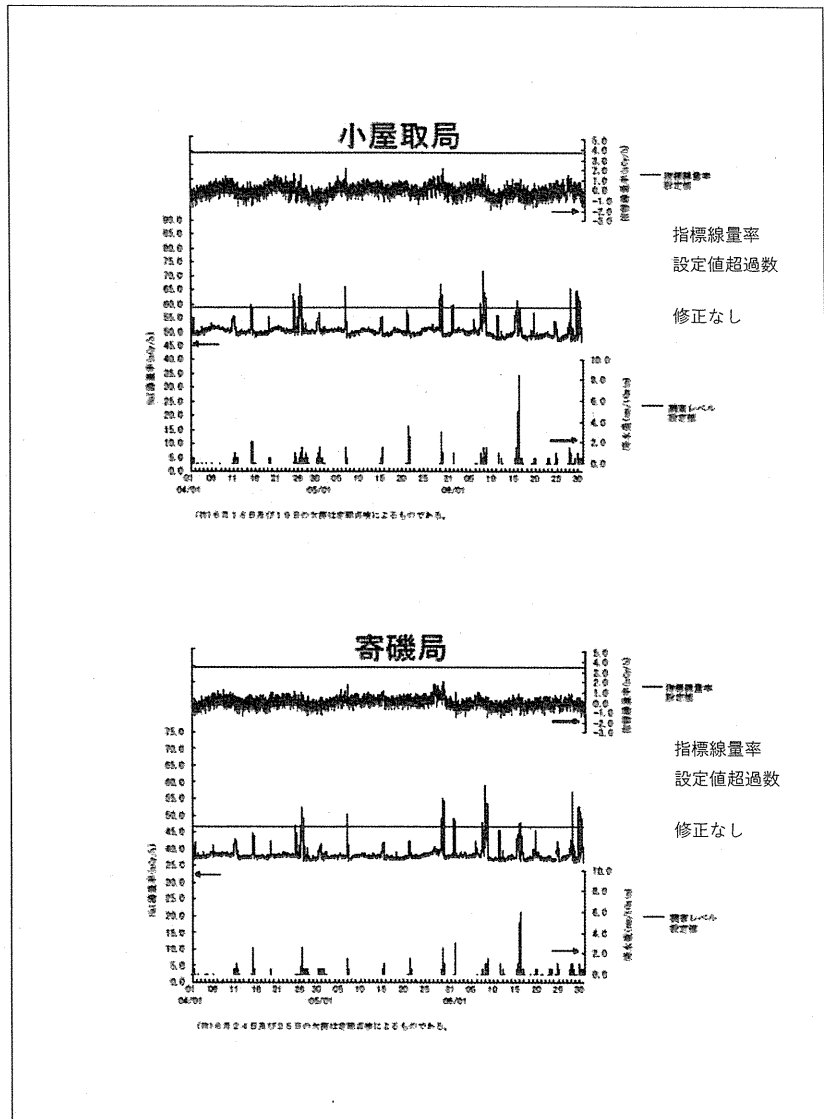
【修正後】



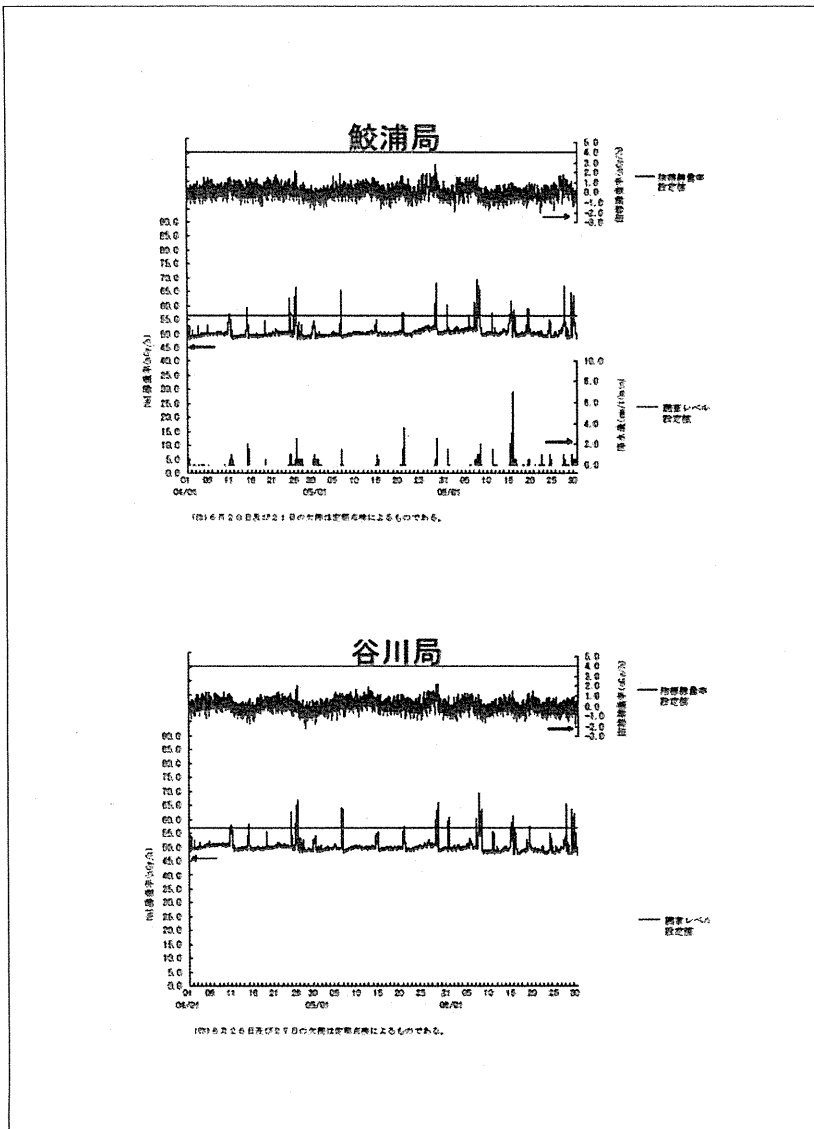
【修正前】



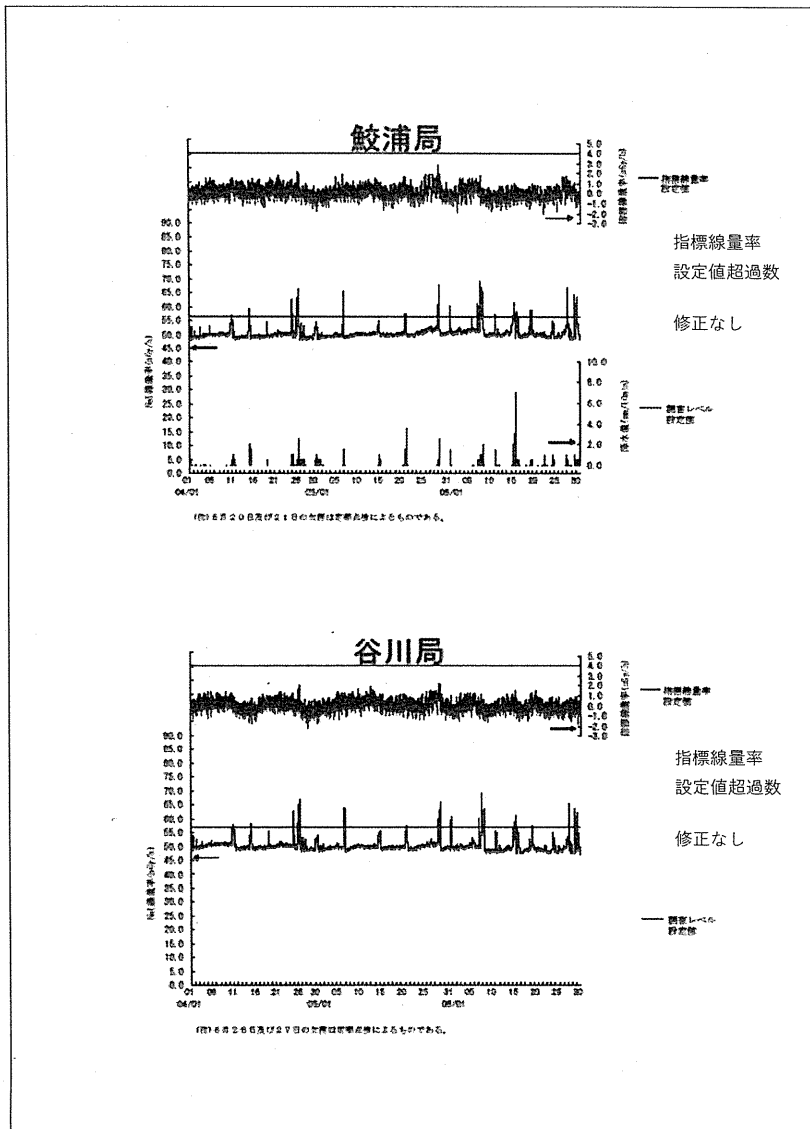
【修正後】



【修正前】

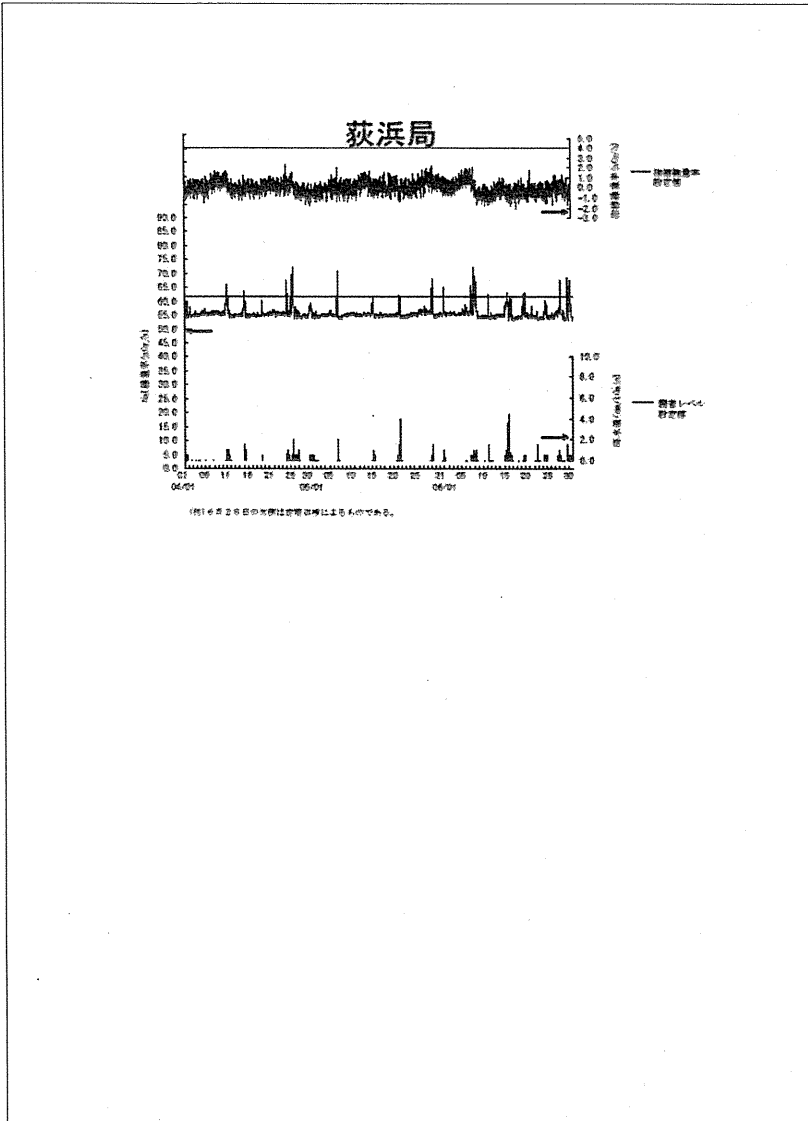


【修正後】

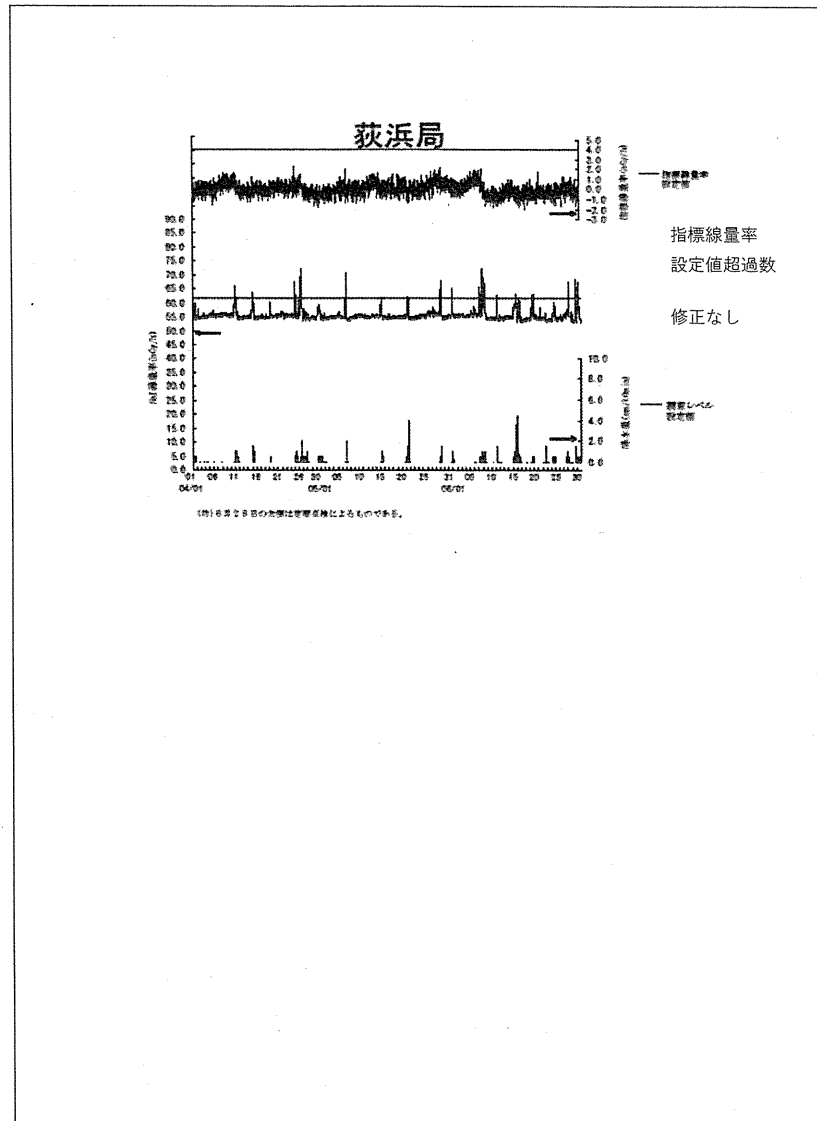


修正前後における季報比較 【令和元年度 第1四半期】

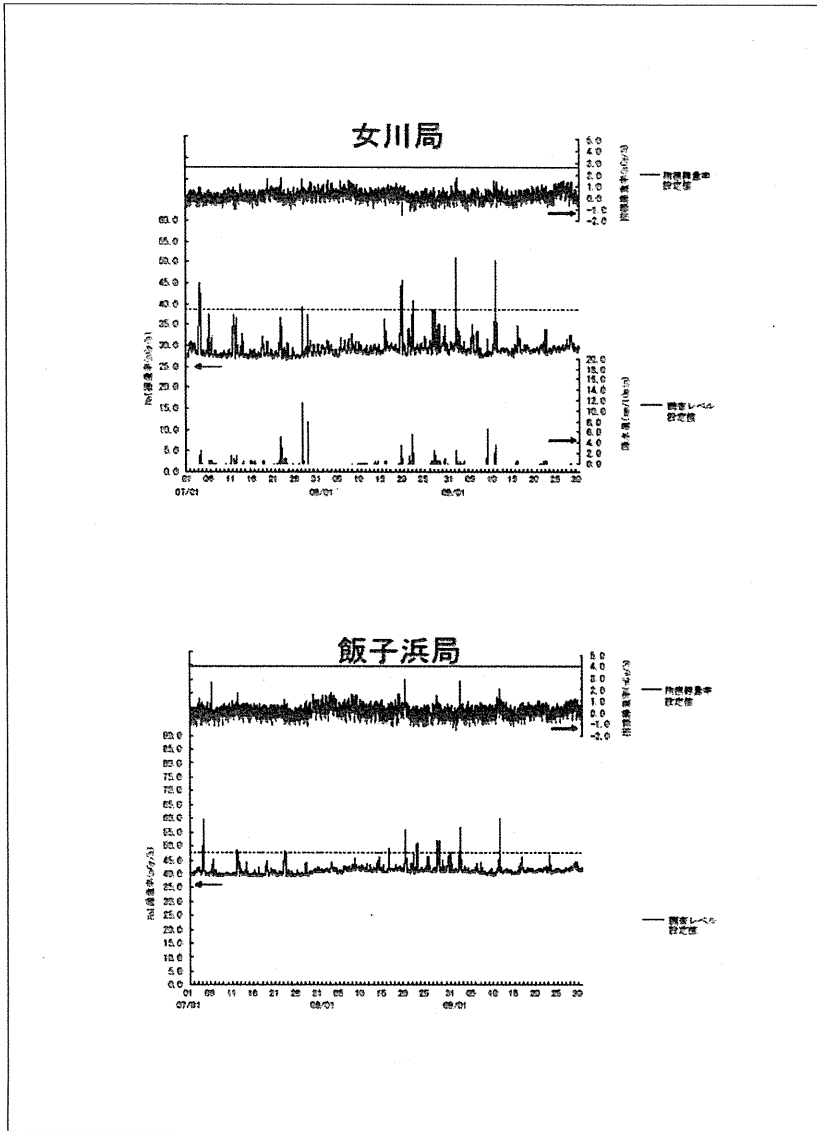
【修正前】



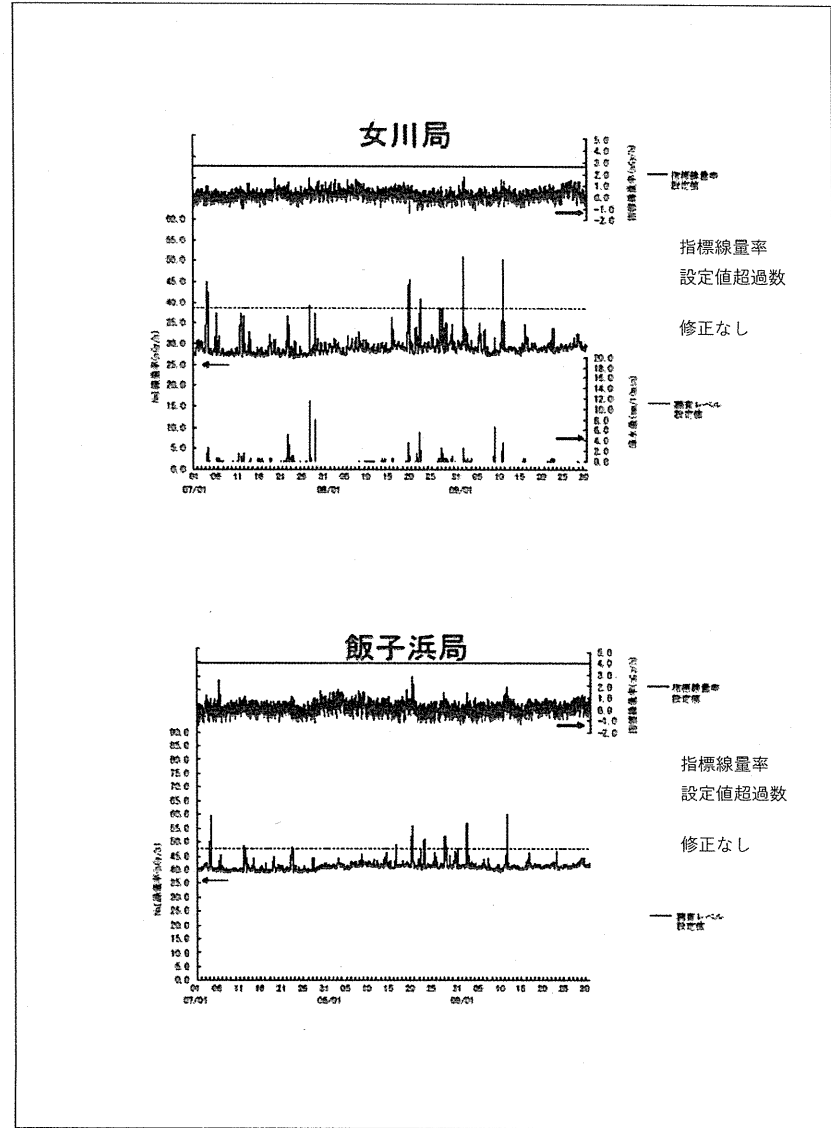
【修正後】



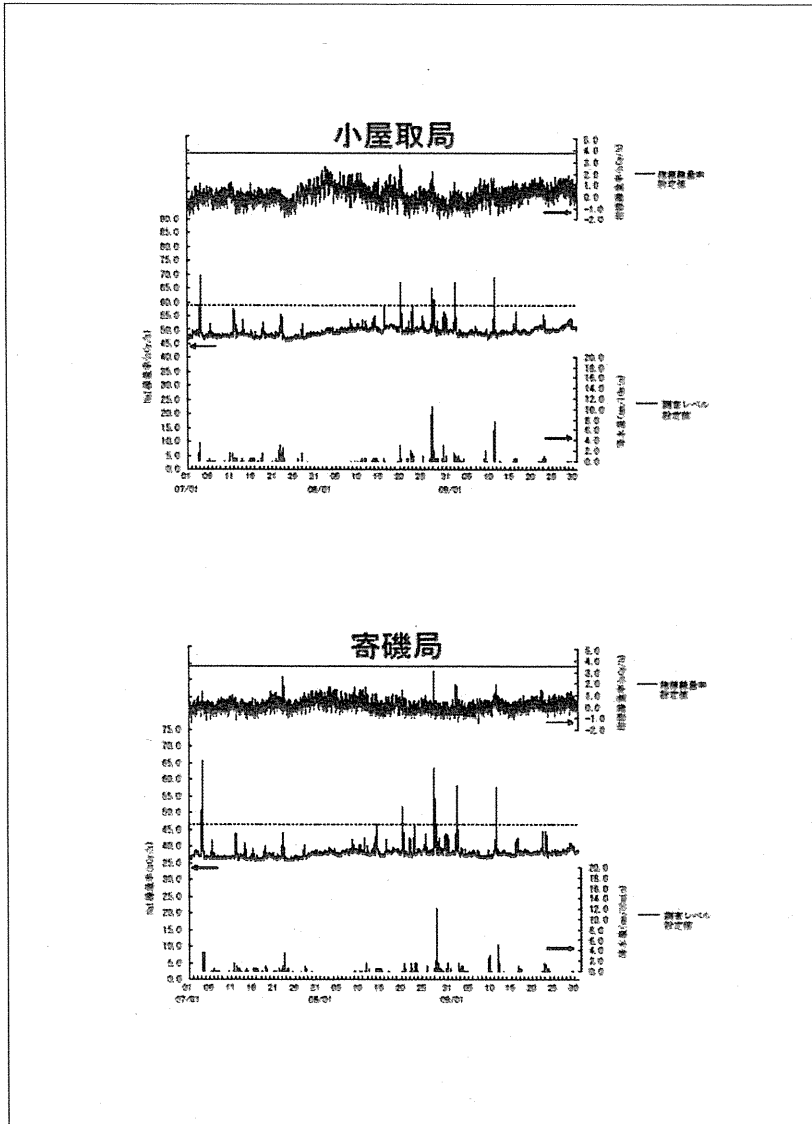
【修正前】



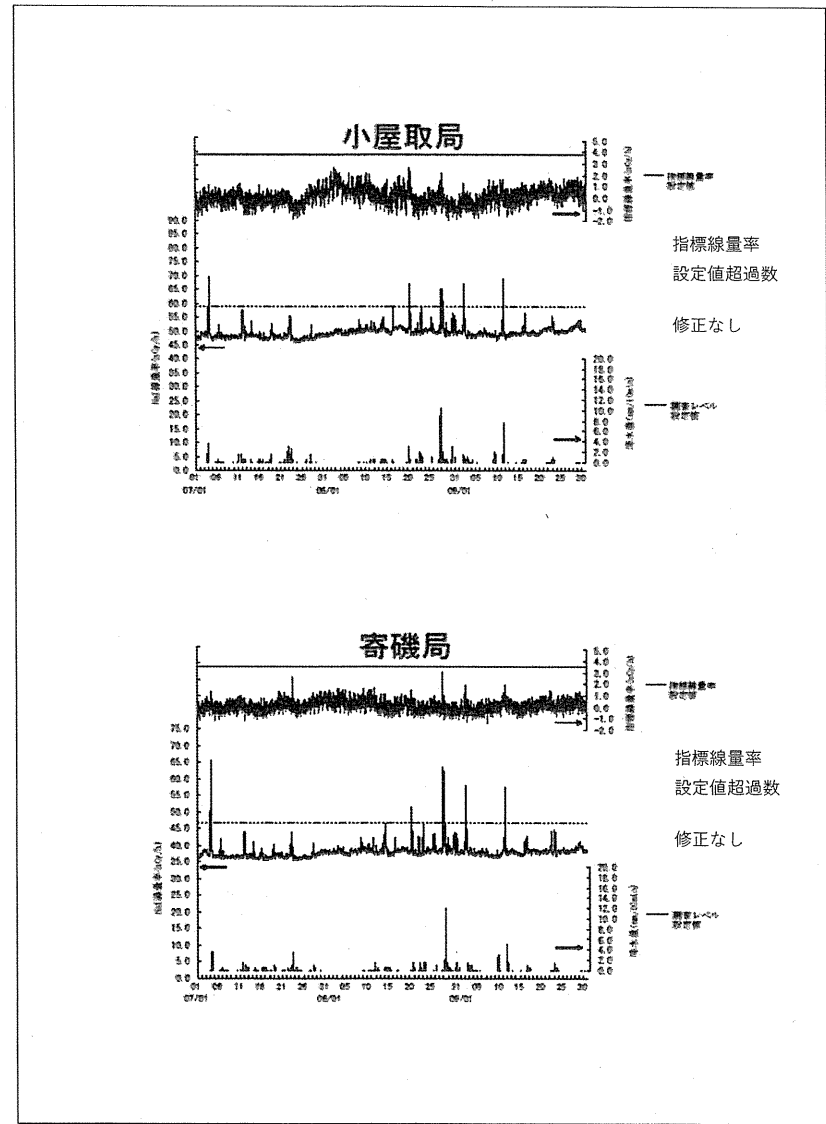
【修正後】



【修正前】



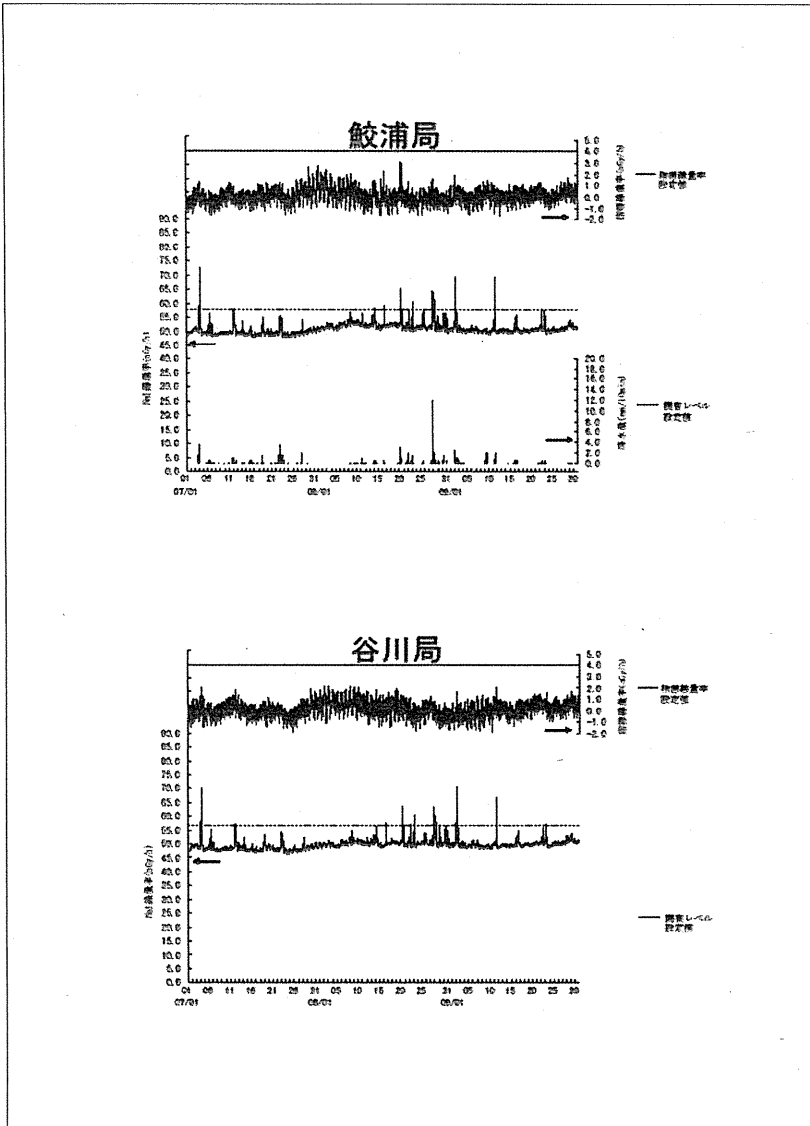
【修正後】



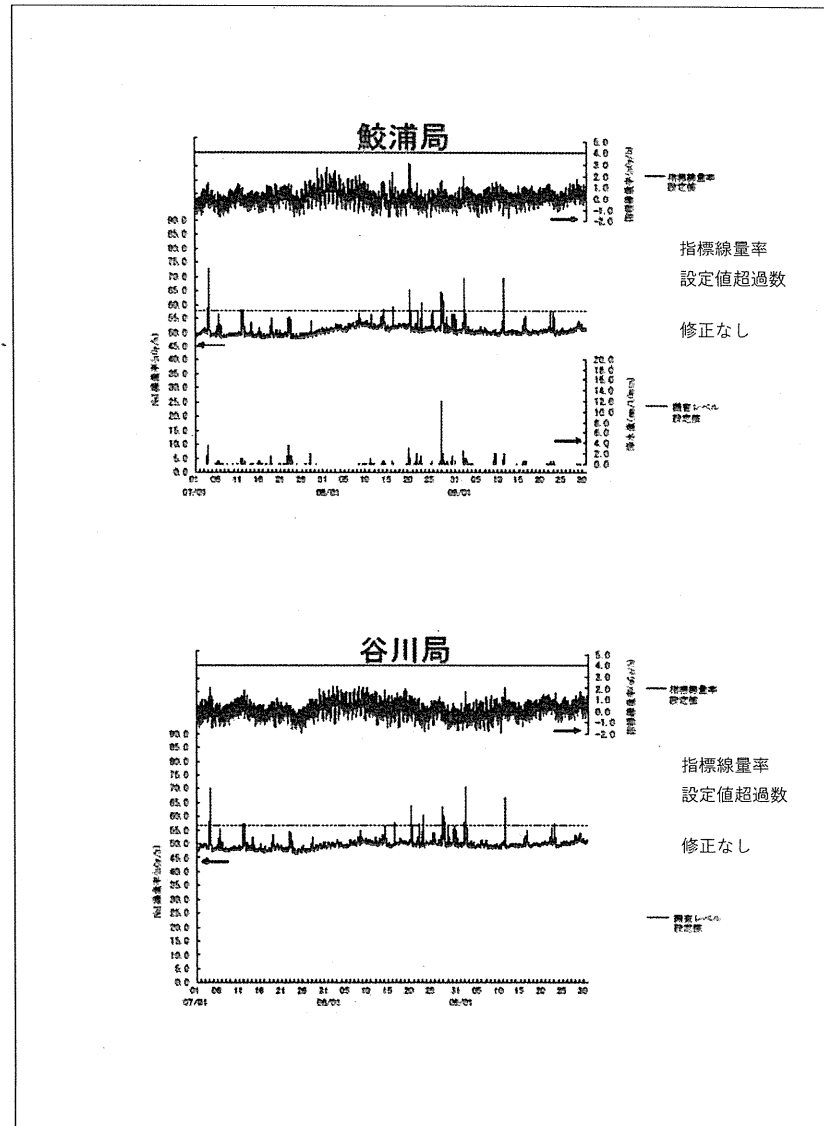
指標線量率
設定値超過数
修正なし

指標線量率
設定値超過数
修正なし

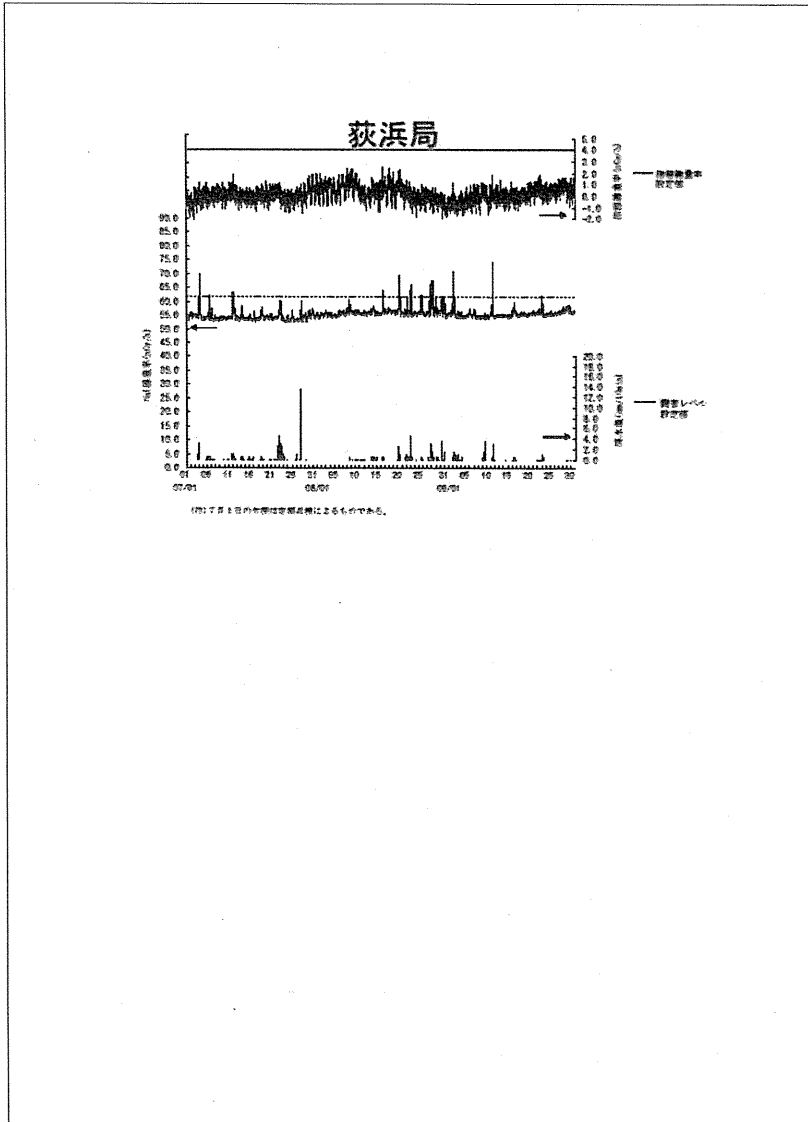
【修正前】



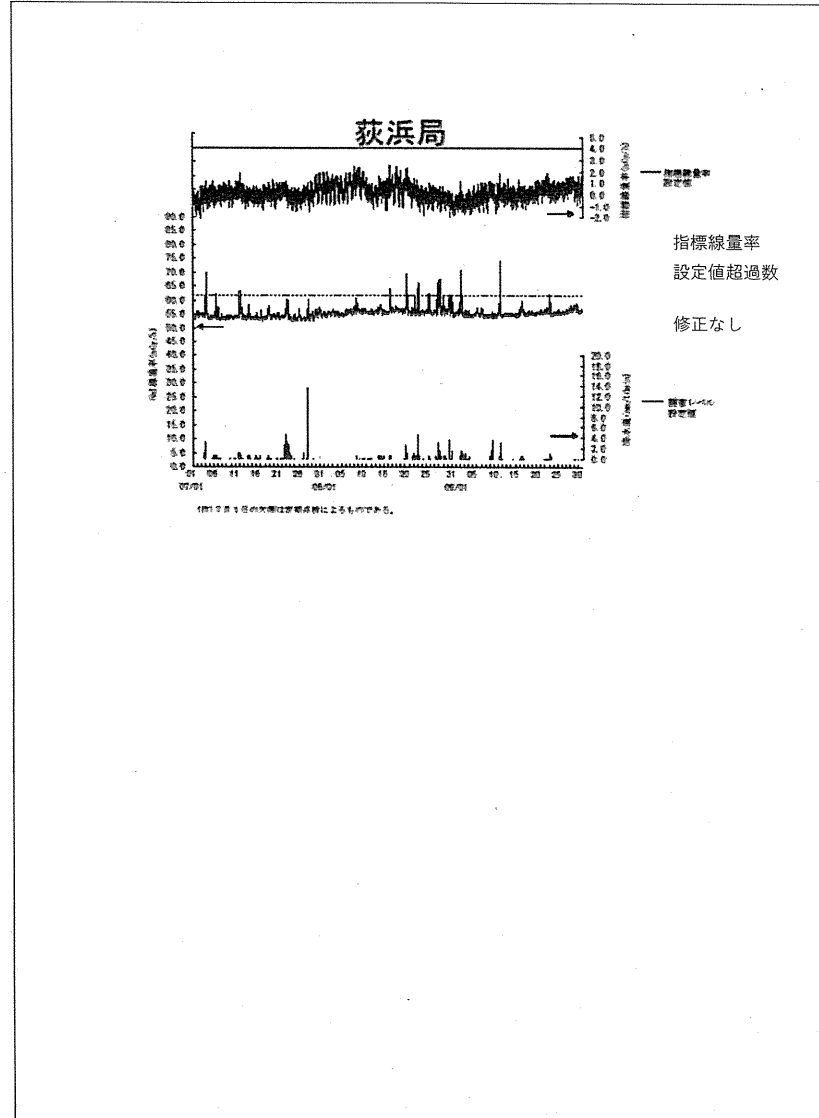
【修正後】



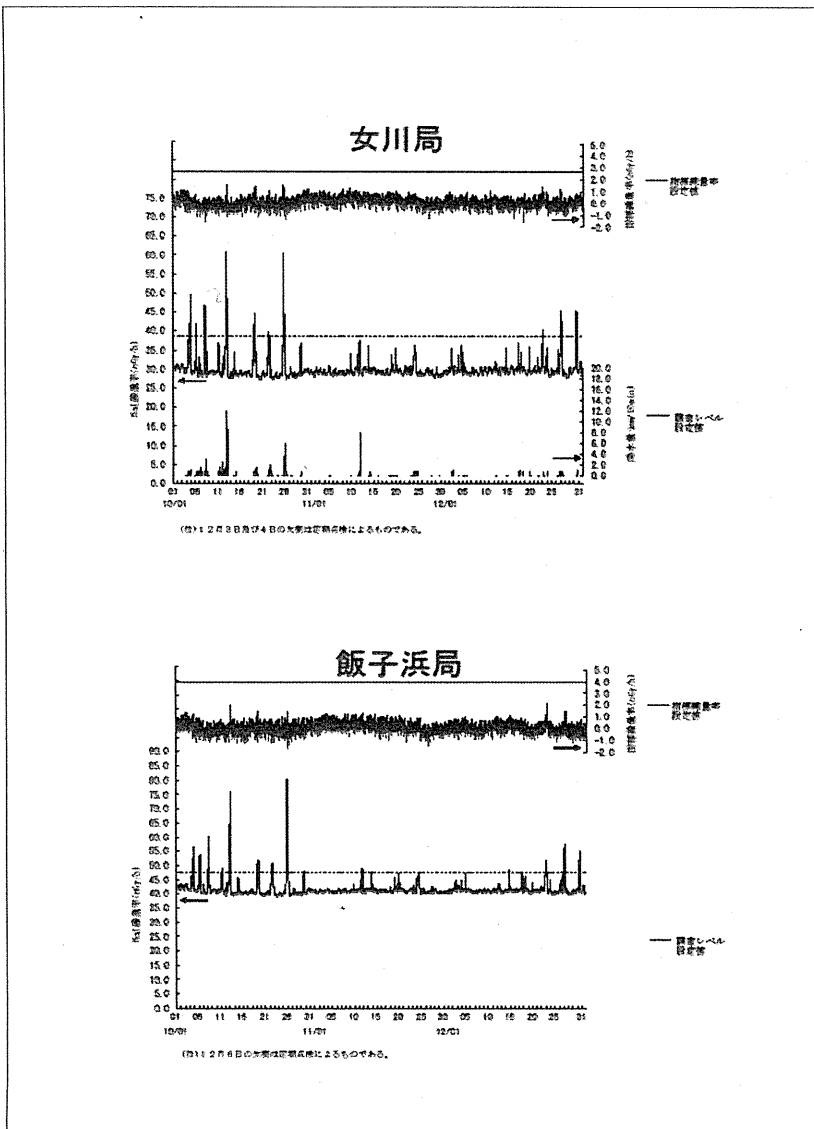
【修正前】



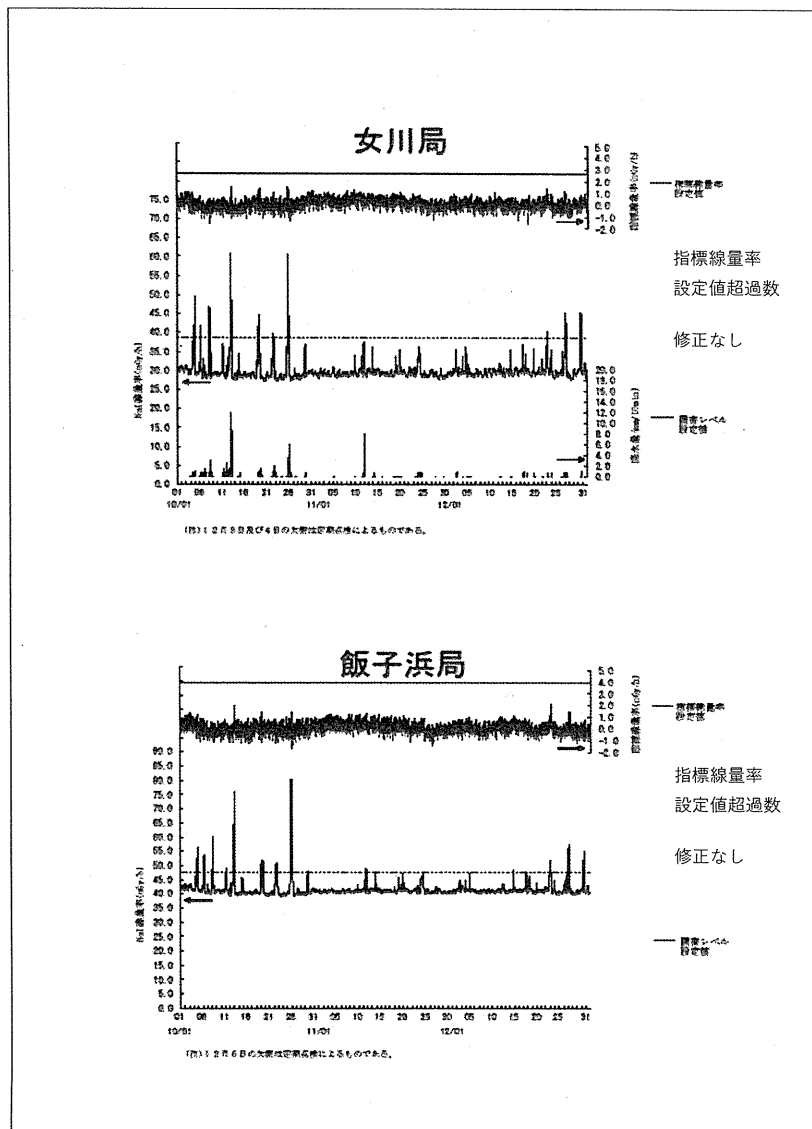
【修正後】



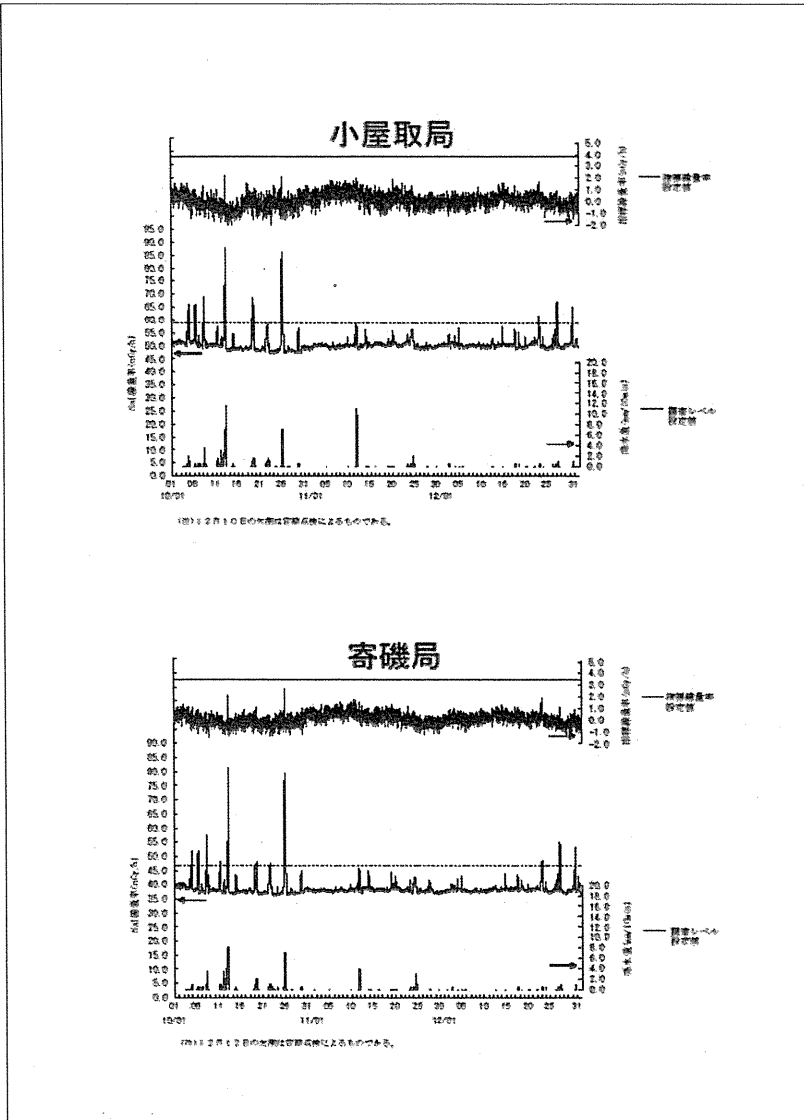
【修正前】



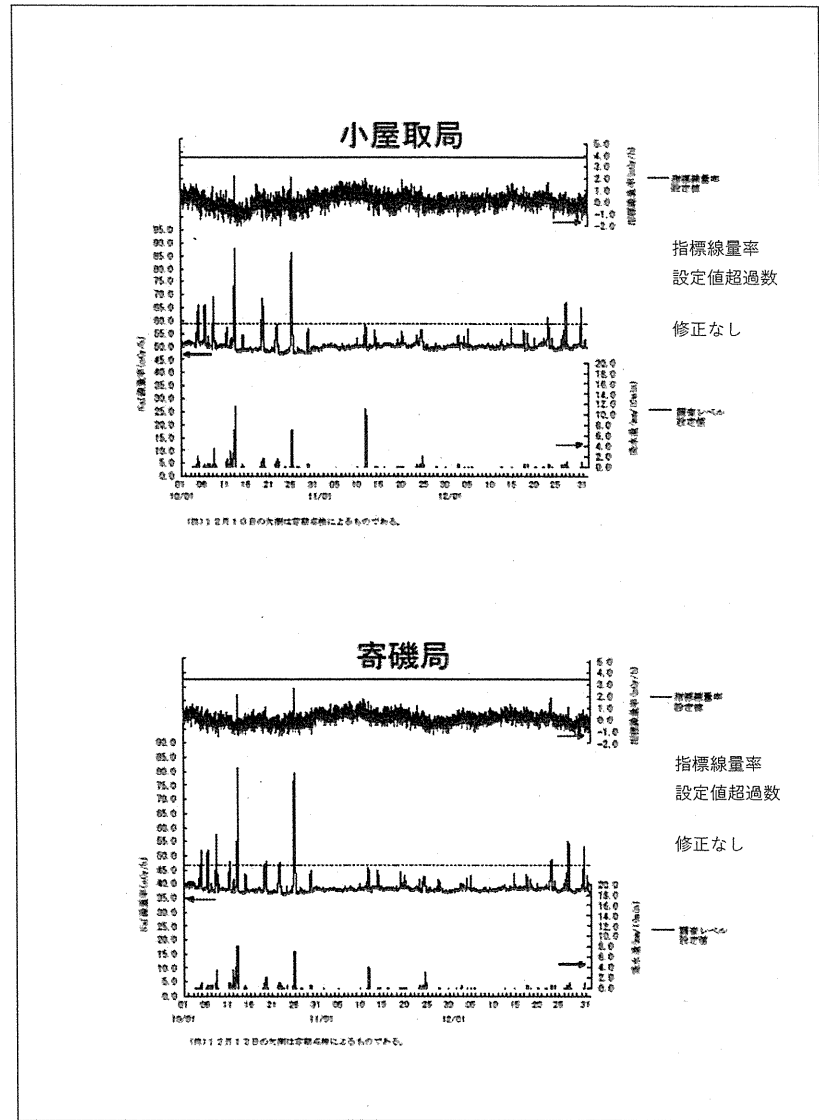
【修正後】



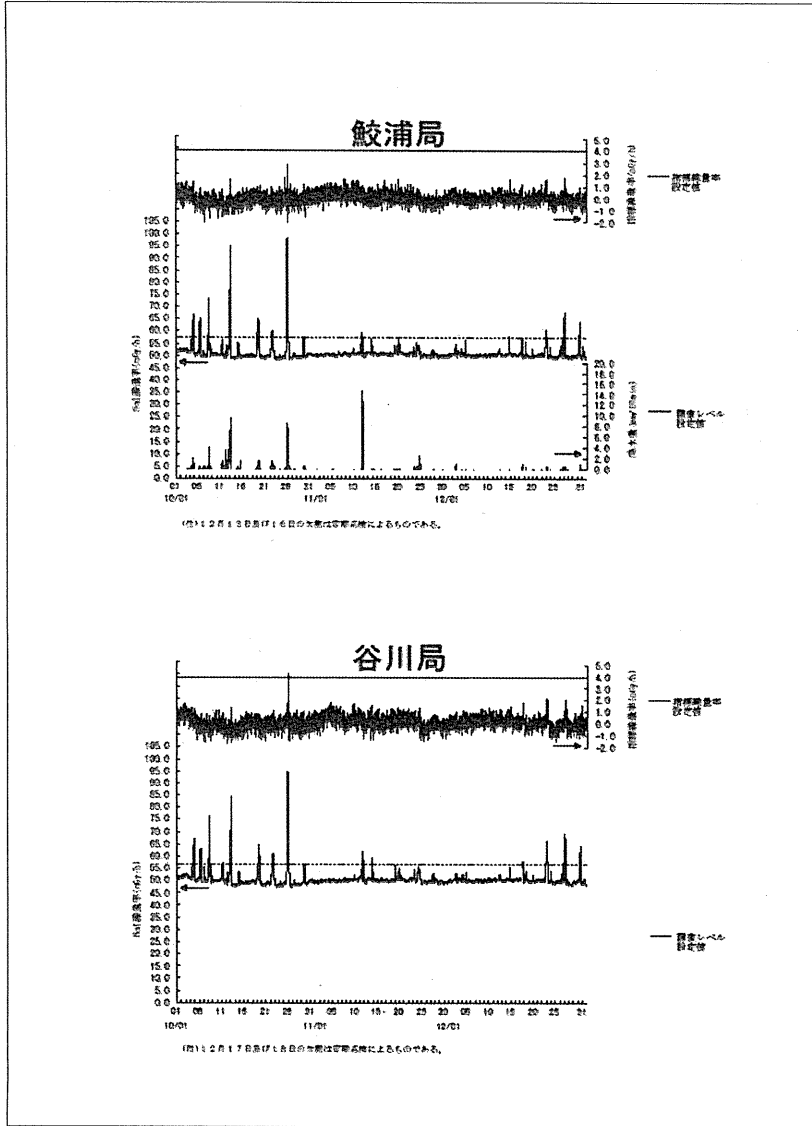
【修正前】



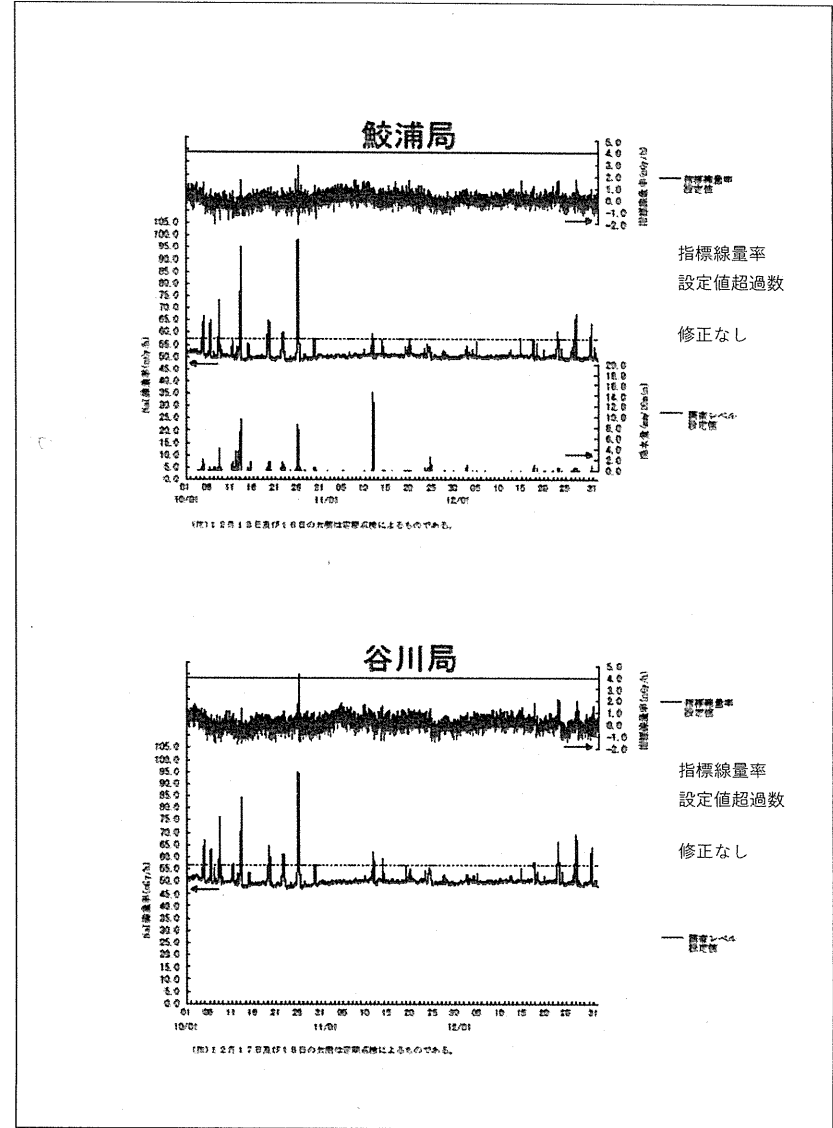
【修正後】



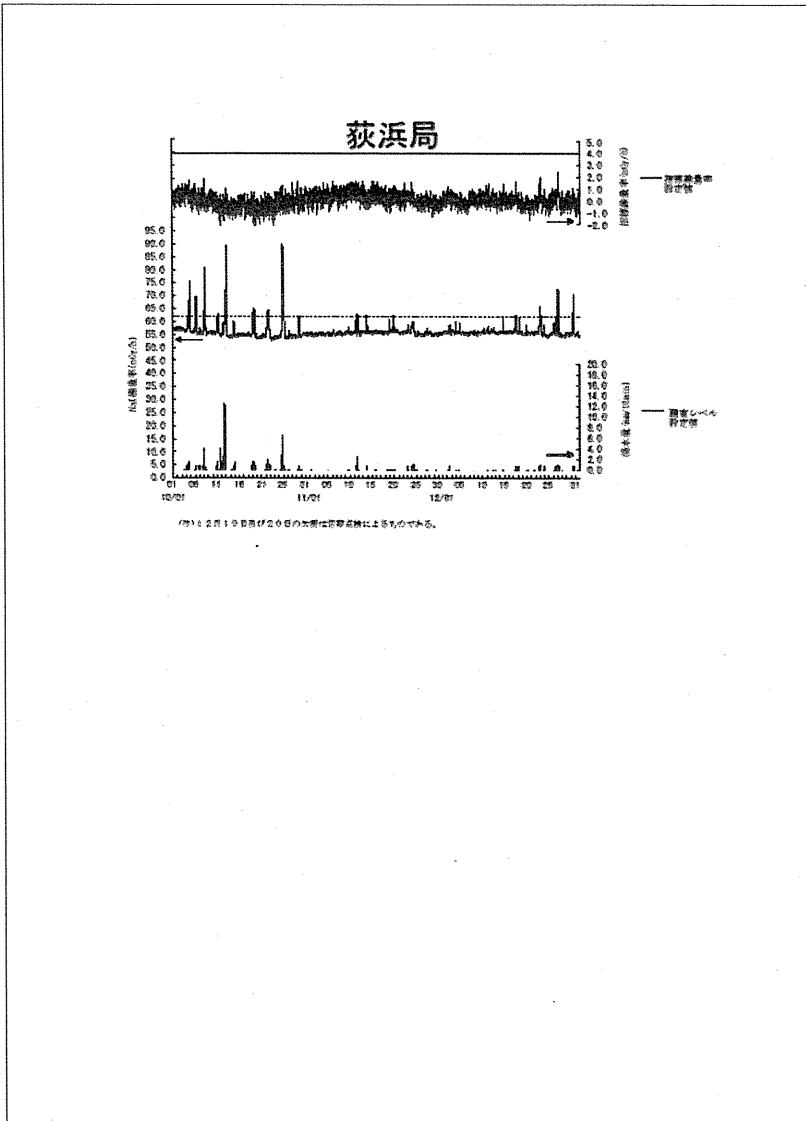
【修正前】



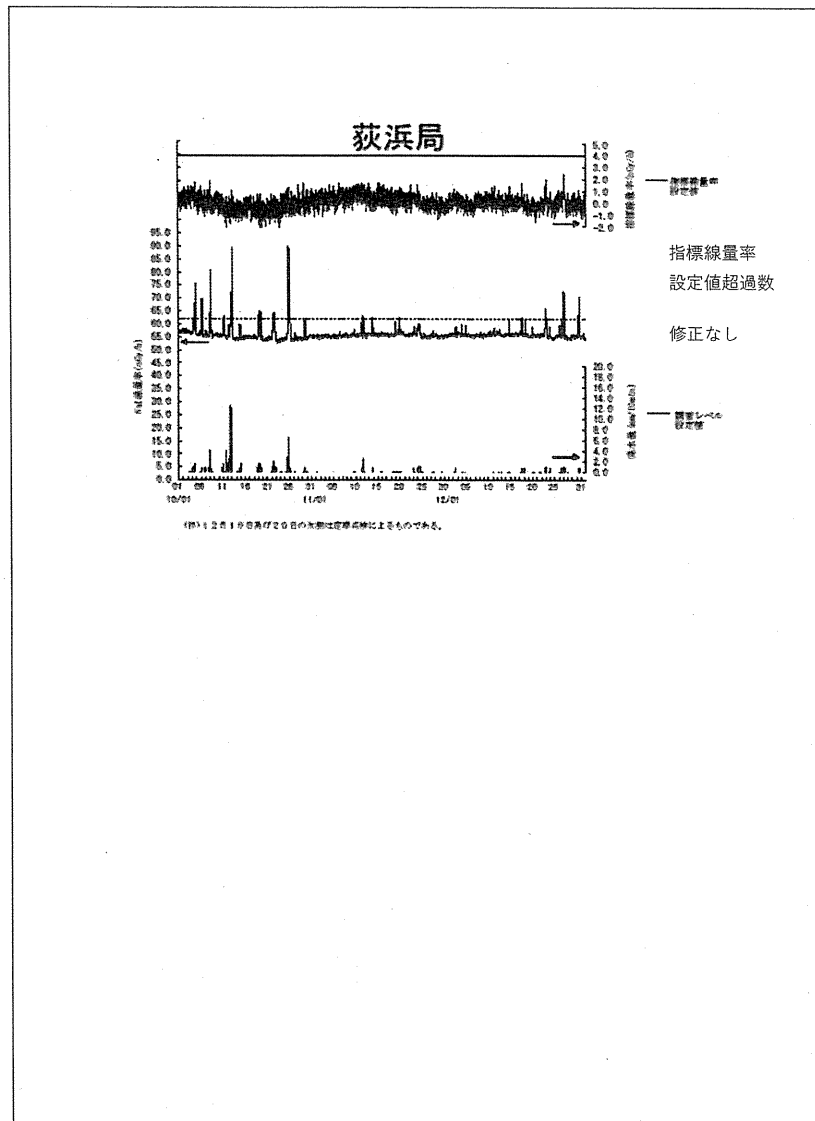
【修正後】



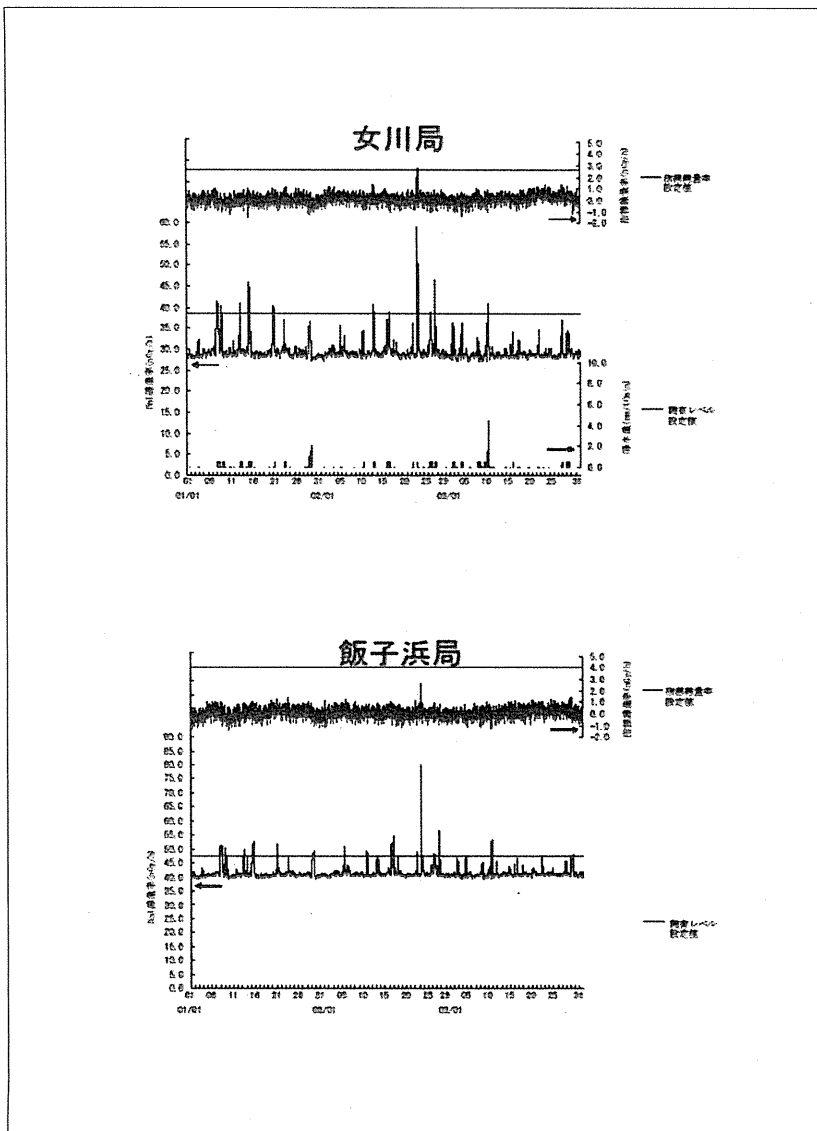
【修正前】



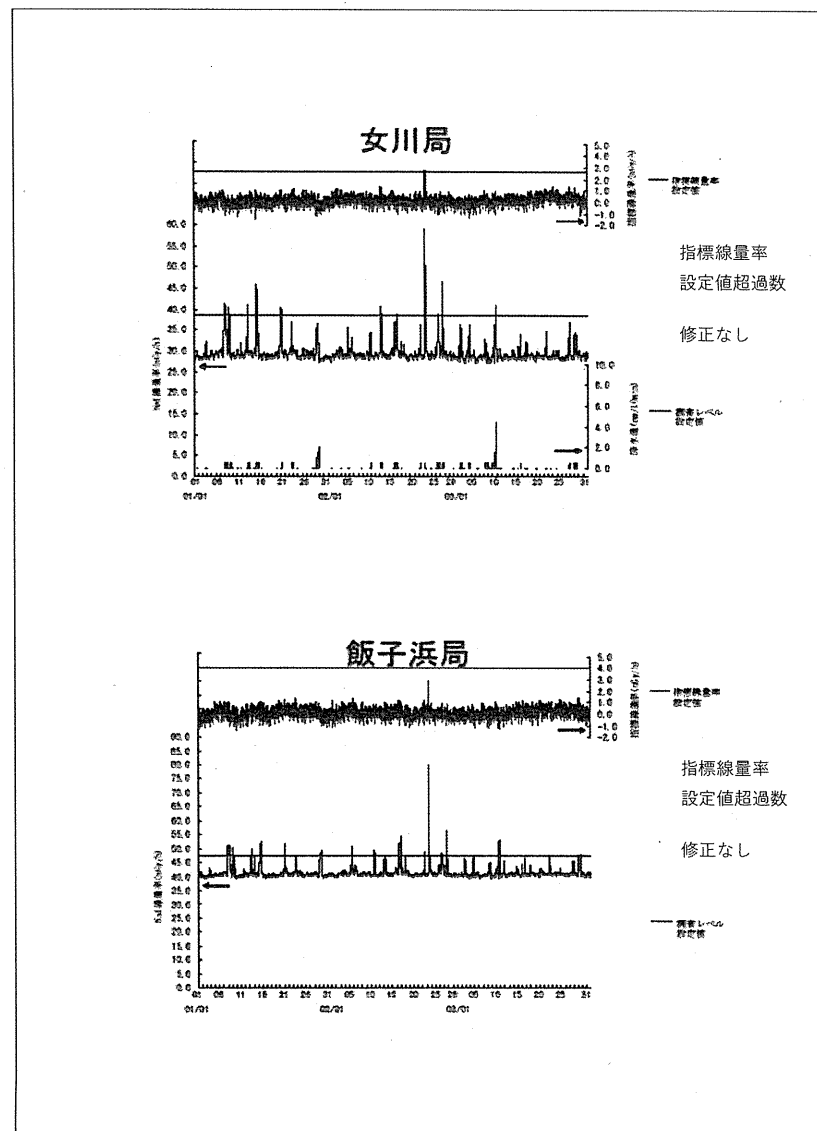
【修正後】



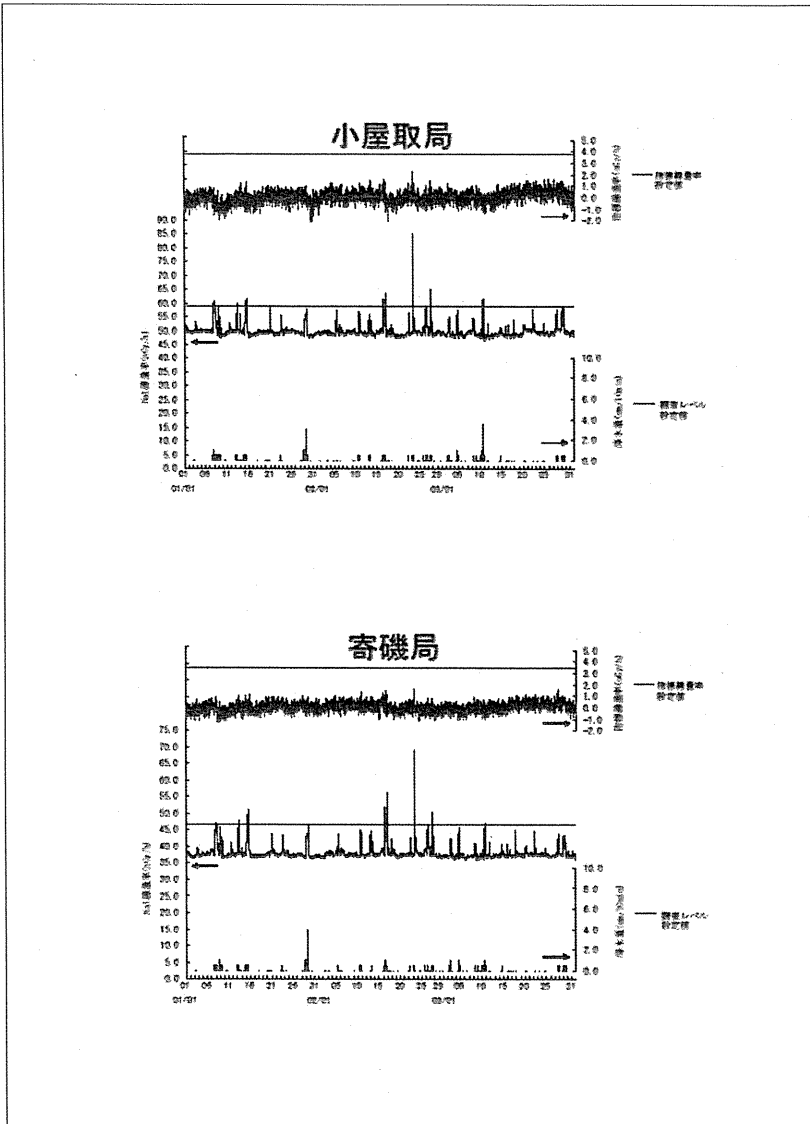
【修正前】



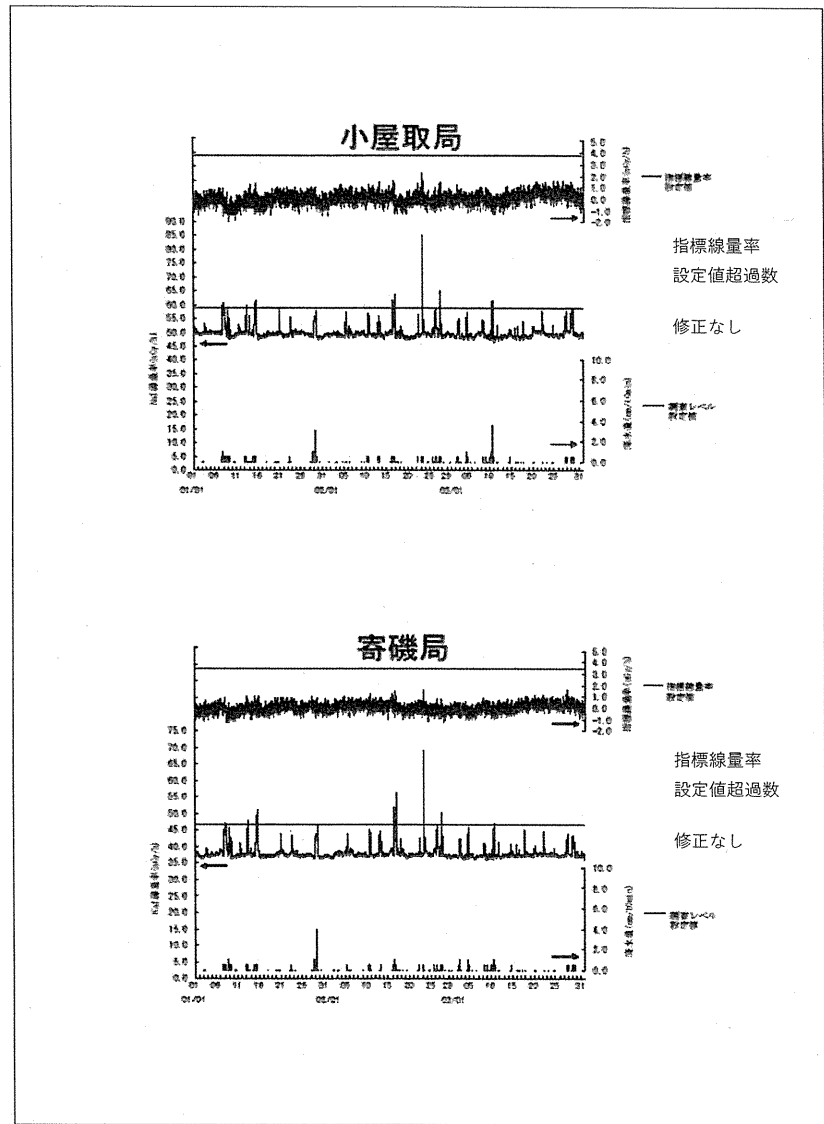
【修正後】



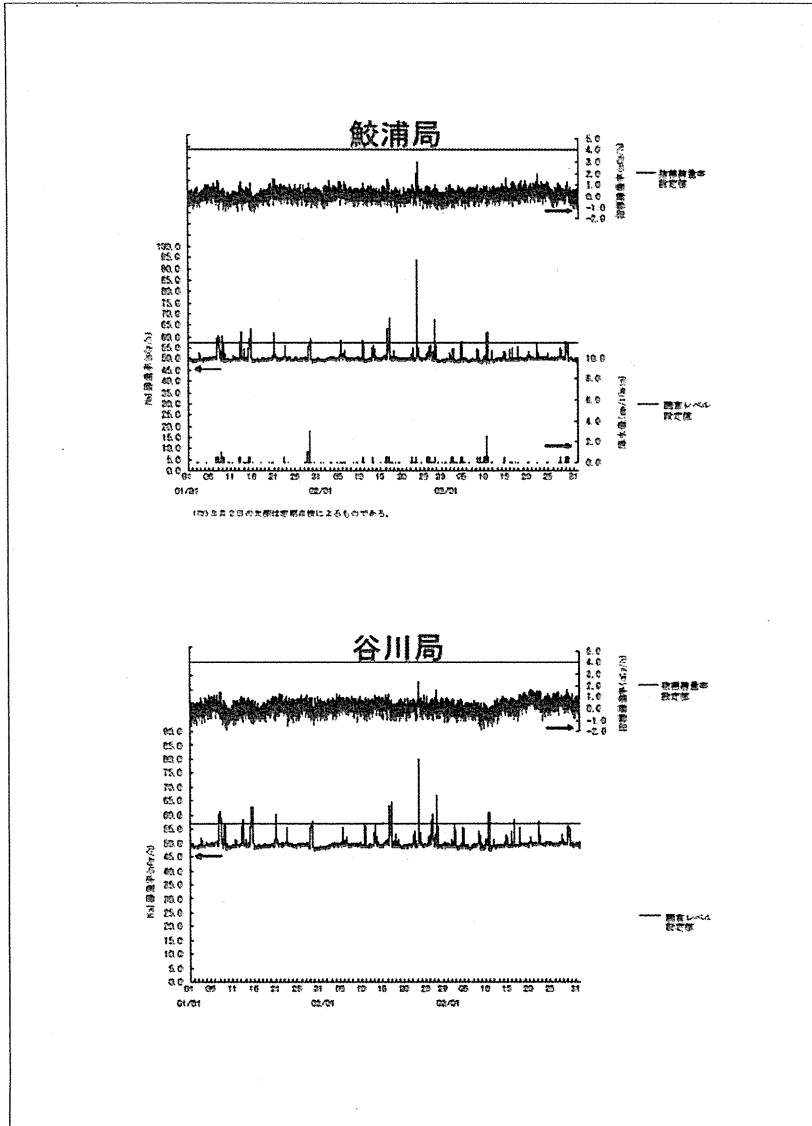
【修正前】



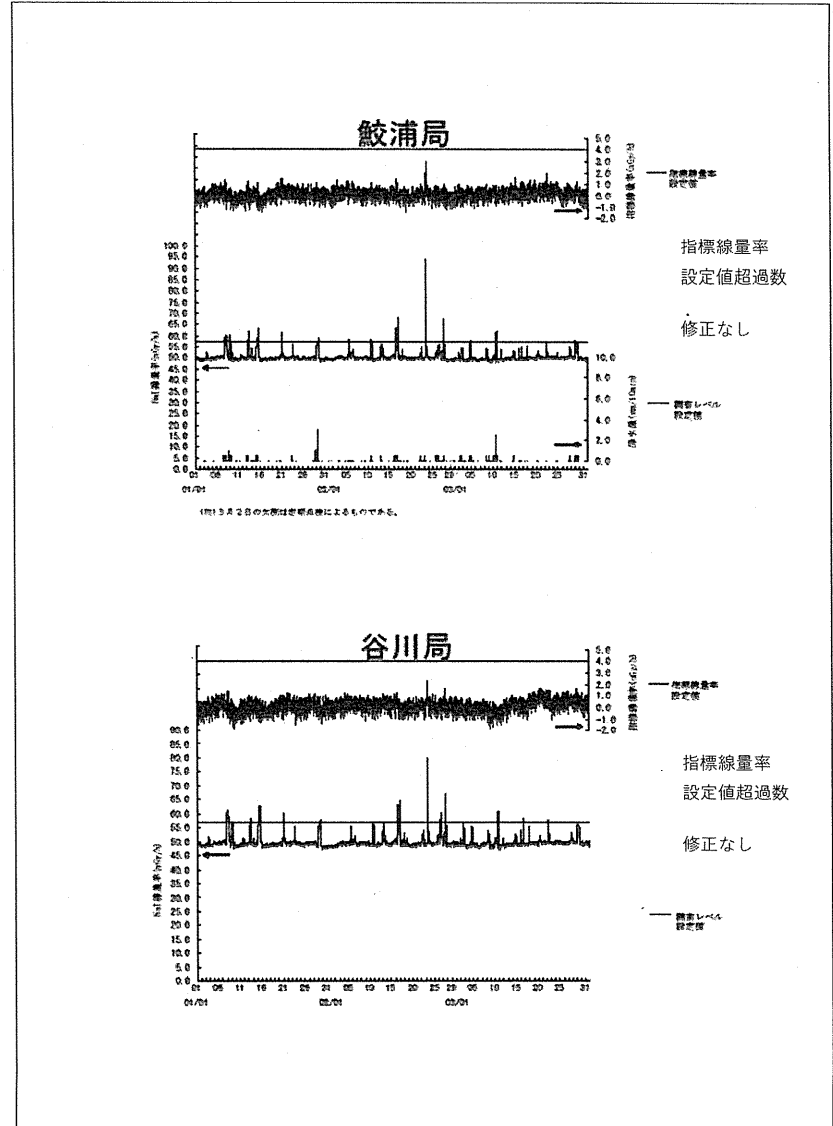
【修正後】



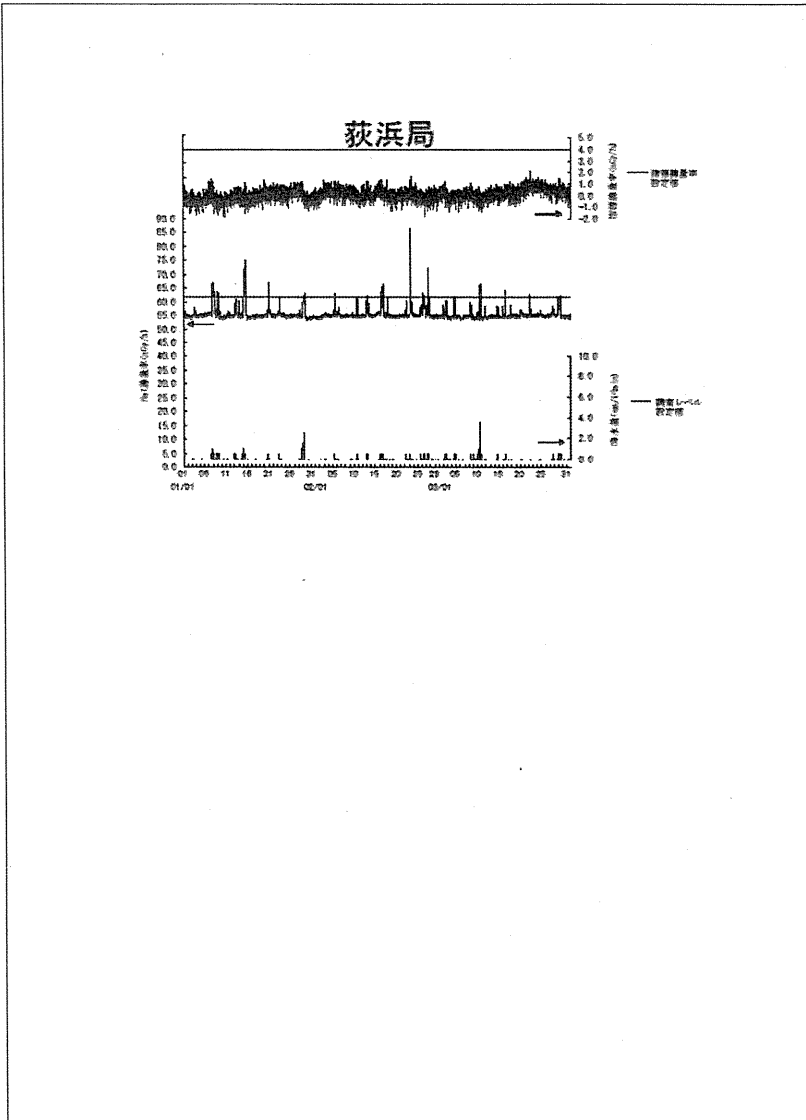
【修正前】



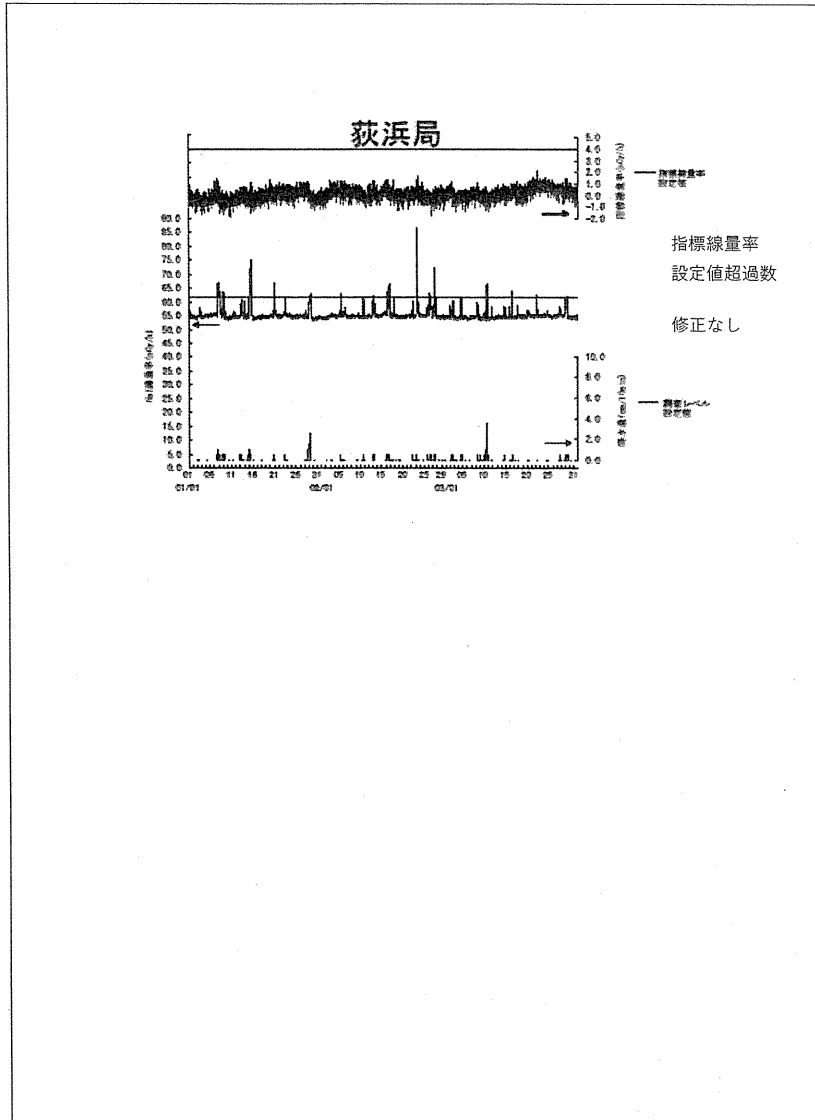
【修正後】



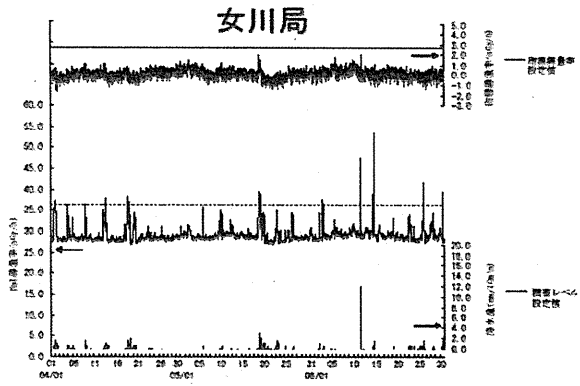
【修正前】



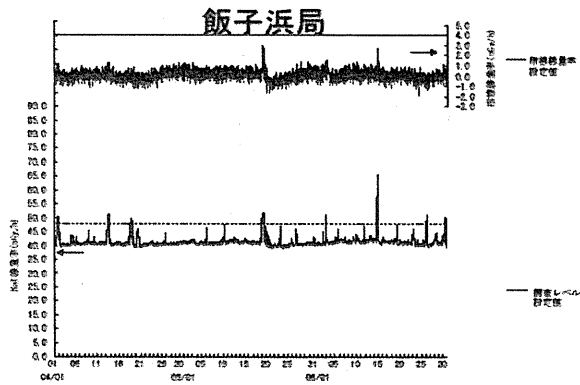
【修正後】



【修正前】

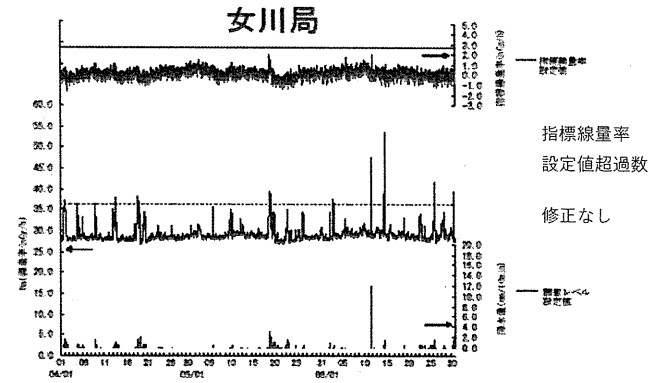


(注)6月4日及び5日の欠測は定期点検によるものである。

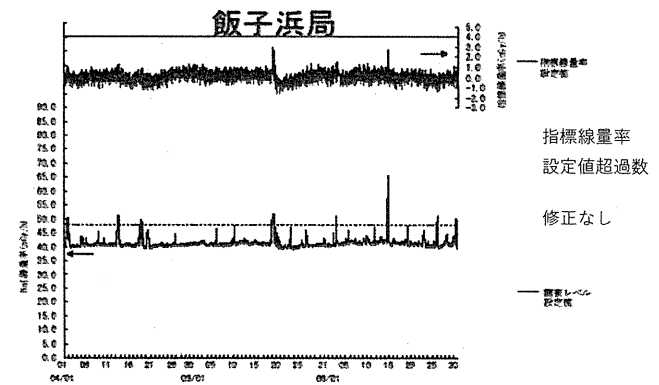


(注)6月2日及び3日の欠測は定期点検によるものである。

【修正後】

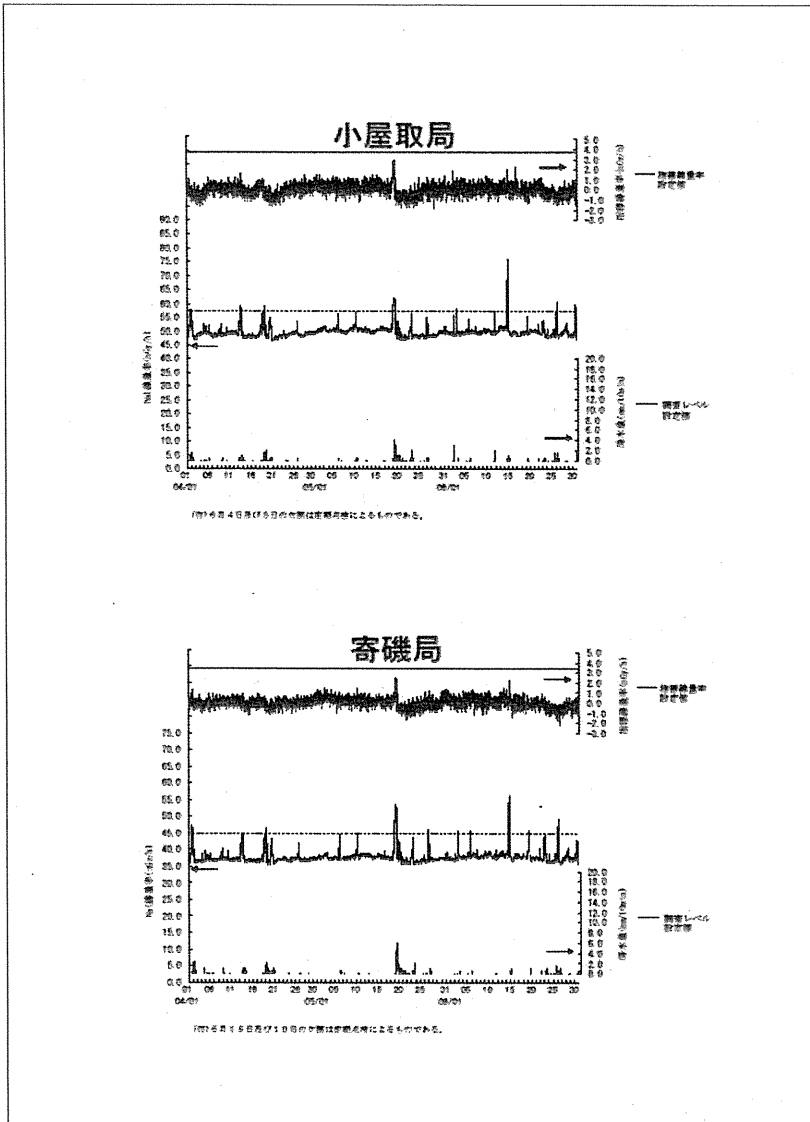


(注)6月4日及び5日の欠測は定期点検によるものである。

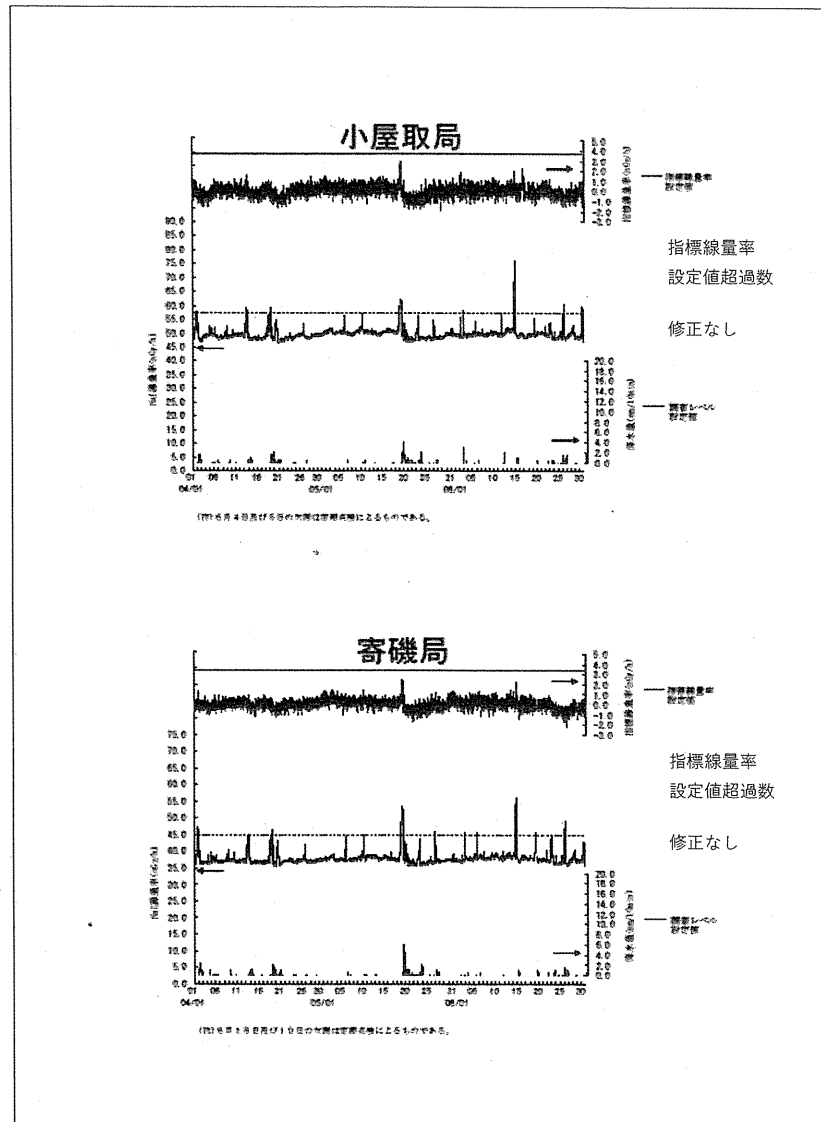


(注)6月2日及び3日の欠測は定期点検によるものである。

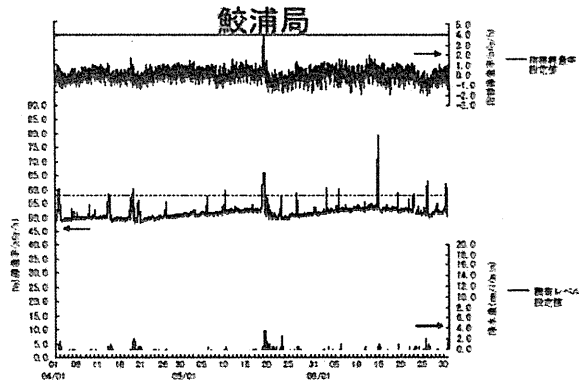
【修正前】



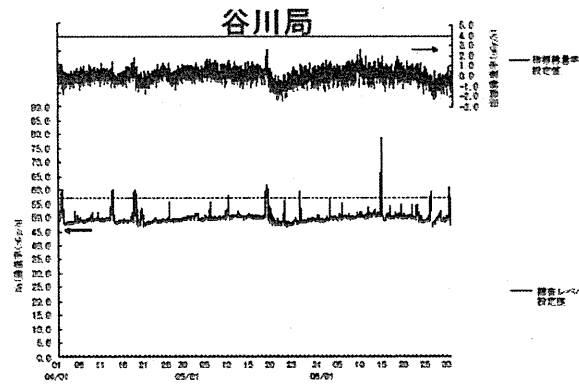
【修正後】



【修正前】

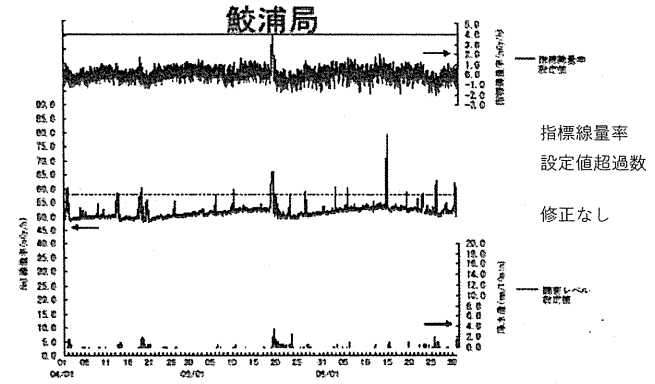


【注】6月4日及び5日の欠数は定期点検によるものである。

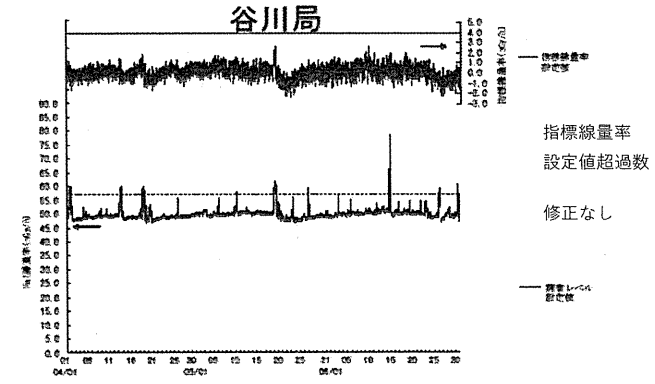


【注】6月2日及び26日の欠数は定期点検によるものである。

【修正後】

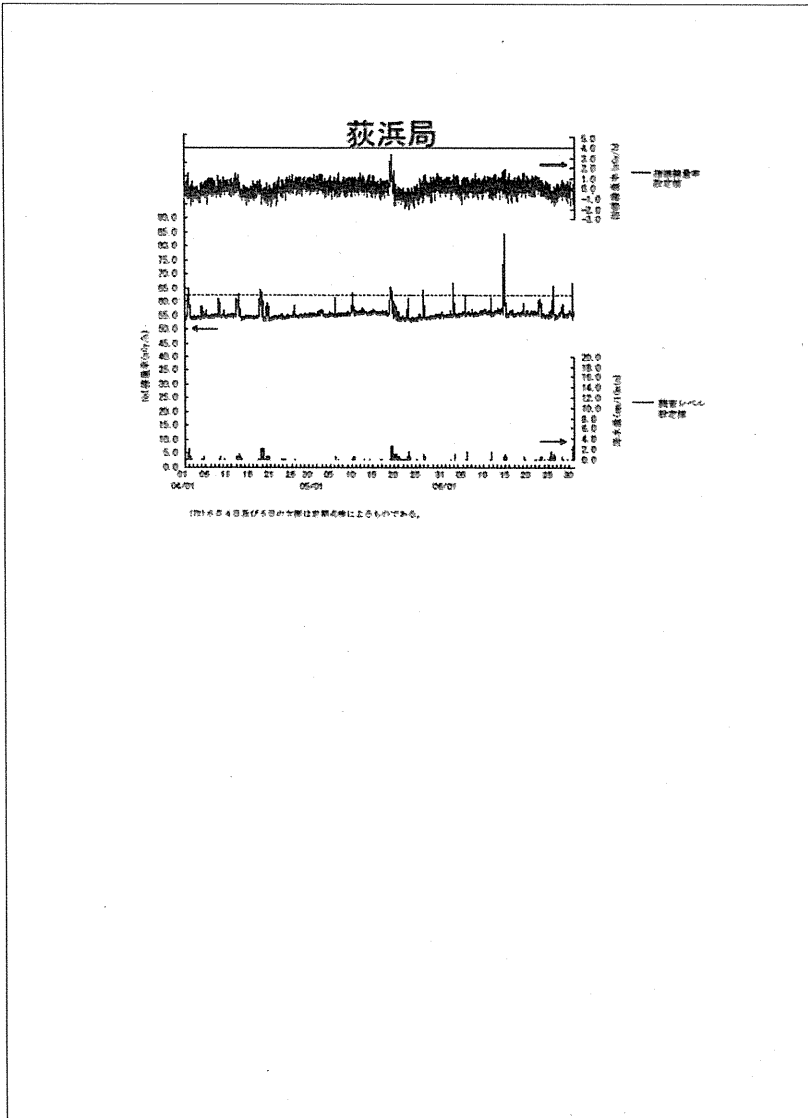


【注】6月4日及び5日の欠数は定期点検によるものである。

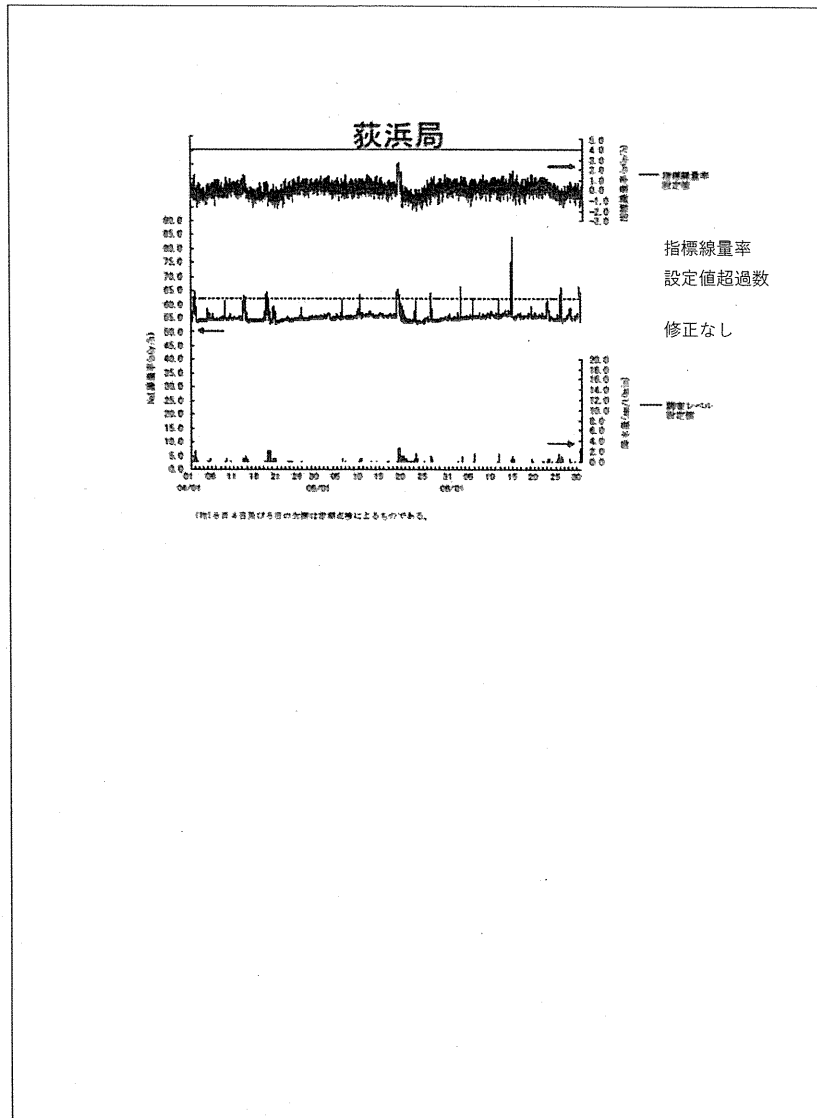


【注】6月2日及び26日の欠数は定期点検によるものである。

【修正前】

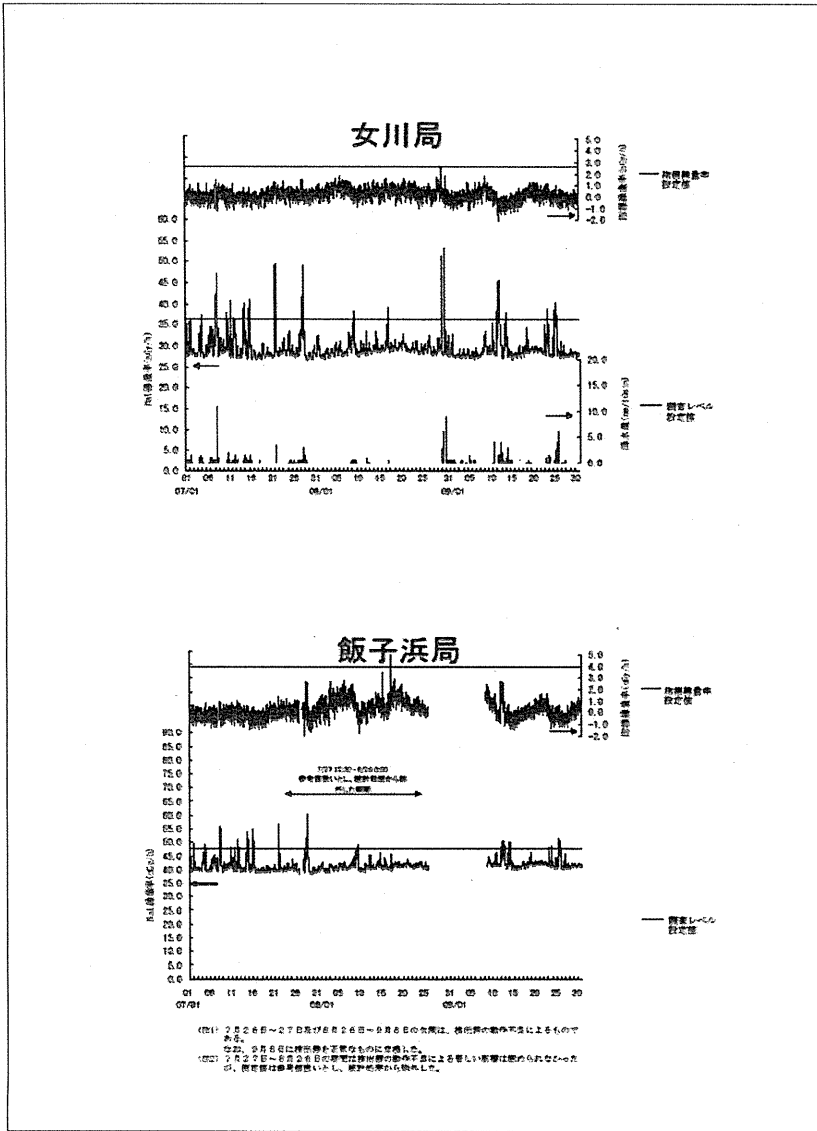


【修正後】

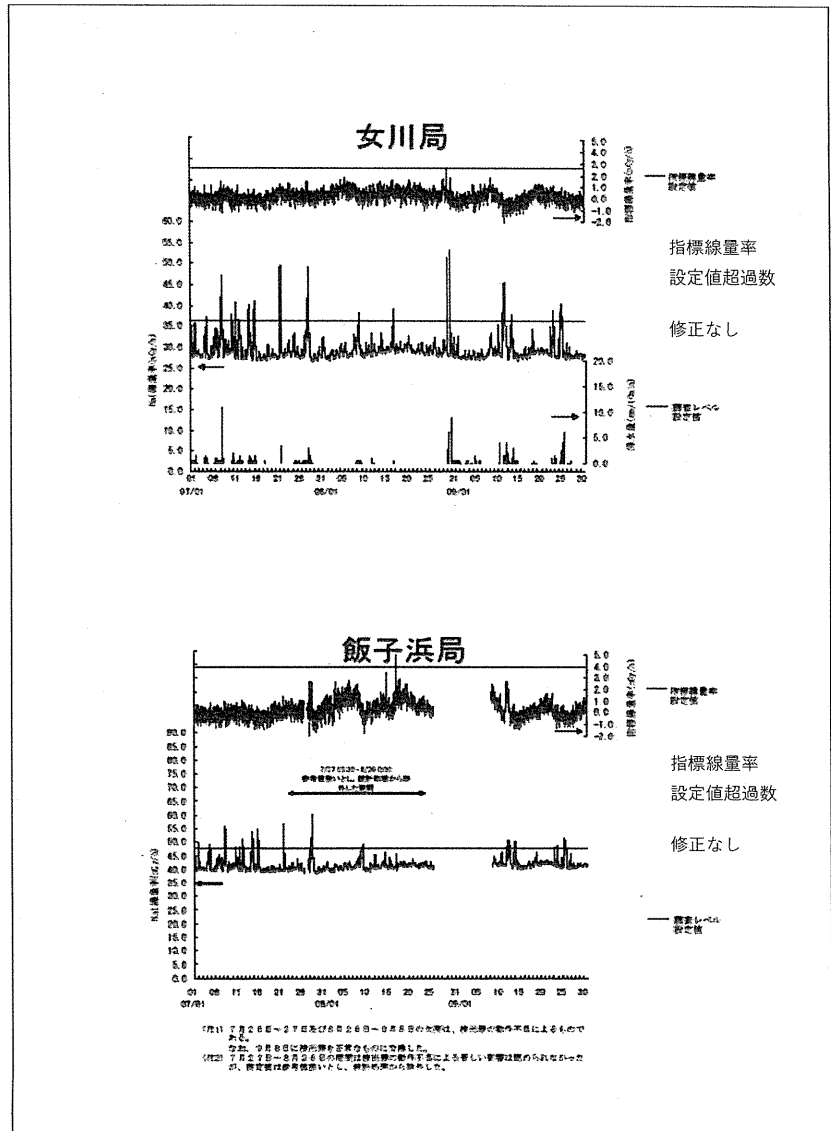


修正前後における季報比較 【令和2年度 第2四半期】

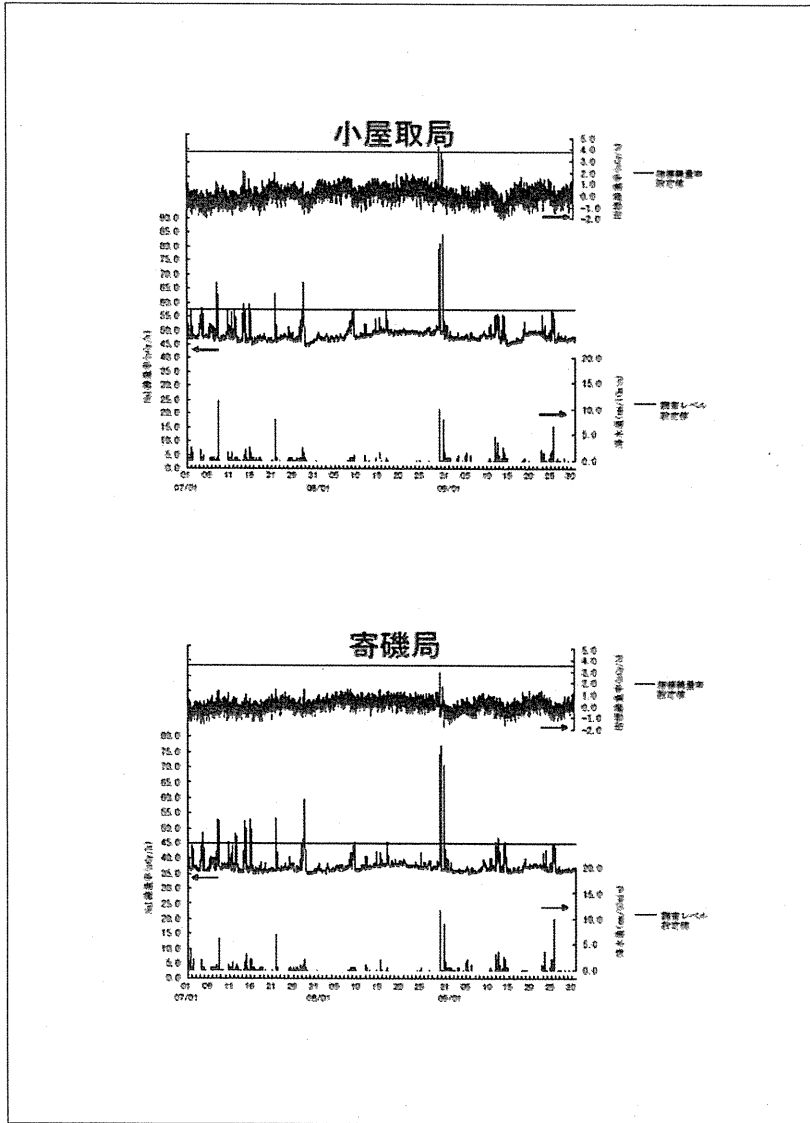
【修正前】



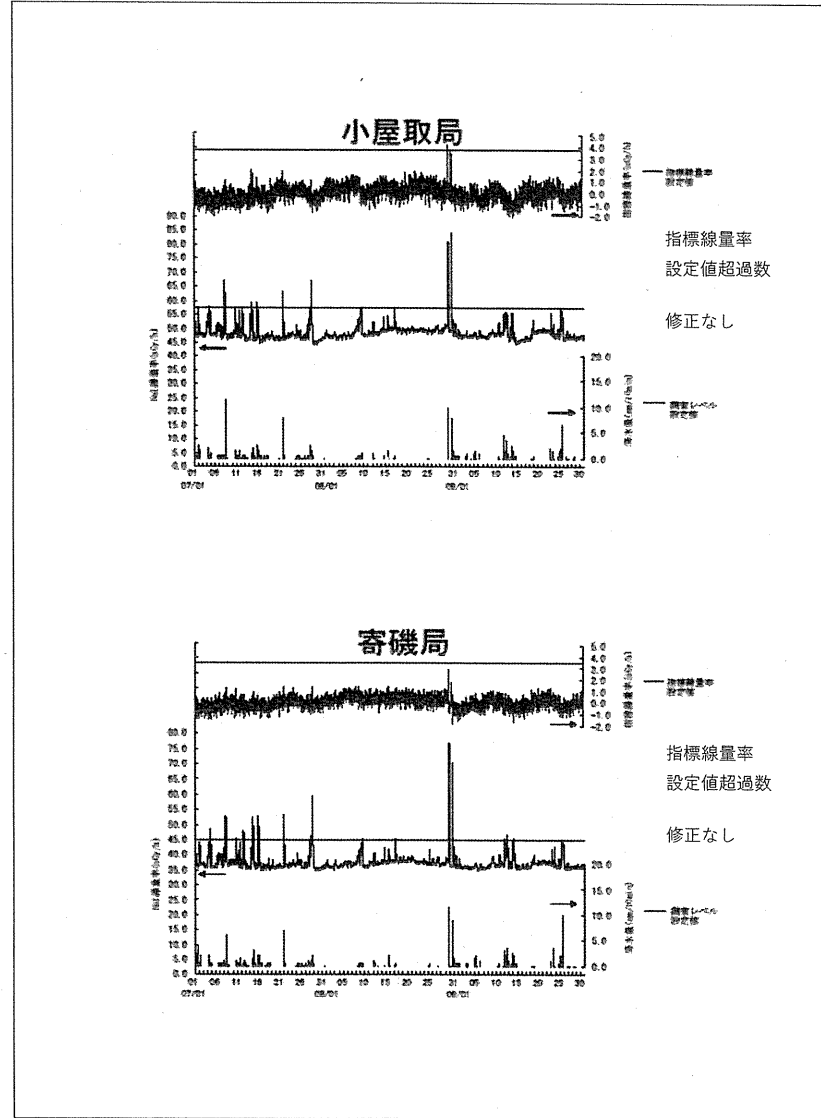
【修正後】



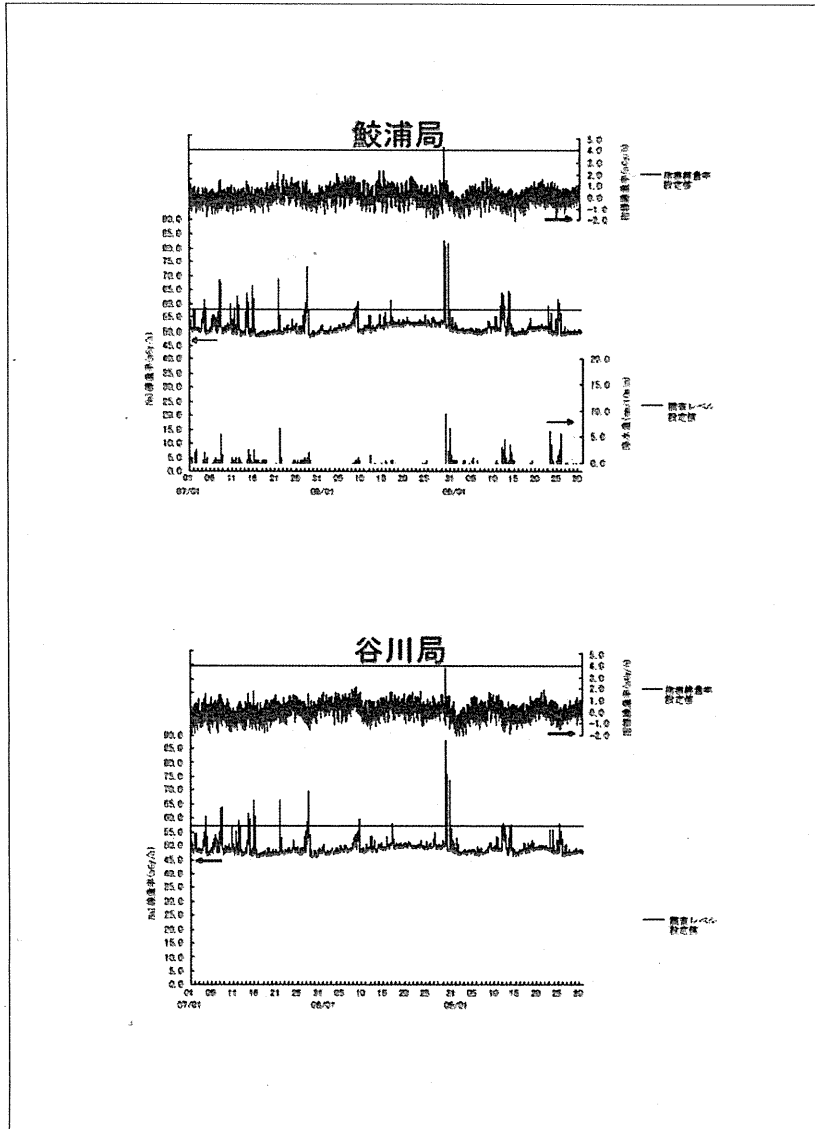
【修正前】



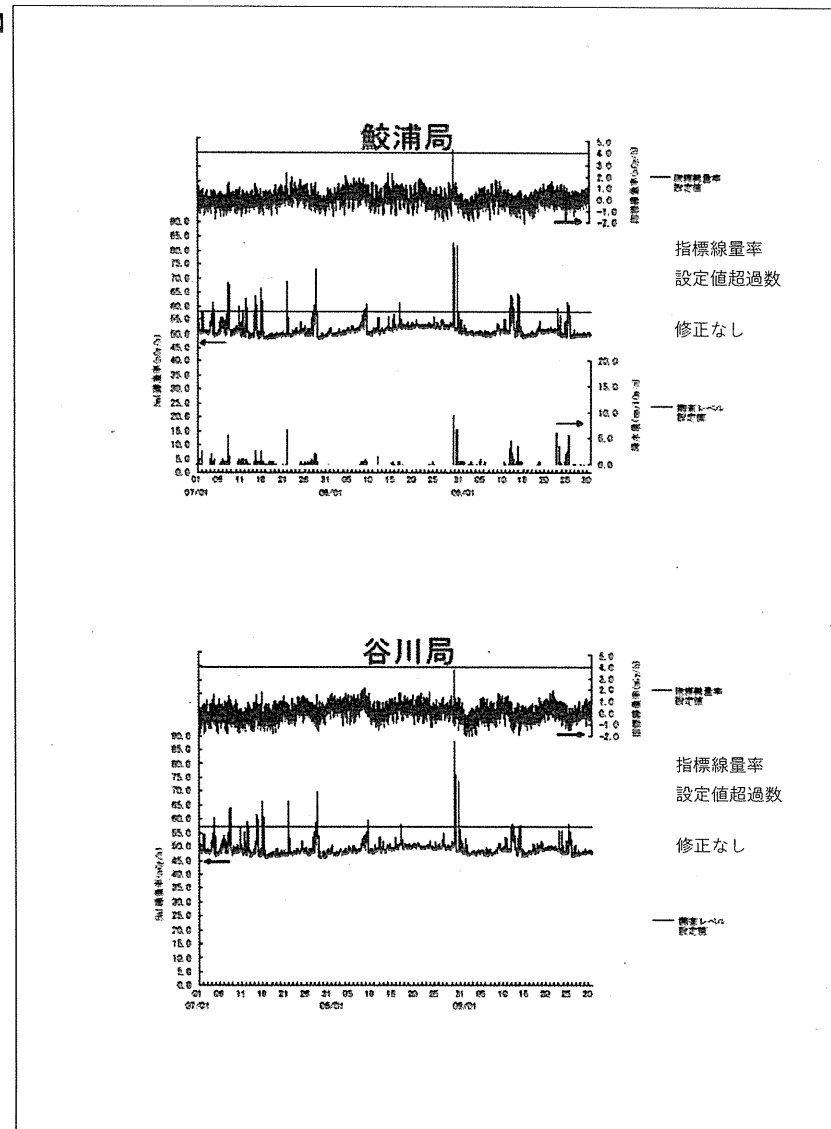
【修正後】



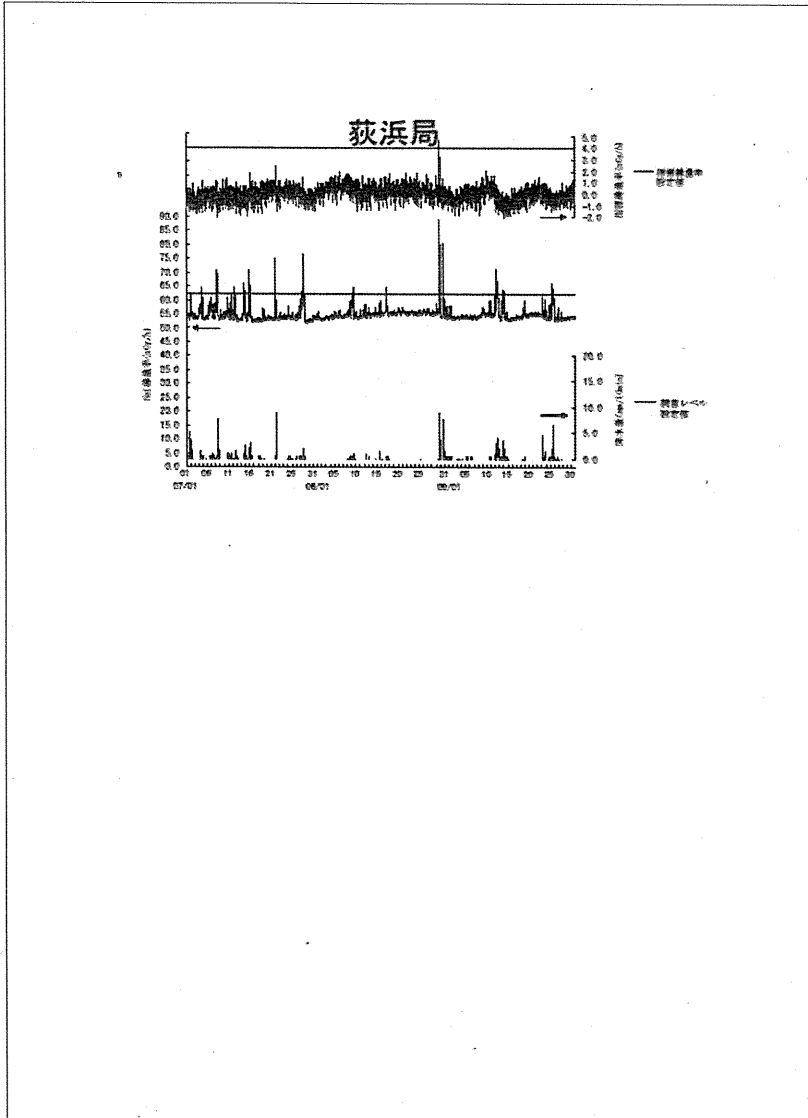
【修正前】



【修正後】



【修正前】



【修正後】

